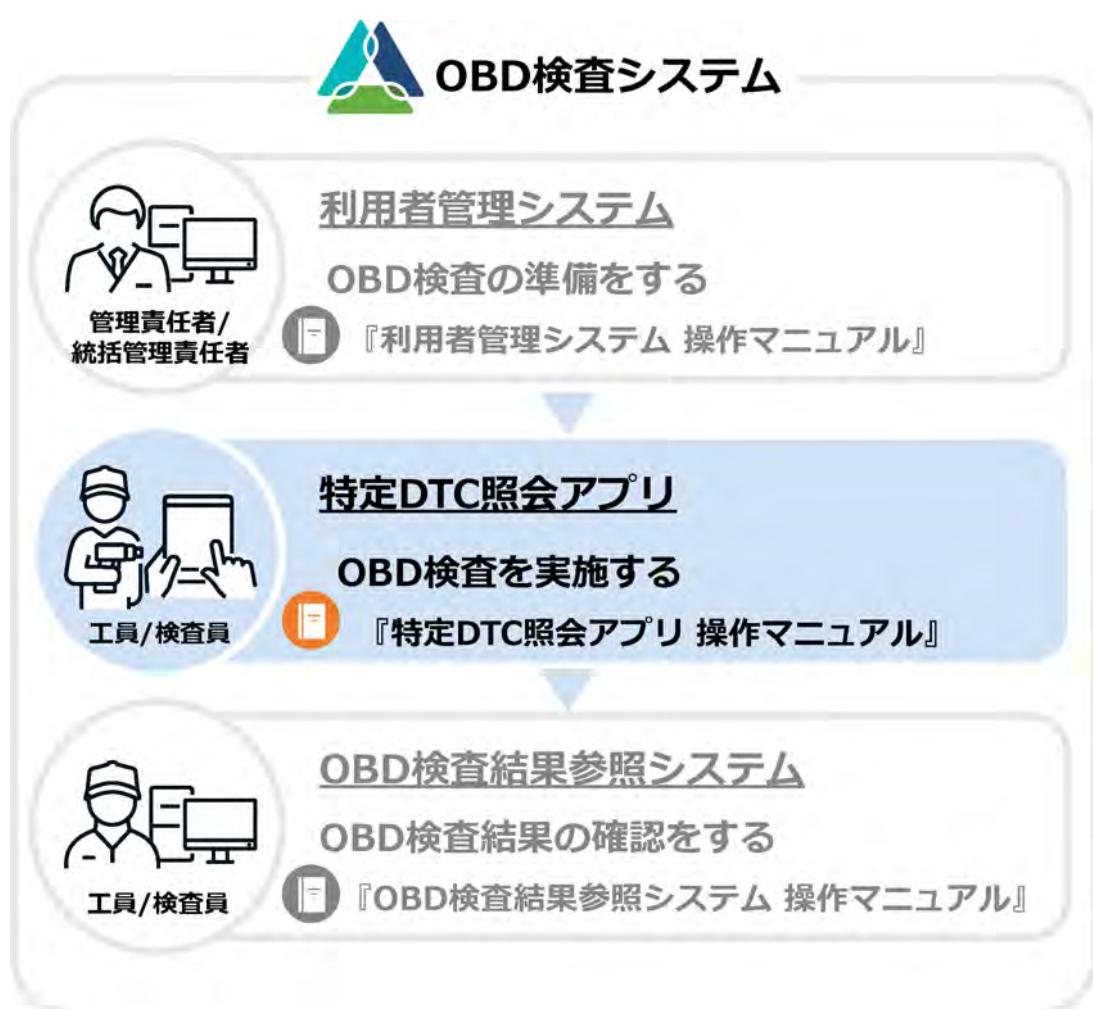


特定DTC照会アプリ【Windows】

操作マニュアル

対象読者 | 事業場の工員または検査員



第1.9版

OBD検査の流れ

システムの利用準備



利用者管理システム

管理責任者/統括管理責任者

事業場登録



▶
申請結果が
後日届く

クライアント証明書インストール



ログイン/利用者登録



アプリダウンロード



アプリインストール



詳しくは⇒『利用者管理システム 操作マニュアル』

OBD検査



特定DTC照会アプリ

工具/検査員

検査結果確認



▶
帳票印刷

検査実施



▶
検査終了

検査要否確認

▶
OBD検査が必要か確認

車両受付

▶
車両情報を入力

アプリ起動



▶
入庫

このマニュアルで説明しています

OBD検査の前後に



OBD検査結果参照システム

工具/検査員

検査対象確認

▶
OBD検査の対象
かどうかを確認

検査結果確認

▶
検査結果の内容を確認
帳票印刷

詳しくは⇒『OBD検査結果参照システム 操作マニュアル』

事業場・利用者の情報管理



利用者管理システム

管理責任者/統括管理責任者

事業場・利用者の追加/削除

▶
事業場の追加や廃業
利用者の入社、退社
など



事業場・利用者の情報変更

▶
利用者の変更
パスワード変更
事業場の社名変更
管理責任者交代
など



利用端末の追加

▶
検査用スキャナーユー
ルの追加
利用者管理システム
の利用端末の追加

検査実績の確認

▶
OBD検査の
件数や
その増減を確認

詳しくは⇒『利用者管理システム操作マニュアル』

目次

マニュアルについて	4
1 はじめに	8
1.1 特定 DTC 照会アプリとは	8
1.2 必要な機器や書類、アプリを使う前の作業	12
2 基本操作	15
2.1 ログインとログアウト	15
2.2 画面の見かたと操作方法	24
2.3 よくある質問を確認する	27
2.4 設定を確認する	29
3 車両受付をする	32
3.1 車両受付をする前に	33
3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する	34
3.3 車両情報を入力する	37
4 OBD 検査要否確認を行う	48
4.1 OBD 検査の要否を確認する	48
4.2 関連情報を確認する	52
4.3 その他参考情報を確認する	55
5 OBD 検査を行う	58
5.1 OBD 検査を実施する	59
5.2 警告灯判定画面が表示された場合	63
6 OBD 検査結果を確認する	66
6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する	66
6.2 OBD 検査結果を保存する	70
7 こんなときは	74
7.1 ユーザーID またはパスワードを忘れたとき	74
7.2 パスワードを変更したいとき	74
7.3 車検証二次元コード読取を「読取モード2」で行うとき	77
7.4 車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）	81
7.5 「セッションタイムアウト」が表示されたとき	84

7.6 アプリをインストールしたいとき	84
7.7 アプリが起動できないとき	85
7.8 アプリにログインできないとき	85
7.9 誤って OBD 確認で検査をしてしまったとき	85
7.10 クライアント証明書の有効期限が切れたとき	86
7.11 読取モード 2 で車検証二次元コードの情報が文字化けするとき	94
7.12 アプリをアップデートしたいとき	97
7.13 使用した検査用スキャンツールの情報を確認したいとき	101
7.14 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき	102
7.15 検査用スキャンツールに関するメッセージが表示されたとき	103
7.16 車両情報を引用する	104
7.17 セッションタイムアウトのメッセージが表示された場合	106
8 お問い合わせ	107
8.1 お問い合わせ先	107
9 付録	108
9.1 アプリが起動できない場合の対処方法	108
9.2 エラーメッセージと対処方法	109
9.3 運輸局・運輸支局一覧	115
9.4 OBD 検査ポータル	117
9.5 改訂履歴	117

マニュアルについて

本マニュアルは、特定 DTC 照会アプリ【Windows】を利用して OBD 検査を行う操作について説明しています。

■マニュアルの表記

本マニュアルでは、以下のマークや記号を使用しています。

マーク	説明
 ご注意	操作にあたって注意すべき情報を記載しています。
 メモ	操作手順の補足的な情報や、参考情報について記載しています。
 「〇〇」	本マニュアル内の参照箇所を記載しています。
 『〇〇』	マニュアルの名称を記載しています。
《〇〇》画面	特定 DTC 照会アプリに表示される、画面の名称を記載しています。

■用語集

本マニュアルでは、以下の用語を使用しています。

用語	説明
DTC (故障コード)	Diagnostic Trouble Code。ECU が自己診断により異常を検知した際に記憶する異常部位・内容ごとに定められたコードのことで、多くは P、B、C、U およびその後の 4 衔または 6 衔の数字で示される。ただし、これによらず自動車製作者により独自に設定しているものもある。
ECU	Electronic Control Unit。エンジンやトランスミッションのほか、安全関係の装置などを電子的に制御する装置。
MIL (MI)	Malfunction Indicator Lamp。インパネなどに設置され、主に排ガスの機能に故障が発生した際にユーザーに対して発する警告表示。特定 DTC 照会アプリでは、ECU から取得できる MIL 信号の有無を読み取ってその結果を表示する。
OBD	On-Board Diagnostics。ECU に搭載された故障を自己診断する機能のことであり、車載式故障診断装置ともいう。
安全 OBD	安全関連装置の故障に係る自己診断機能。OBD は、海外を中心に一般的に排ガス関連装置を指すことがあるため、これを区別する場合に用いる。
OBD 検査システム	OBD 検査を実施するために必要となる OBD 検査用サーバーや特定 DTC 照会アプリなどの OBD 検査に関連する一連のシステム。

用語	説明
OBD 検査用サーバー	特定 DTC 照会アプリから送信された DTC (故障コード) などの情報から、特定 DTC (特定故障コード) への該当性などを判定し、結果を特定 DTC 照会アプリへ通知するサーバー。
VCI	Vehicle Communication Interface。検査用スキャンツールの一部であり、ECU と端末 (Windows がインストールされた PC またはタブレット) 間の通信を中継する装置。
データリンクコネクタ	自動車との通信を目的として設置された外部接続用コネクタであり、OBD 用ケーブル (ケーブルと VCI が一体のものは VCI) の接続端子 (コネクタ) と接続する。OBD ポートともいう。
特定 DTC	保安基準に不適合となる DTC (故障コード)。
検査用スキャンツール	国が定める基準に適合する OBD 検査のための機器。検査用スキャンツールは、主に特定 DTC 照会アプリ【Windows】をインストールする端末 (Windows がインストールされた PC またはタブレット) および VCI で構成される。
レディネスコード (レディネス)	排ガス関連システムの OBD が実行する故障診断の実行履歴情報。一般的に、故障診断を実行されるとレディネスコードが完了となり、その際、異常が検知されれば DTC が OBD に記録される。なお、レディネスコードが未完了の場合は過去に故障診断が実行されていない状態を示す。
認証工場	道路運送車両法第 78 条第 1 項の認証を受けた事業場（対象とする自動車の種類が大型特殊自動車または二輪の小型自動車のみであるものを除く。）
指定工場	道路運送車両法第 94 条の 2 第 1 項の指定を受けた事業場（対象とする自動車の種類が大型特殊自動車または二輪の小型自動車のみであるものを除く。）
工員	事業場に配置される整備要員。特定 DTC 照会アプリでは OBD 確認モードのみ使用できる。
検査員	道路運送車両法第 94 条の 4 第 1 項の規定により選任された自動車検査員。特定 DTC 照会アプリでは OBD 検査モードと OBD 確認モードを使用できる。
管理責任者	事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者。1 つの事業場に必ず配置する必要があり、最大 3 名まで配置することができる。
統括管理責任者	複数の事業場をグループで統括して管理する場合の責任者。事業場を統括管理するグループでは必ず配置する必要があり、最大 3 名まで配置することができる。
J-OBD	道路運送車両の保安基準の細目を定める告示別添 48 に掲げる排ガス関連装置に関する OBD の基準。車両の諸元等により適用される OBD の基準が異なる。
電子車検証、車検証等	IC タグが付いた自動車検査証を「電子車検証」、紙の自動車検査証を「検査証等」とする。 車検証等には、登録識別情報等通知書、自動車検査証返納証明書、自動車予備検査証および限定自動車検査証を含む。
読み取りモード 1	特定 DTC 照会アプリ【Windows】で定義された読み取りモード。電子車検証または車検証等の二次元コードの連続的な読み取りが可能な二次元コードリーダを使用する場合に選択する。

用語	説明
読み取りモード 2	特定 DTC 照会アプリ【Windows】で定義された読み取りモード。電子車検証または車検証等の二次元コードの連続的な読み取りに対応できない二次元コードリーダーを使用する場合に選択する。

■関連マニュアル

OBD 検査システムに関するマニュアルは、以下の 4 冊です。

マニュアル名称	記載内容
特定 DTC 照会アプリ【Android】操作マニュアル	特定 DTC 照会アプリ【Android】を利用して OBD 検査を行う操作について説明しています。
特定 DTC 照会アプリ【Windows】操作マニュアル (本マニュアル)	特定 DTC 照会アプリ【Windows】を利用して OBD 検査を行う操作について説明しています。
利用者管理システム操作マニュアル	OBD 検査システムの利用申請や管理を行う操作について説明しています。
OBD 検査結果参照システム操作マニュアル	OBD 検査の後に検査結果を確認したり、問い合わせに応じて OBD 検査の対象型式かどうかを確認する操作について説明しています。

■商標および免責事項

- Soliton KeyManager は、株式会社ソリトンシステムズの商標です。
- その他、本書に記載の会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 本書に記載のシステム名、製品名等には、商標表示（®、™）を付記していません。
- アプリは、仕様の一部を予告なく変更する場合があります。
- 本書に掲載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

1 はじめに

1.1 特定 DTC 照会アプリとは

特定 DTC 照会アプリ【Windows】（以降、「アプリ」と記載）は、車両が OBD 検査の対象であるか確認を行い、車両や OBD 検査用サーバーと通信して OBD 検査の合否を判定するためのアプリケーションです。



アプリは、システムのメンテナンス時間を除き、24 時間 365 日利用できます。



メモ

システムのメンテナンス時間は、あらかじめメニュー画面の「お知らせ」で通知されます。「お知らせ」の確認方法については、「■メニュー画面から操作する」(P. 24) を参照してください。

■OBD 検査とは

OBD 検査とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査です。国の定める自動車検査の検査項目として、令和 6 年 10 月 1 日（輸入車は令和 7 年 10 月 1 日）に新たに追加されました。OBD 検査の対象となる車両は、国産車は令和 3 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）、輸入車は令和 4 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）です。



メモ

- OBD 検査の対象となる車両の電子車検証には、「OBD 検査対象」（車検証等の場合は「OBD 検査対象車」）などの記載があります。
- OBD 検査の対象となる車両であっても、以下に該当する場合には、OBD 検査が不要となります。OBD 検査の要否は、アプリまたは OBD 検査結果参照システムで確認してください。
 - 型式指定の日から 2 年を経過していない車両
 - 初度登録年月または初度検査年月の前月の末日から起算して 10 ヶ月を経過していない車両

■OBD 検査モードと OBD 確認モード

アプリには、OBD 検査と OBD 確認の 2 つの検査種別（モード）があります。利用者・用途に応じて利用するモードを選択してください。

なお、OBD 検査モードと OBD 確認モードの操作手順に大きな違いはありません。

モード	利用者	用途
OBD 検査	指定工場の検査員	法令に準拠して OBD 検査を実施する際に使用します。
OBD 確認	指定工場、認証工場の工員および検査員	<p>点検・整備時に、OBD 検査と同等の確認（OBD 確認）を行う際に使用します。ただし、以下の条件等により実施できる項目または表示内容が異なる場合があります。</p> <p>【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以降）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • OBD 検査と OBD 確認で実施できる項目は同一です。 <p>【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以前）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一部の車両において、安全関係装置の OBD が確認できません。 • 排ガス関係の OBD を確認できますが、一部の車両において DTC（コード）のみが表示され、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 <p>【OBD 検査対象外車（J-OBD II またはディーゼル重量車 J-OBD II 規制）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国際規格（OBD II）に準拠した排ガス関係の OBD を確認できますが、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 <p>【OBD 検査対象外車（J-OBD I 規制）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「検査要否確認」および「実行」まで操作が可能ですが、通信不成立となる場合があります。 <p>【OBD 検査対象外車（排ガス規制を受けない車両（EV、FCV 等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「検査要否確認」まで操作が可能です。「実行」の操作は行えません。



メモ

参考（排ガス規制の適用年）

<J-OBD II 規制車（現 WLTP-OBD 規制車）>～車両総重量 3.5 t 以下のガソリン・LPG 車～
新型車：平成 20 年 10 月以降

継続生産車、輸入車：平成 22 年 9 月以降

<ディーゼル重量車 J-OBD II 規制車>～車両総重量 3.5 t 超のディーゼル車～

新型車：令和 2 年 10 月以降（※）

継続生産車：令和 3 年 9 月以降（※）

※車体の形状または車両総重量により適用時期が異なるが、適用のもっとも遅い時期を記載



ご注意

本マニュアルでは、OBD 検査モードの画面と操作手順を説明しています。

必要に応じて OBD 確認モードに読み替えてください。

■ アプリの機能

OBD 検査で使用する機器などの設定

車両との通信に使用する検査用スキャンツールや、電子車検証または車検証等の読み取りに使用する二次元コードリーダなどの設定状況を確認・変更できます。

OBD 検査の実施

入力した車両情報に基づき、OBD 検査の要否を確認したうえで、必要に応じて OBD 検査を実施します。

OBD 検査では、検査用スキャンツールを介して車両から特定 DTC 等の情報を読み取り、アプリに合否判定の結果を表示します。

OBD 検査結果の出力

アプリで実施した OBD 検査の詳細結果は、帳票（PDF 形式）および CSV 形式のファイルとして出力することができます。

- 帳票（PDF 形式）：検査結果を印刷することで、自動車使用者の方への説明などに活用できます
- CSV 形式：外部システムへのデータ取り込みなどに利用できます

検査に用いる付帯情報の閲覧

入力した車両の諸元情報やリコール情報が閲覧できます。

なお、以下に該当する場合は、付帯情報が閲覧できないことがあります。

- 車名コードが特定できない場合：リコール情報が閲覧できません
- 類別区分番号が特定できない場合：諸元情報が閲覧できません

1.2 必要な機器や書類、アプリを使う前の作業

■ アプリの動作環境

アプリは Windows がインストールされた PC またはタブレットにインストールして使います。Windows がインストールされた PC またはタブレットは、以下の動作環境を満たす必要があります。

- CPU 1GHz 以上
- メモリ 2GB 以上
- ディスク C ドライブ空き容量 1 GB 以上
- OS Microsoft Windows 11 以上



バージョンの詳細については OBD 検査ポータルを参照してください。

- ソフトウェア .NET Framework 4.6.2 以上
Microsoft Visual C++再頒布可能パッケージ (x86) (2017 以上) 32bit 版



ソフトウェアのバージョンを確認するには、Windows のスタートボタン→「設定」→「アプリ」→「アプリと機能」の順に選択し、確認したいソフトウェアを選択します。

- ネットワーク通信 有線または無線でインターネット接続が可能であること

■ アプリで OBD 検査を行うための条件

アプリで OBD 検査を行うためには、以下の条件があります。

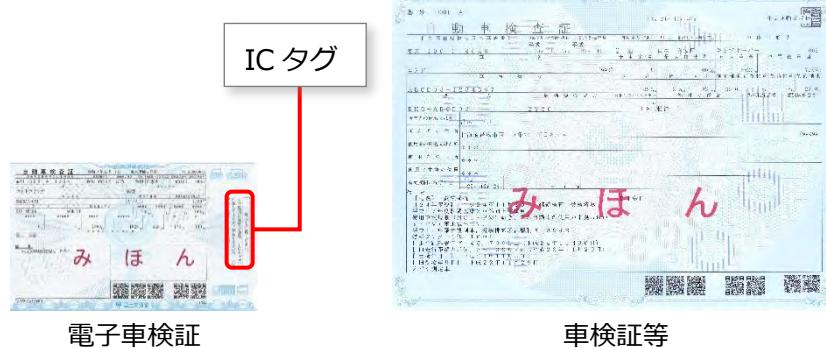
- アプリを使っている（起動している）間は、インターネットを常に接続状態にしていること
- 検査用スキャナツールの端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）に、アプリがインストールされていること。アプリのインストールについては、「7.6 アプリをインストールしたいとき」を参照してください。
- 検査用スキャナツールの端末に、1 つの Windows ユーザーにつき、1 つのクライアント証明書がインストールされていること。クライアント証明書のインストールについては、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。（『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照）
- 検査用スキャナツールの端末に、検査用スキャナツールの技術基準に適合する VCI ドライバがインストールされていること。VCI ドライバのインストールについては、各スキャナツールメーカーの取扱説明書を参照してください。
- 特定 DTC 照会アプリは、Administrator ユーザーの Windows ユーザーはご利用いただけません。お使いの Windows ユーザーが Administrator ユーザーだった場合は、新しい Windows ユーザーを作成のうえ、検査用スキャナツールをご利用ください。

■OBD 検査に必要なもの

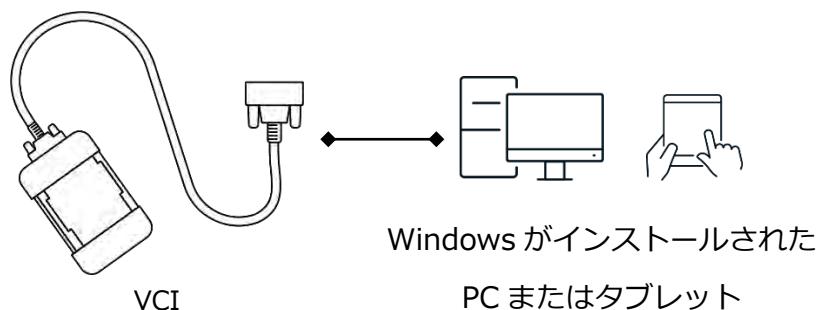
アプリを利用して OBD 検査を行うには、以下の機器や書類が必要です。

必須

- 電子車検証または車検証等



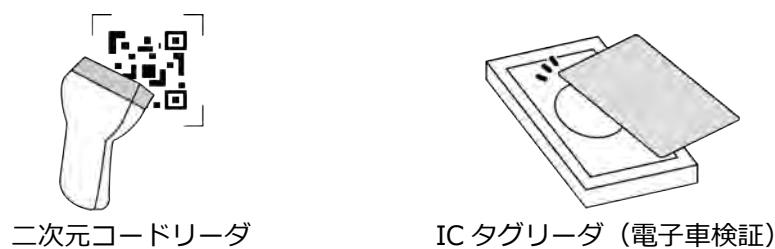
- 検査用スキャンツール



- 車両

任意

- 二次元コードリーダーまたは IC タグリーダ



! ご注意

二次元コードリーダー、IC タグリーダには、機器によって初期セットアップが必要な
ものがあります。

セットアップ方法については、各機器の取扱説明書を参照してください。

■ アプリを使う前の確認

以下の作業や確認が行われていることをチェックしてください。



端末、インターネット環境が用意されている



アプリを使用する端末に、クライアント証明書がインストールされている

使用する端末には、1つのWindowsユーザーにつき、1つのクライアント証明書が必要です。クライアント証明書のインストールについては、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。

(『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照)



使用する端末に、アプリがインストールされている

インストール手順については、「7.6 アプリをインストールしたいとき」を参照してください。



アプリを使用する端末に、検査用スキャンツール（VCI）のドライバがインストールされている

インストール手順については、各スキャンツールメーカーの取扱説明書を参照してください。



準備ができたら、アプリを使い始めましょう。

2 基本操作

2.1 ログインとログアウト

統括管理責任者または管理責任者は、工具・検査員の利用者登録を事前に利用者管理システムで行い、利用者ごとにユーザーIDを発行してください。ユーザーIDまたはパスワードが分からぬ場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。



ご注意

- 他のソフトウェア(整備用の診断ソフト等)が起動されている場合、そのソフトウェアによっては特定DTC照会アプリの動作を阻害する可能性があります。
アプリを使用するときは、他のソフトウェアを終了させてください。
- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。
- ユーザーID、パスワードを忘れた場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。

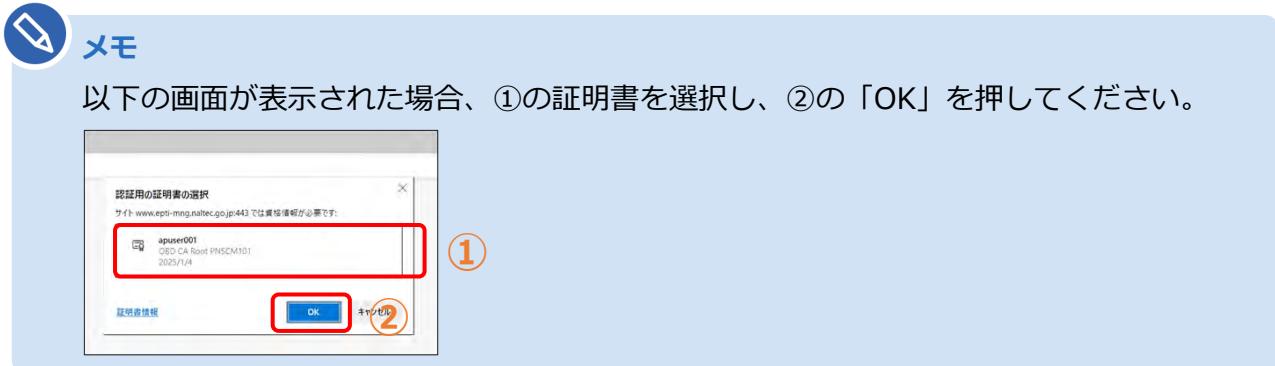
■アプリにログインする（初回）

1. Windowsスタートボタンを押し、表示されるアプリの中から「特定DTC照会アプリ」を選択する

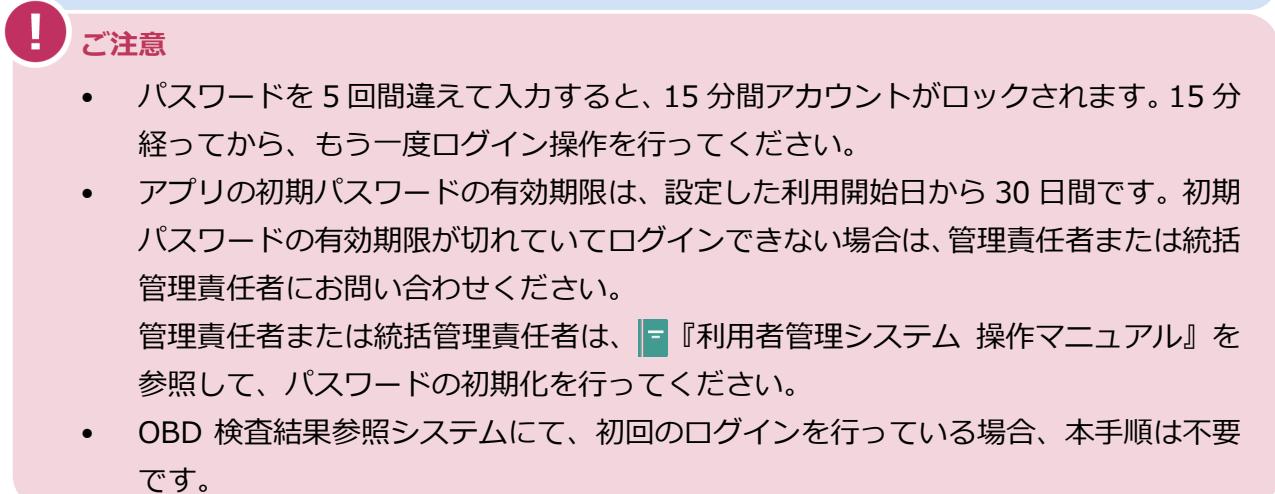
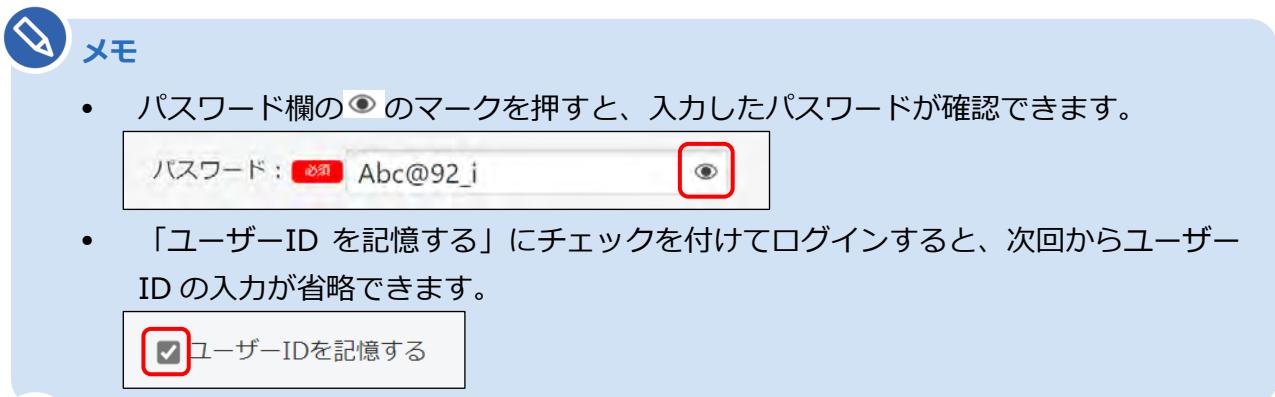


※上図はWindows10の場合の画面例です。Windows11の場合は画面が異なります。

特定DTC照会アプリが起動します。



2. 管理責任者または統括管理責任者から通知された「ユーザーID」、「パスワード」(初期パスワード)を入力する



3. 「ログイン」を押す



利用規約が表示されます。

4. 利用規約を確認後、「利用規約に同意する」にチェックを付け、「利用開始」を押す



《パスワード変更》画面が表示されます。

5. パスワードを入力する

- ① 「現在のパスワード」に初期パスワードを入力します。
- ② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。
- ③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。



ご注意

- パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。
 - 以下の3種類を、それぞれ1文字以上使用すること
 - 半角英字：A～Z、a～z
 - 半角数字：0～9
 - 半角記号：「-」「_」「.」「@」
例) Abc@92_i
 - 8文字以上20文字以下で、ユーザーIDと異なる文字列であること
 - 初期パスワードと異なる文字列であること
- アプリのパスワードを変更すると、OBD検査結果参照システムのパスワードも変更されます。

6. 「変更」を押す

パスワード変更

事業場：OBDモータース港支店
利用者：交通 ゆうき 様 メニューへ ログアウト

ログインパスワードを変更します。現在のパスワードと新しいパスワードを入力してください。

現在のパスワード:
新しいパスワード: Abc@92_i
新しいパスワード(確認):

※パスワード設定ポリシー
• 利用できる文字は半角英字、半角数字、半角記号(「-」、「_」、「.」、「@」)で、これら3種類が含まれていること
• 8文字以上20文字以下であること
• ユーザIDと同じではないこと

戻る 変更

《パスワード変更完了》画面が表示されます。

7. 「メニューへ戻る」を押す

パスワード変更完了

事業場：OBDモータース港支店
利用者：交通 ゆうき 様 メニューへ ログアウト

パスワードの変更が完了しました。

メニューへ戻る

『メニュー』画面が表示されます。



上記は、指定工場の検査員向けの画面例です。

以上で、アプリへのログイン（初回）の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

■アプリにログインする（2回目以降）

1. Windows スタートボタンを押し、表示されるアプリの中から「特定DTC 照会アプリ」を選択する

詳細については、「■アプリにログインする（初回）」(P. 15) を参照してください。

特定DTC 照会アプリが起動します。

メモ

- アプリの起動時にはバージョンチェックが行われます。アプリが更新された際には、画面の表示に従ってアップデートを行ってください。
「7.12 アプリをアップデートしたいとき」を参照して操作を行ってください。
- 以下の画面が表示された場合、①の証明書を選択し、②の「OK」を押してください。

2. 「ユーザーID」、「パスワード」を入力する



「利用規約」を押すと、利用規約の内容が表示されます。



メモ

- パスワード欄の○のマークを押すと、入力したパスワードが確認できます。

パスワード : Abc@92_i
- 「ユーザーIDを記憶する」にチェックを付けてログインすると、次回からユーザーIDの入力が省略できます。

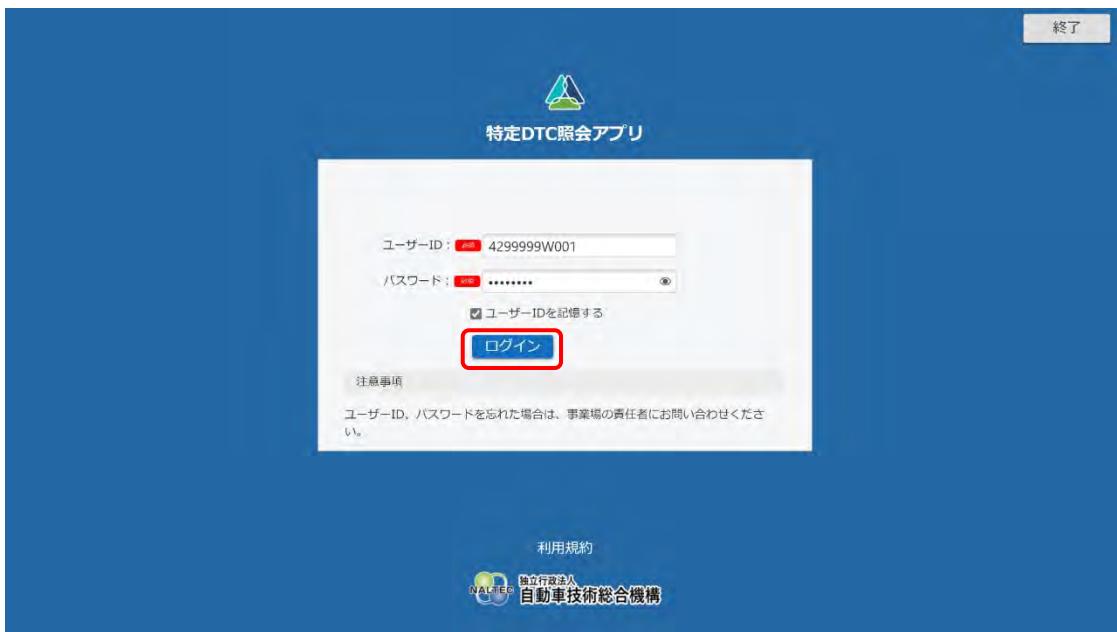
 ユーザーIDを記憶する
- パスワードを変更したいときは、「7.2 パスワードを変更したいとき」を参照してください。



ご注意

- 正しいユーザーIDとパスワードを入力してもログインできない場合は、端末にクラウド証明書がインストールされているか確認してください。
- パスワードを5回間違えて入力すると、15分間アカウントがロックされます。15分経つてから、もう一度ログイン操作を行ってください。
- パスワードを忘れたときは、管理責任者または統括管理責任者に連絡し、利用者管理システムによりパスワードのリセットを依頼してください。

3. 「ログイン」を押す



《メニュー》画面が表示されます。

上記は、指定工場の検査員向けの画面例です。

利用規約の確認画面が表示された場合

利用規約が更新された場合には、《利用規約》画面が表示されます。確認したうえで「利用開始」を押してください。

以上で、アプリへのログイン（2回目以降）の操作は完了です。必要に応じて次の操作に進んでください。

■アプリからログアウトして終了する

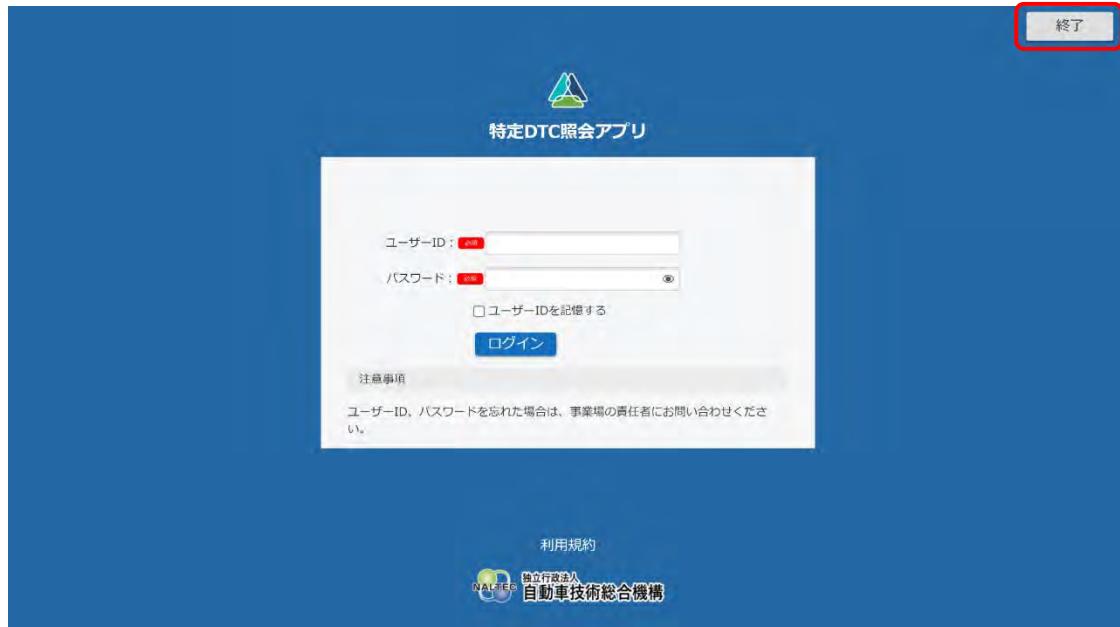
アプリを終了するときはログアウトしてください。

1. 各画面の右上にある「ログアウト」を押す



ログイン画面に戻ります。

2. ログイン画面の右上にある「終了」を押す



アプリを終了します。



メモ

ログインしたまま一定時間操作しないと、《セッションタイムアウト》画面が表示されます。📖 「7.5 「セッションタイムアウト」が表示されたとき」を参照して操作を行ってください。

2.2 画面の見かたと操作方法

■メニュー画面から操作する

ログインすると、《メニュー》画面が表示されます。

《メニュー》画面では、利用するモードが選べるほか、システムからのお知らせ情報などが確認できます。



No.	項目	説明
①	モード選択	「OBD 検査」「OBD 確認」のどちらかを押して、モードを選択します。 モードの選択については、「3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する」を参照してください。 表示されるモードは利用者によって異なります。利用者が工員の場合、指定工場（OBD 検査実施不可）の場合、認証工場の検査員の場合は、「OBD 検査」が表示されません。
②	各種リンク	ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> よくある質問 : 「2.3 よくある質問を確認する」を参照 パスワード変更 : 「7.2 パスワードを変更したいとき」を参照 設定 : 「2.4 設定を確認する」を参照
③	お知らせ	システムからのお知らせがある場合に確認できます。 例) <ul style="list-style-type: none"> OBD 検査システムのメンテナンス情報 アプリの更新情報
④	ヘッダー	「最小化」「縮小」「閉じる」ボタンが表示されます。

■項目のガイドを表示する

説明が必要な項目の横には、⑦が表示されています。⑦を押すと、その項目の詳細な説明を確認できます。



■前の画面に戻る

「戻る」を押すと前の画面に戻ることができます。

例えば、《特定 DTC 照会アプリ設定》画面から《メニュー》画面に戻る場合は以下のようになります。

《特定 DTC 照会アプリ設定》画面

特定DTC照会アプリ設定

事業場: OBDモータース港支店
利用者: 交通 ゆうき 様 メニューへ ログアウト

デフォルトで表示する読み取りモードや利用機器（検査用スキャナツールやQRコードリーダ等）の設定を行えます。

検査用スキャナツール
現在の設定 vci - 1
機器を選択 vci - 1

車検証二次元コード読み取りモード
読み取りモード2

車検証二次元コードリーダ
現在の設定 通信ポート (COM1)
機器を選択 通信ポート (COM1)

電子車検証ICタグリーダ
現在の設定 ICCardReader - 1
機器を選択 ICCardReader - 1

戻る 設定

《メニュー》画面

メニュー

事業場: OBDモータース港支店
利用者: 交通 ゆうき 様 ログアウト

利用するモードを選択してください。

OBD検査 OBD確認 よくある質問 パスワード変更 設定

お知らせ

特定DTC照会アプリ更新情報 **NEW** **重要** 2024年12月21日
2025年1月2日より、XXXの機能の運用を開始します。
システムの変更内容については、添付資料を参照してください。
添付ファイル
• [操作手順（改版）.pdf](#)

メンテナンス情報 **NEW** **重要** 2024年12月20日¹
2025年1月1日午後20時～2025年1月1日午後24時の間、システムの定期メンテナンスを実施します。
メンテナンス中は、OBD検査の実施、及び、利用者管理システムはご利用いただけません。
添付ファイル
• [更新に伴う変更内容について.pdf](#)

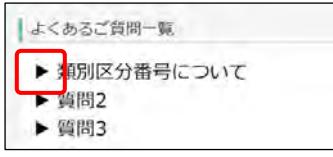
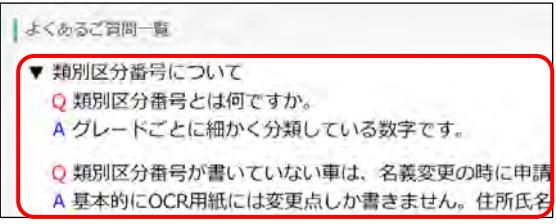
2.3 よくある質問を確認する

困ったときや、分からぬことがあるときは、《よくあるご質問》画面を確認してください。

マニュアルのダウンロードや、よくある質問に対する回答の確認、チャットボットでの問い合わせができます。また、お問い合わせ先としてOBD検査センターの電話番号が記載されています。

《メニュー》画面で「よくある質問」を押すと、《よくあるご質問》画面が表示されます。



No.	項目	説明
①	各種マニュアル	マニュアルのリンク（青文字）を押すと、内容が表示されます。
②	よくあるご質問 一覧	<p>▶を押すと、カテゴリごとの質問と回答が確認できます。</p>  

No.	項目	説明
③	お問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 「チャットボット」を押すと、チャットボットの画面（質問に自動で回答してくれる画面）が開きます。  <p>困ったことや知りたい内容についてメッセージを入力して質問すると、対話形式で回答を確認できます。</p> <p>「質問を入力してください」欄にメッセージを入力し、▶を押すと、メッセージが送信されます。</p> <p>注) チャットボットは日本語のみ対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話で直接問い合わせをする場合は、アプリに表示されている電話番号に連絡してください。また、問い合わせ可能な時間帯などについてもアプリに表示されています。

2.4 設定を確認する

OBD 検査（確認）に使用する検査用スキャンツールや二次元コードリーダなどの設定を確認します。必要に応じて、設定を入力・変更します。



メモ

ここで検査用スキャンツールや二次元コードリーダのモードを設定しておくことで、OBD 検査（確認）実施の際の設定や入力を省くことができます。また、設定した内容はあとから変更することもできます。

1. 《メニュー》画面で「設定」を押す



《特定 DTC 照会アプリ設定》画面が表示されます。

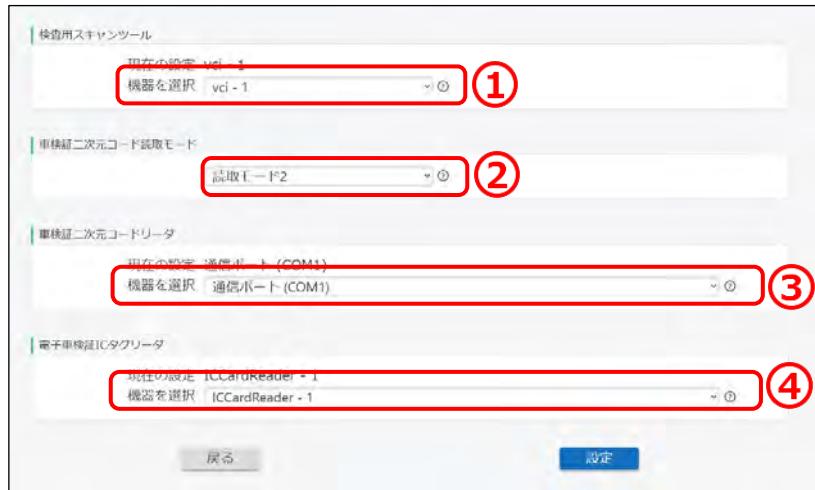
2. 現在の設定を確認する

表示されている設定を確認します。



3. 必要に応じて設定を変更する

プルダウンリスト  を押して表示される項目から、設定したい機器やモードを選択します。



メモ

- 初めてアプリにログインしたときは、検査用スキャンツールや車検証二次元コードリーダ、電子車検証 IC タグリーダの「現在の設定」には、「(設定されていません)」が表示されています。
- 検査用スキャンツールのプルダウンリストを押すと、ドライバをインストール済みの機器名を選択することができます。
- 車検証二次元コードリーダ、電子車検証 IC タグリーダのプルダウンリストは、インストールされたドライバのみ表示されます。
- 車検証二次元コードリーダ、電子車検証 IC タグリーダについては、USB 接続されていて、使用可能な機器を選択することができます。
- プルダウンリストに機器等が表示されない場合は、アプリを使う前に管理責任者または統括管理責任者が行う作業について「■アプリを使う前の確認」(P. 14) を参照し、再度確認してください。

No.	項目	説明
①	検査用スキャンツール	<p>OBD 検査時に車両と接続する検査用スキャンツールの機器名を選択します。</p> <p>ご注意 ここでは PC にインストールされているスキャンツールのドライバ (VCI ドライバ) が表示されます。そのため、同一機種の場合や異なる機種であっても VCI ドライバが共通である場合については、それぞれの機種を区別して選択できません。</p>

No.	項目	説明
②	車検証二次元コード読取モード	電子車検証または車検証等の読み取りに二次元コードリーダを使用する場合は、機器に応じて読取モードを選択します。  メモ 読取モードの違いについては「■用語集」(p.5)を参照してください。
③	車検証二次元コードリーダ	電子車検証または車検証等の読み取りに二次元コードリーダを使用する場合は、機器名（ドライバ）を選択します。二次元コードリーダを読取モード2でご利用になる場合は、選択していなくても使用可能です。
④	電子車検証 IC タグリーダ	車検証の読み取りに IC タグリーダを使用する場合は、機器名（ドライバ）を選択します。



ご注意

- ・ プルダウンリストの中に、検査用スキャントールや車検証二次元コードリーダ、電子車検証 IC タグリーダの機器名が見つからないときは、「■アプリを使う前の確認」(P. 14) を参照し、以下を確認してください。
 - 検査用スキャントールのドライバがインストールされているか
 - 各種リーダが USB に接続されていて、使用可能な状態か
- ・ 車検証二次元コードリーダおよび電子車検証 IC タグリーダの選択において、プルダウンリストにはドライバ名称が表示されるなど、機器名と一致しない場合があります。取扱説明書を確認のうえ選択してください。

4. 設定内容を確認して「設定」を押す



設定した内容が登録され、《メニュー》画面に戻ります。



メモ

登録内容を確認するには、再度《メニュー》画面で「設定」を押して、「現在の設定」を確認します。また、設定した内容は、《メニュー》画面で「OBD 検査」モードまたは「OBD 確認」モードを選択した後の画面でも確認できます。

以上で、設定の操作は完了です。

3 車両受付をする

車両受付から、実際のOBD検査がはじまります。車両受付とは、車両の情報をアプリに入力することです。

アプリでは、最初にモードを、続いて検査用スキャンツールを選択して、車両受付を行います。

! ご注意

電子車検証または車検証等の備考欄に「OBD検査対象車」(電子車検証の場合は「OBD検査対象」)などの記載がある車両は、法令でOBD検査の対象とされています。



なお、OBD検査の対象となる車両であっても、OBD検査が不要となる場合があります。

■車両受付が可能な車両

特定DTC照会アプリでは以下の条件を満たす場合に車両受付以降の操作を実施できます。

- 電子車検証または車検証等に「OBD検査対象」と記載がある
- 電子車検証または車検証等に記載（記録）のOBD検査開始年月日以降である
- 初度登録年月（軽自動車は初度検査年月）から10ヶ月経過している

また、OBD検査対象外であっても一部の車両については車両受付以降の操作を実施できます。

ただし、以下の車両については車両受付を実施できない（車両情報入力時にエラーとなる）、または車両との通信が行えない場合があります。

- 並行輸入自動車（型式が「不明」または型式の前後に「ハイフン（-）」があるもの）
- 試作車、組立車
- 初度登録年月（軽自動車は初度検査年月）が平成22年8月以前の車両
- 排ガス規制を受けない車両（EV、FCV等）

詳細については、「4.1 OBD検査の要否を確認する」参照してください。

3.1 車両受付をする前に

車両受付をする前に、以下のチェックを行ってください。



必要な機器や書類、インターネット環境が用意されている

- 電子車検証または車検証等
- 検査用スキャナツール（Windows がインストールされた PC またはタブレットと VCI）
- 車両
- 二次元コードリーダまたは IC タグリーダ（使用する場合）
読み取りモード 1 を使用する場合は、特定 DTC 照会アプリの設定を行ってください。詳細は、「2.4 設定を確認する」を参照してください。



クライアント証明書がインストールされている



使用する端末に、アプリがインストールされている

インストール手順については、「7.6 アプリをインストールしたいとき」を参照してください。



工員または検査員のユーザーID とパスワードを持っている

ユーザーID とパスワードが分からない場合は、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。

3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する

用途に応じて、利用するモードを選択します。次に、車両に接続する検査用スキャンツールを選択します。



ご注意

車両と検査用スキャンツールを接続する前に、アプリでこの作業を行ってください。

1. ログインする

「ユーザーID」と「パスワード」を入力して、「ログイン」を押します。



メモ

ログイン操作については、「2.1 ログインとログアウト」を参照してください。

《メニュー》画面が表示されます。

2. モードを選択する

「OBD 検査」「OBD 確認」のいずれかのボタンを押します。なお、表示されるモードは利用者の区分に応じて異なります。



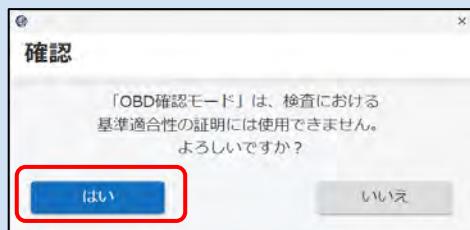
各モードの操作方法に大きな違いはありません。いずれのモードを選択しても、検査または確認の実施履歴としてシステムに記録されます。



メモ

「OBD 検査」「OBD 確認」の両方が表示されるユーザーは、「OBD 確認」を選択すると以下のメッセージが表示されます。

「OBD 確認」の実施で問題ないことが確認できましたら、「はい」を押してください。

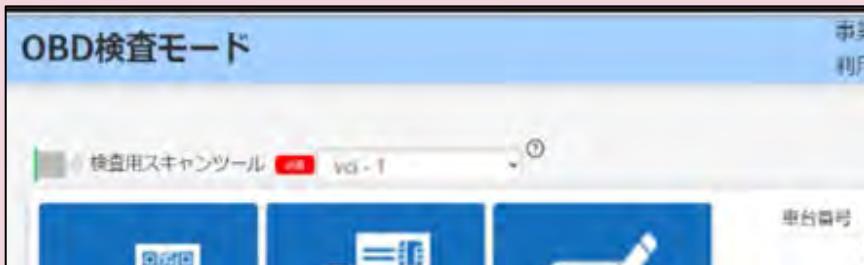




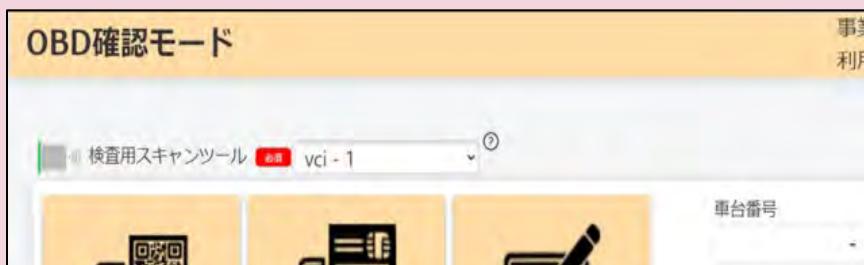
ご注意

選択するモードにより、画面上部とボタンの色が変わります。

「OBD 検査モード」を選択した場合



「OBD 確認モード」を選択した場合



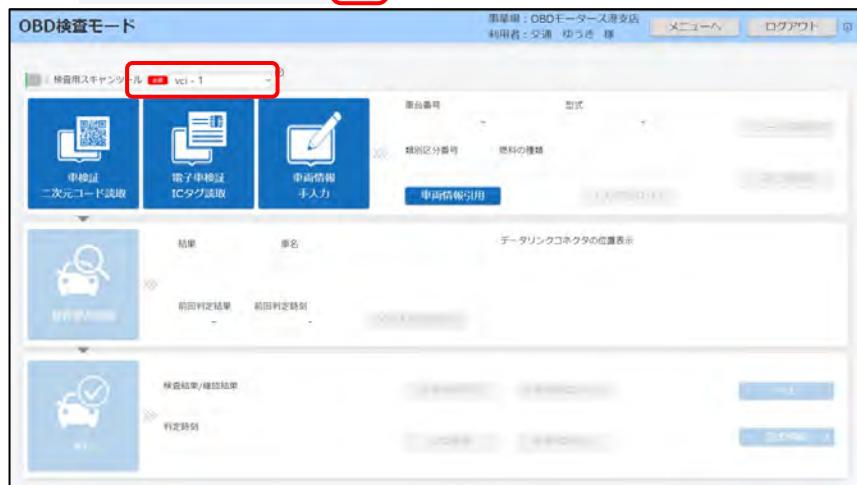
以下の表を参照して、用途に応じてモードを使い分けてください。

モード	利用者	用途
OBD 検査	指定工場の検査員	法令に準拠して OBD 検査を実施する際に使用します。
OBD 確認	指定工場、認証工場の工員および検査員	<p>点検・整備時に、OBD 検査と同等の確認（OBD 確認）を行う際に使用します。ただし、以下の条件等により実施できる項目または表示内容が異なる場合があります。</p> <p>【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以降）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • OBD 検査と OBD 確認で実施できる項目は同一です。 <p>【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以前）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一部の車両において、安全関係装置の OBD が確認できません。 • 排ガス関係の OBD を確認できますが、一部の車両において DTC（コード）のみが表示され、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 <p>【OBD 検査対象外車（J-OBD II またはディーゼル重量車 J-OBD II 規制）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国際規格（OBD II）に準拠した排ガス関係の OBD を確認できますが、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 <p>【OBD 検査対象外車（J-OBD I 規制）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「検査要否確認」および「実行」まで操作が可能ですが、通信不成立となる場合があります。 <p>【OBD 検査対象外車（排ガス規制を受けない車両（EV、FCV 等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「検査要否確認」まで操作が可能です。「実行」の操作は行えません。

3. 検査用スキャンツールを選択する

検査用スキャンツールのドライバを選択してください。表示されるドライバの名称と検査用スキャンツールの商品名は異なることがあるため、選択するドライバ名称が不明な場合は、ツールメーカーや販売店等にご確認ください。なお、インストールされている検査用スキャンツールのドライバが1つの場合は、自動的に検査用スキャンツールが選択されます。

インストールされている検査用スキャンツールのドライバが2つ以上ある場合は、プルダウンリスト  XXX-XXX  を押して、使用する検査用スキャンツールを選択してください。



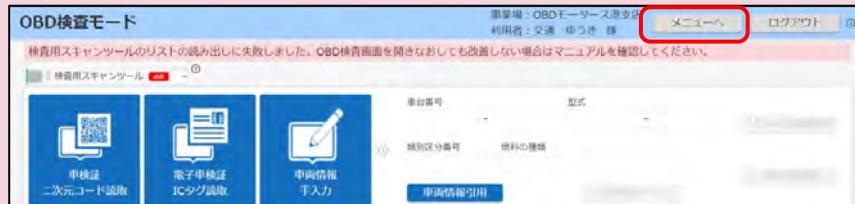
メモ

 「2.4 設定を確認する」で検査用スキャンツールを設定している場合、設定した検査用スキャンツールが表示されています。



ご注意

- エラーが表示された場合は、検査用スキャンツールのVCIドライバを認識できなかつた、または、VCIドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
画面右上の「メニューへ」を押し、再度モードの選択からやり直してください。解決しない場合は、OBD検査センターにお問い合わせください。



- 選択したものと異なる検査用スキャンツールを車両に接続し検査を行った場合、正常に作動しない可能性があります。
検査用スキャンツールのドライバ名を確認のうえ、正しいスキャンツールを選択し、再度検査を実施してください。
- エラーの詳細については、 「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

以上で、利用するモードと検査用スキャンツールの選択の操作は完了です。

続いて、 「3.3 車両情報を入力する」に進んでください。

3.3 車両情報を入力する

《OBD 検査モード》画面で、検査を受ける車両の情報を入力します。使用する機器（リーダ）によって、以下の 3 つの入力方法があります。

- 二次元コードリーダを使用して、電子車検証または車検証等の二次元コードを読み取る
「■電子車検証または車検証等の二次元コードを読み取る場合」(P. 37) を参照
- IC タグリーダを使用して、電子車検証の IC タグを読み取る
「■電子車検証の IC タグを読み取る場合」(P. 41) を参照
- 読み取り機器を使用せず、車両情報を手入力する
「■電子車検証または車検証等の情報をキーボードなどにより入力する場合」(P. 44) を参照

車検証の情報と異なる車両で、誤って OBD 検査を実施した場合は、再度車両の受付からやり直し、正しい車両情報を入力のうえ、もう一度 OBD 検査を実施してください。

■電子車検証または車検証等の二次元コードを読み取る場合

ここでは、「読み取りモード 1」に対応する二次元コードリーダを使用する場合について説明しています。それ以外の二次元コードリーダを使用する場合は、「7.3 車検証二次元コード読み取りを「読み取りモード 2」で行うとき」を参照してください。



ご注意

「読み取りモード 1」、「読み取りモード 2」における二次元コードリーダの操作方法等については、OBD 検査ポータルの、「OBD 検査で使用する機器」を確認してください。

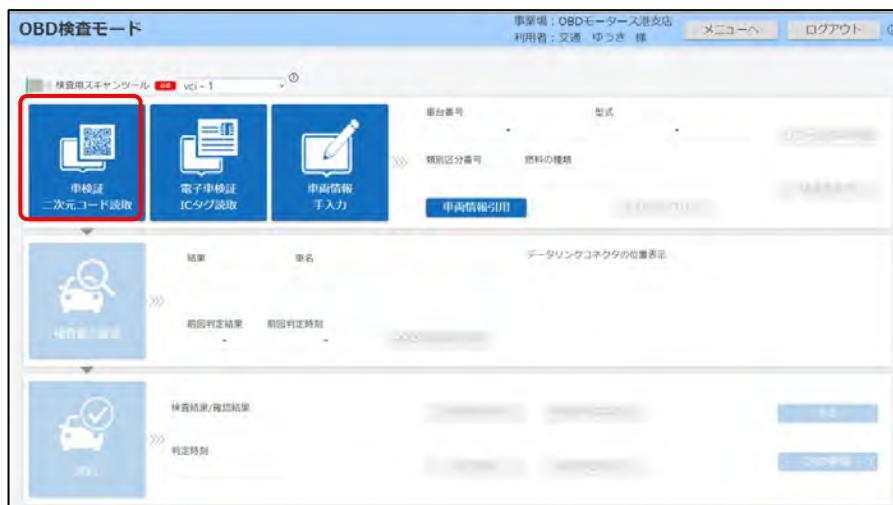
《OBD 検査ポータル》

検査の実施準備 / OBD 検査で使用する機器

<https://www.obd.naltec.go.jp/preparation/device/#other-device>

1. 入力方法を選ぶ

「車検証二次元コード読み取り」を押します。



《車検証二次元コード読み取り》画面が表示されます。

2. 読取モードを選ぶ

「読み取りモード 1」が選択されていることを確認します。



メモ

読み取りモードには以下のような違いがあります。

- 読取モード 1：特定 DTC 照会アプリで定義された読み取りモード。電子車検証または車検証等の二次元コードの連続的な読み取りが可能な二次元コードリーダを使用する場合に選択する。
- 読取モード 2：特定 DTC 照会アプリで定義された読み取りモード。電子車検証または車検証等の二次元コードの連続的な読み取りに対応できない二次元コードリーダを使用する場合に選択する。



ご注意

本手順では、「読み取りモード 1」を選択する場合の操作方法を説明します。「読み取りモード 2」を選択する場合は、「7.3 車検証二次元コード読取を「読み取りモード 2」で行うとき」を参照してください。

また、使用する機器によって、使用方法や動作が異なります。詳細は、OBD ポータルサイトの以下のページより、「■二次元コードリーダ」をご確認ください。

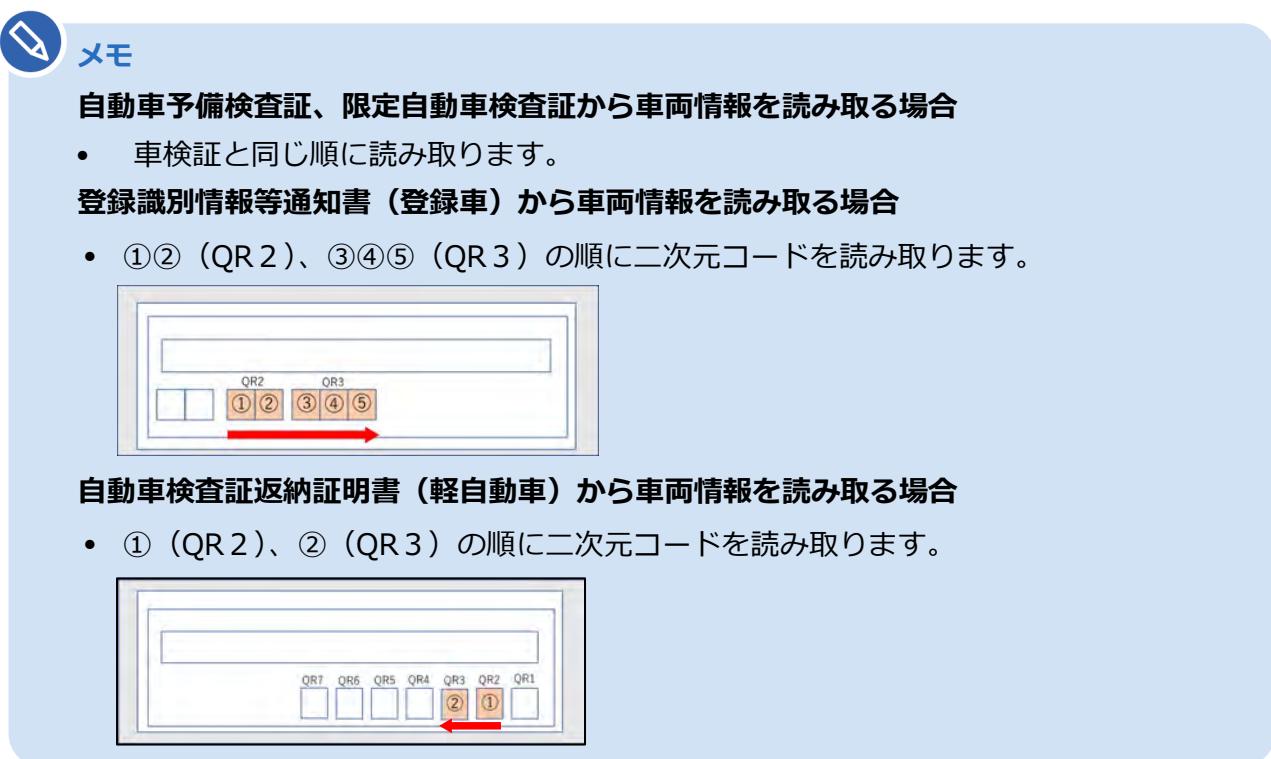
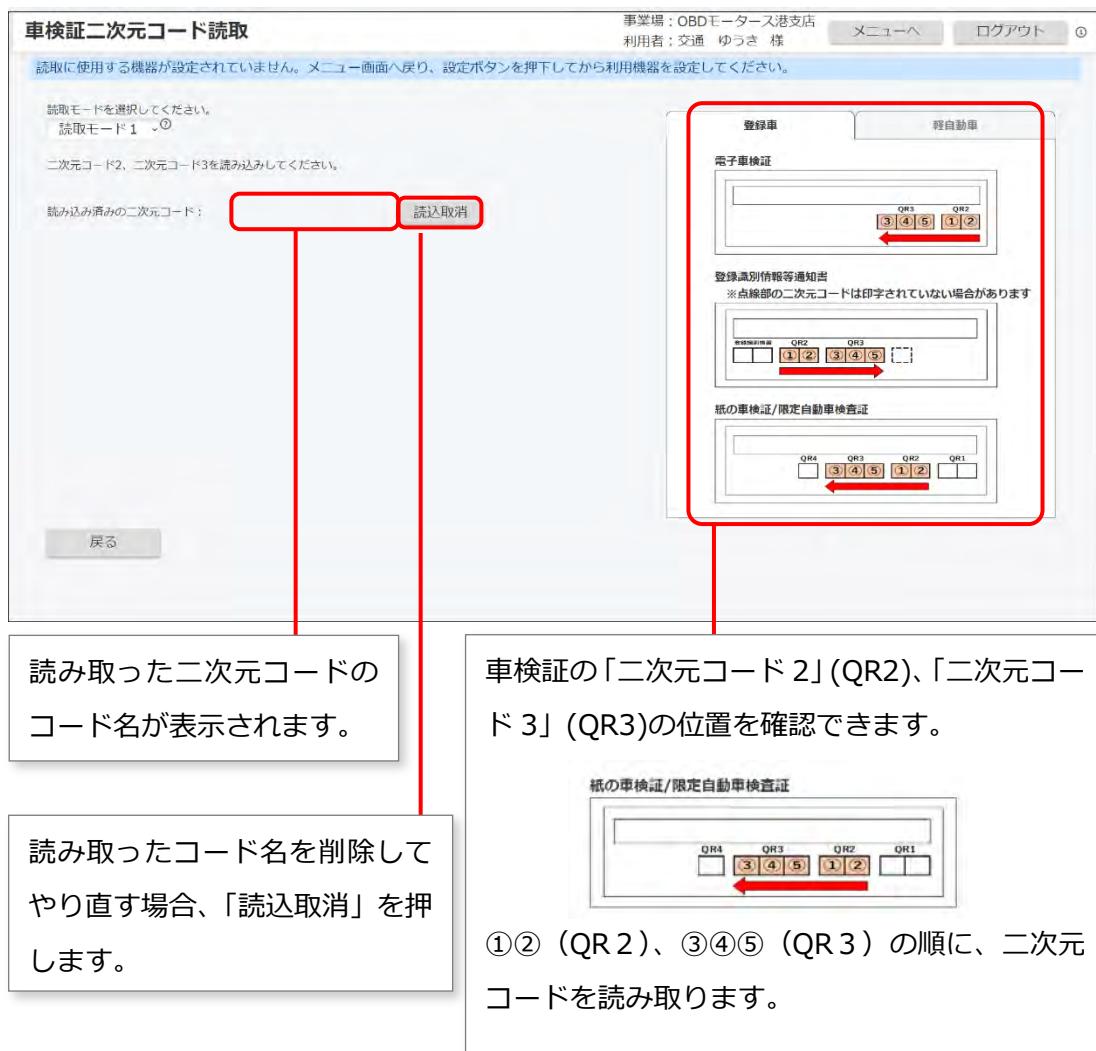
《OBD 検査ポータル》

検査の実施準備 / OBD 検査で使用する機器

<https://www.obd.naltec.go.jp/preparation/device/#other-device>

3. 二次元コードを読み取る

車検証に記載された「二次元コード 2」(QR2)、「二次元コード 3」(QR3) の順に読み取ります。





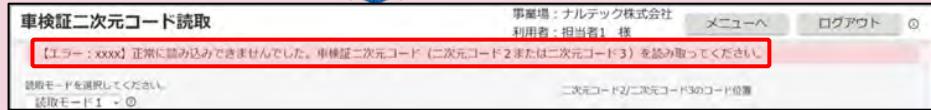
ご注意

以下のような原因で読み取りに失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

メッセージに従って、操作をやり直してください。

- ・ 二次元コードリーダの接続に失敗した場合
- ・ 二次元コード 2、3 以外の二次元コードを読み取った場合
- ・ 登録車と軽自動車の二次元コードを混在させて読み取った場合

エラーの詳細については、「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

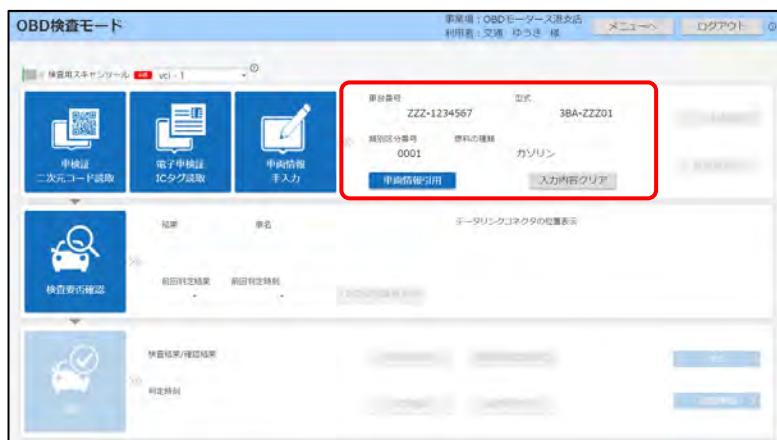


メモ

二次元コードがうまく読み取れない場合は、電子車検証または車検証等の情報をキーボードなどにより入力することもできます。詳細については、「■電子車検証または車検証等の情報をキーボードなどにより入力する場合」(P. 44) を参照してください。

読み取った車両情報が登録されると《OBD 検査モード》画面に戻ります。

以下のように、入力した情報が反映されます。



以上で、車両情報の入力（「車検証二次元コード読取」の場合）の操作は完了です。必要に応じて、以下の操作を行ってください。

次の操作を行う場合

「4 OBD 検査要否確認を行う」に進みます。

読み取りをやり直したい場合

「入力内容クリア」を押して、再度、手順 1. から始めてください。



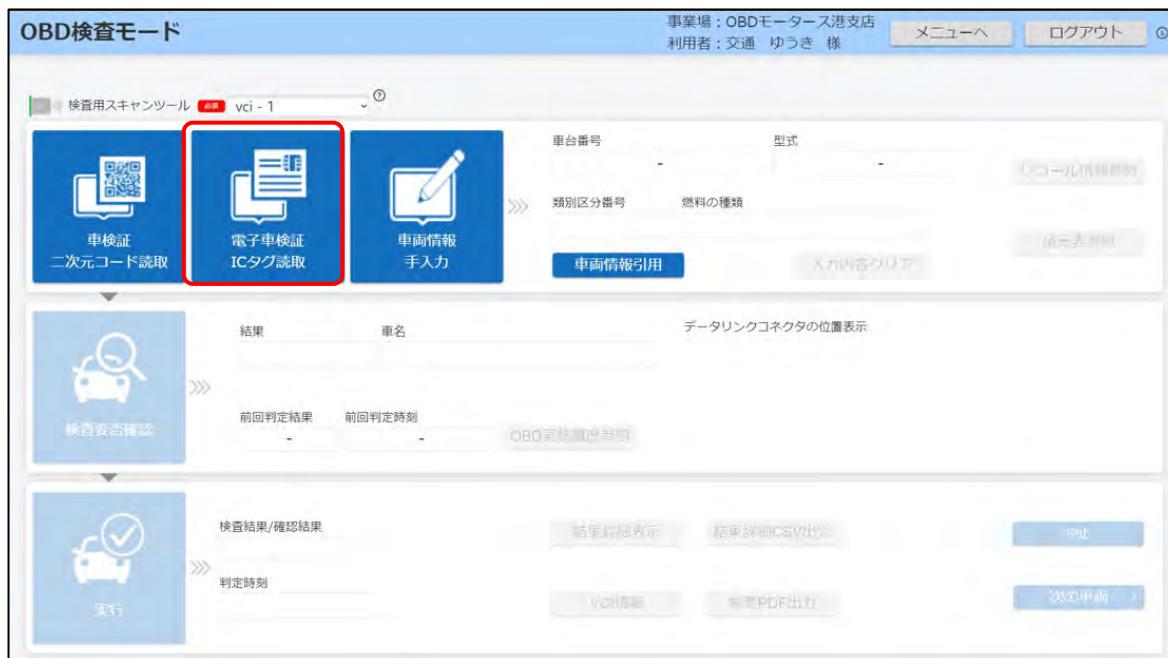
車両情報手入力画面が表示された場合

類別区分番号が空欄の場合、車両情報手入力画面が表示されることがあります。追加で情報を入力してください。

■電子車検証のICタグを読み取る場合

1. 入力方法を選ぶ

「電子車検証 ICタグ読取」を押します。



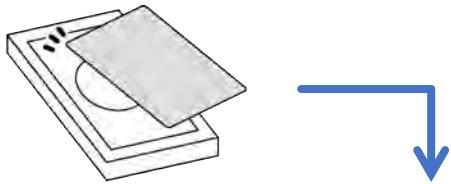
《電子車検証読取》画面が表示されます。

2. セキュリティコードを入力する

電子車検証の右下に記載されている4桁の数字を入力します。



3. 電子車検証を IC タグリーダに置いた状態で、「読み取開始」を押す



The screenshot shows the 'Electronic Vehicle Inspection Certificate Reading' screen. At the top, it displays the business location: 'OBDモータース港支店' and the user information: '利用者: 交通 ゆうき 様'. On the left, there is a note: '画面に従って電子車検証を読み取ってください。' Below this, three steps are listed:

- ①セキュリティコードの入力
セキュリティコードを半角数字で入力してください。
セキュリティコードは車検証表面の右下にある4桁の数字です。
- ②電子車検証の読み取り
読み取り機器に電子車検証を置いてください。
- ③読み取開始ボタンをクリック
読み取開始ボタンをクリックしてください。
※金属製のものが近くにある場合、うまく読み取れないことがあります。
※端末によってカードを認証するまでに3~5秒間かかることがあります。

The security code '1234' is entered in the input field. To the right, a diagram shows the location of the security code on the OBD, which is labeled 'セキュリティコードの位置 (赤枠部分)' and '自動車検証'. A red box highlights the bottom-right corner of the OBD where the four-digit code is located. At the bottom left is a 'Read Start' button, which is also highlighted with a red box. At the bottom right is a 'Back' button.



メモ

電子車検証がうまく読み取れない場合は、電子車検証の情報をキーボードなどにより入力することもできます。詳細については、「■電子車検証または車検証等の情報をキーボードなどにより入力する場合」(P. 44) を参照してください。



ご注意

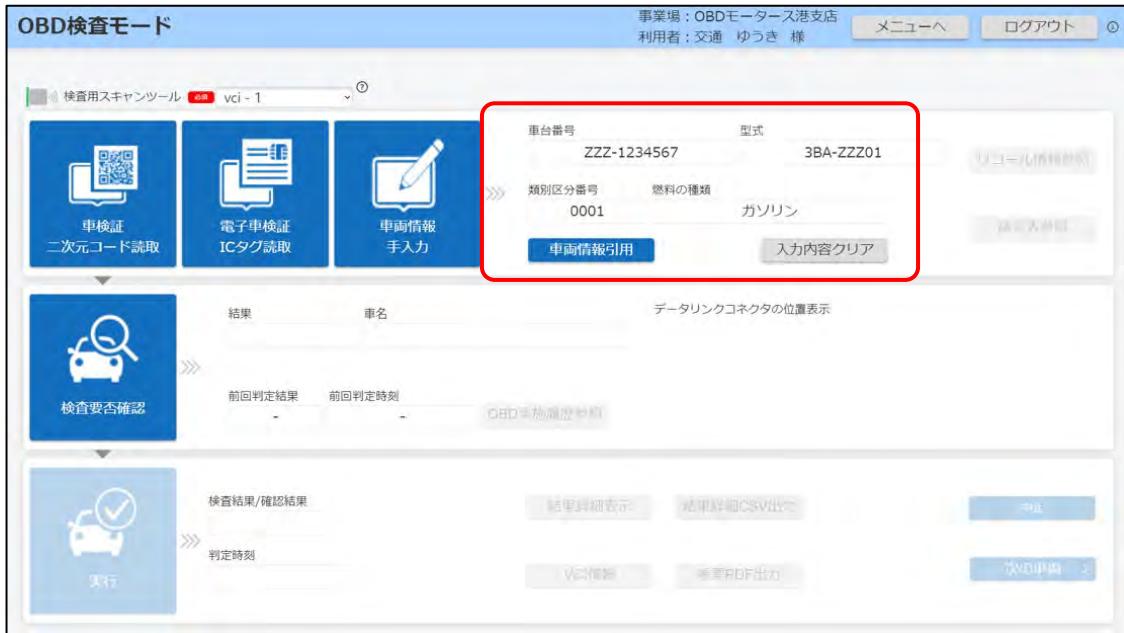
- ・ 金属製のものが近くにある場合、電子車検証がうまく読み取れないことがあります。
- ・ 読み取りに失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って、操作をやり直してください。

エラーの詳細については、「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

The screenshot shows the same 'Electronic Vehicle Inspection Certificate Reading' screen, but now with an error message at the top: '[エラー: xxxx] 正常に読み込みできませんでした。電子車検証を読み取ってください。' Below this, the three steps are shown again, with the first step 'セキュリティコードの入力' and its note visible. To the right, a diagram shows the location of the security code on the OBD, which is labeled 'セキュリティコードの位置 (赤枠部分)' and '自動車検証'.

読み取った車両情報が登録されると《OBD 検査モード》画面に戻ります。

以下のように、入力した情報が反映されます。



以上で、車両情報の入力（「電子車検証 IC タグ読取」の場合）の操作は完了です。

次の操作を行う場合

「4 OBD 検査要否確認を行う」に進みます。

読み取りをやり直したい場合

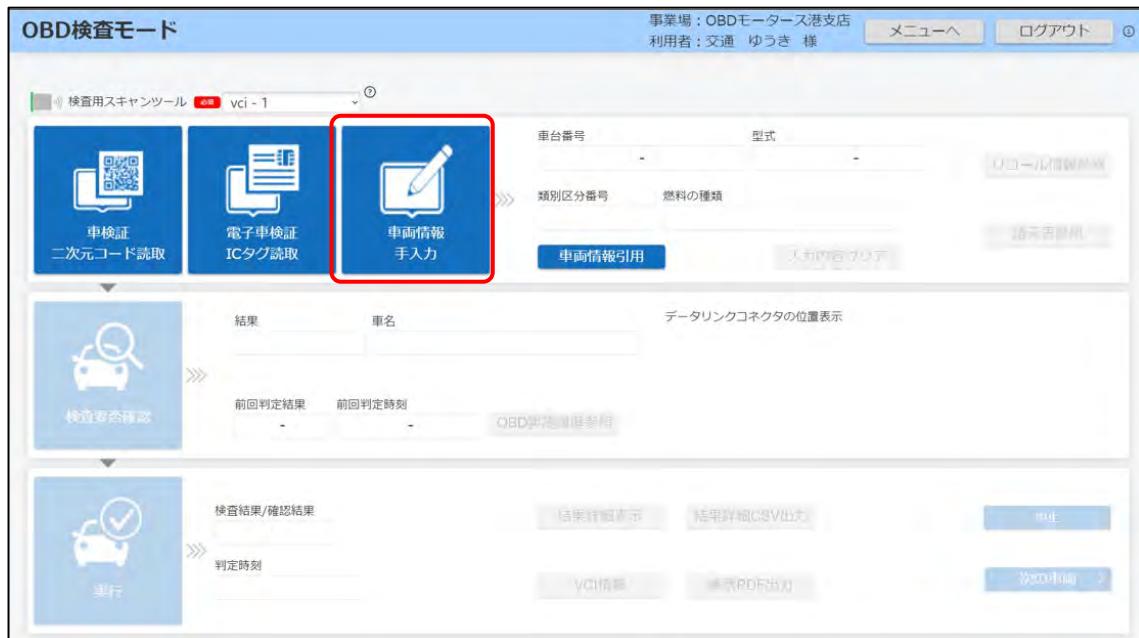
「入力内容クリア」を押して、再度、手順 1. から始めてください。



■電子車検証または車検証等の情報をキーボードなどにより入力する場合

1. 入力方法を選ぶ

「車両情報手入力」を押します。二次元コードリーダや IC タグリーダがない場合はこちらを選択してください。



《車両情報手入力》画面が表示されます。

2. 車両情報を入力する

電子車検証または車検証等の記載内容を、入力または選択します。

No.	項目	説明
①	車台番号	車台番号を半角英数・記号（「-」半角ハイフン）で入力します。車台番号に漢字が含まれている場合は、「職権打刻」を押して入力します。職権打刻の入力方法については、 「7.4 車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）」 を参照してください。
②	型式	プルダウンリストで空白が選択された状態で、型式を半角で入力します。改造車などの場合は、プルダウンリストで以下のいずれかを選択します。 試作／組立／不明／改
③	燃料の種類	プルダウンリストから燃料の種類を選択します。
④	初度登録年月または初度検査年月	「あり」が選択された状態で、初度登録年月または初度検査年月（軽自動車の場合）を半角数字で入力します。 記載がない場合は、「なし」を選択します。
⑤	類別区分番号	電子車検証または車検証等の類別区分番号を入力してください。改造車の場合は、電子車検証または車検証等の備考欄に記載されている類別区分番号の値を入力してください。 記載がない場合は、「なし」を選択してください。
⑥	閉じる	入力または選択した内容を反映せず、《OBD 検査》画面に戻ります。



メモ

車台番号および型式はすべて大文字に変換されるため、大文字と小文字どちらで入力しても構いません。

電子車検証（普通車の場合）での各項目の記載位置は、以下のとおりです。

なお、車検証等や軽自動車の車検証では記載位置が異なります。



3. 「確定」を押す

車両情報手入力

車検証を確認のうえ、受検車両の情報を入力してください。

車台番号 <small>⑦ 必須</small> ZZZ-123456789	職権打刻	初度登録年月または初度検査年月 <small>⑦ 必須</small> なしあり 令和 5 年 12 月
型式 <small>⑦ 必須</small> 3BA-ZZZ01	改造車等 <small>⑦</small>	類別区分番号 <small>⑦ 必須</small> なしあり 0001
燃料の種類 <small>⑦ 必須</small> ガソリン		

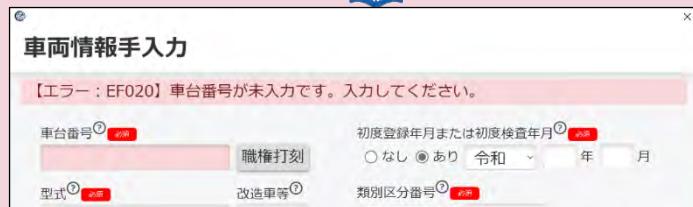
確定



ご注意

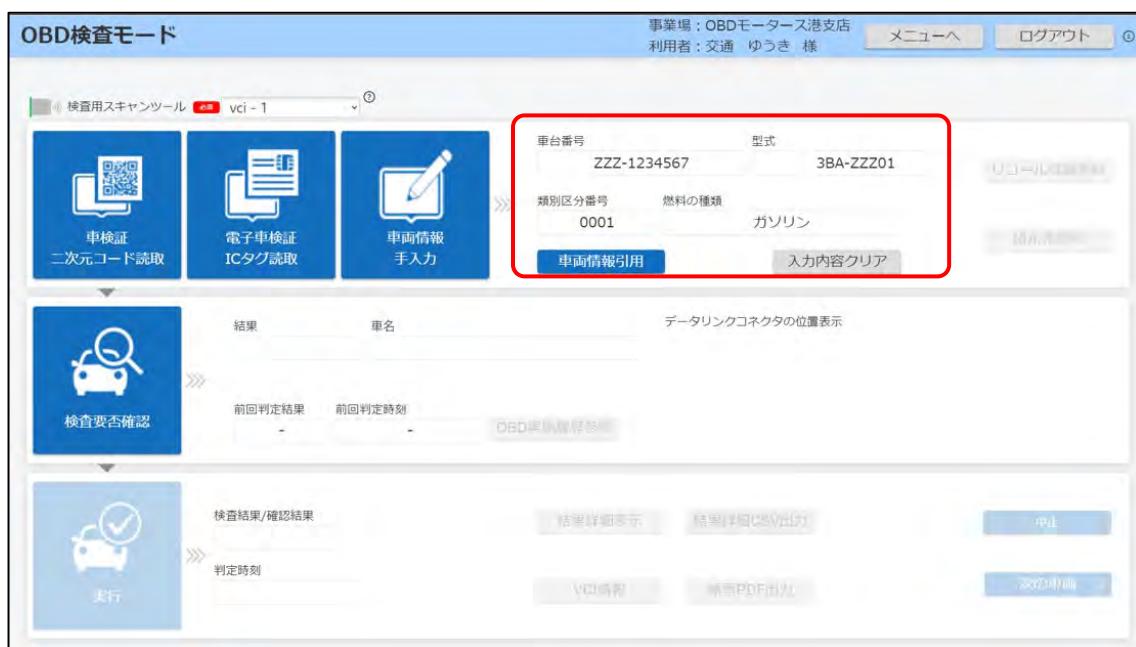
入力に不備がある場合、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って、入力をやり直してください。

エラーの詳細については、「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。



入力した車両情報が登録されると《OBD 検査モード》画面に戻ります。

以下のように、入力した情報が反映されます。



以上で、車両情報の入力（「車両情報手入力」の場合）の操作は完了です。

次の操作を行う場合

「4 OBD 検査要否確認を行う」に進みます。

入力をやり直したい場合

「入力内容クリア」を押して、再度、手順 1. から始めてください。



4 OBD 検査要否確認を行う

車両受付が完了したのち、OBD 検査が必要かどうかをアプリで確認します。



メモ

OBD 検査の対象となる車両の電子車検証には、「OBD 検査対象」などの記載がありますが、これらの表示がある場合でも法令等で定められた条件により OBD 検査を実施しなくてもよい場合があります。そのため、OBD 検査対象車には、アプリを使用して「OBD 検査要否確認」を行ってください。

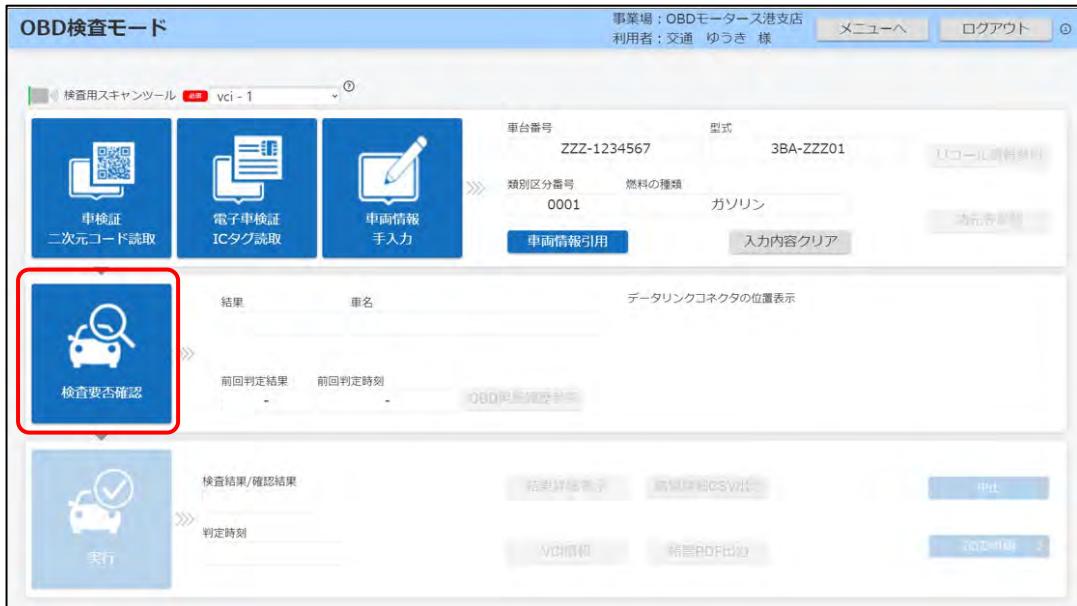
4.1 OBD 検査の要否を確認する



メモ

インターネット通信の状況によって、確認に時間がかかる場合があります。

1. 車両受付が完了した後、「検査要否確認」を押す



OBD 検査の要否確認が開始されます。

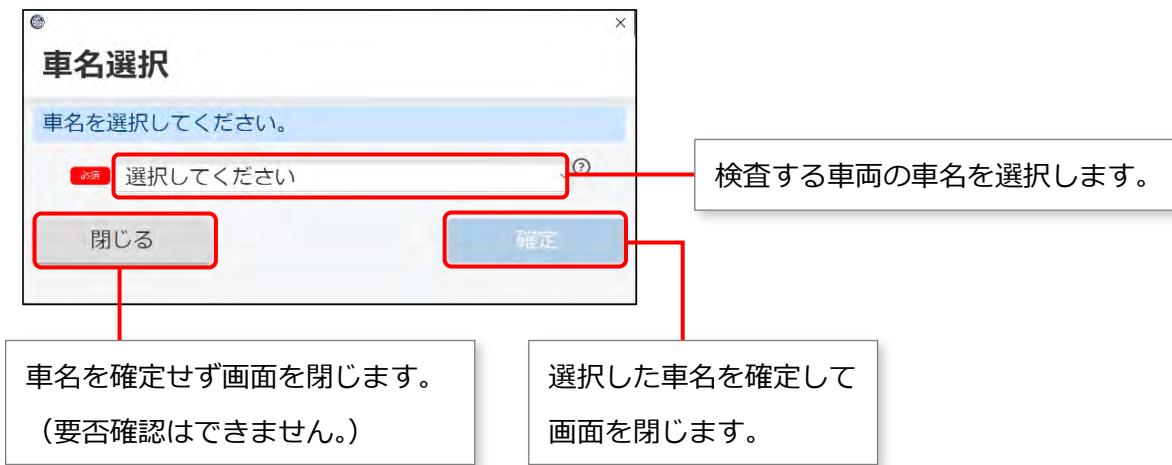
以下の画面が表示された場合は、画面に従って車両の情報を入力してください。

- 《車名選択》画面が表示された場合 (P. 49)
- 《車両 ID 入力》画面が表示された場合 (P. 49)
- 《その他燃料選択》画面が表示された場合 (P. 50)

《車名選択》画面が表示された場合

対象の車両を特定できない場合、以下の画面が表示されます。

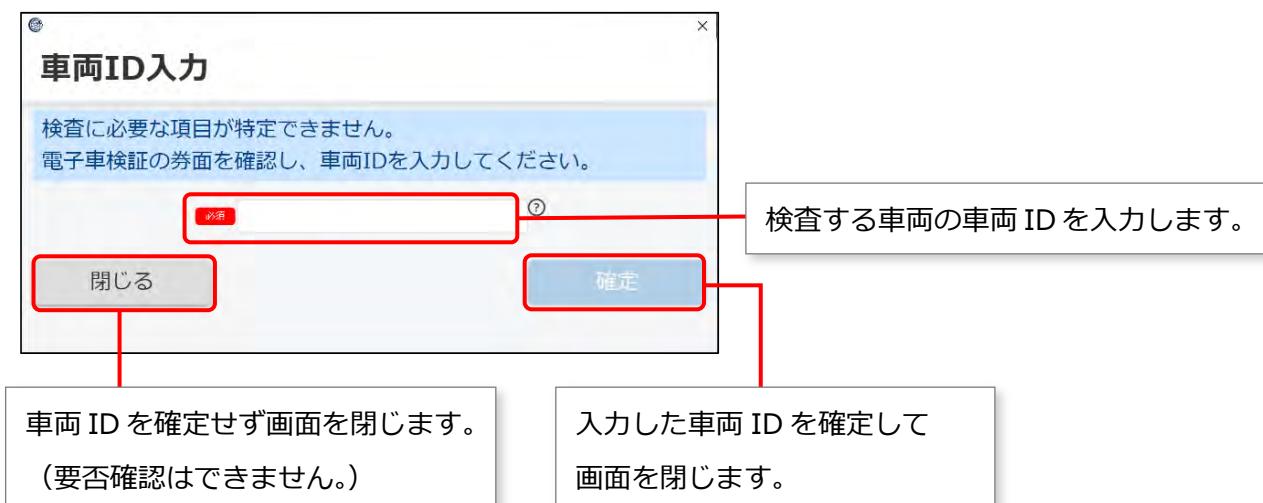
電子車検証または車検証等に記載されている車名をプルダウンリストから選択して、「確定」を押してください。



《車両 ID 入力》画面が表示された場合

対象の車両 ID を特定できない場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証に記載されている車両 ID を入力して、「確定」を押してください。



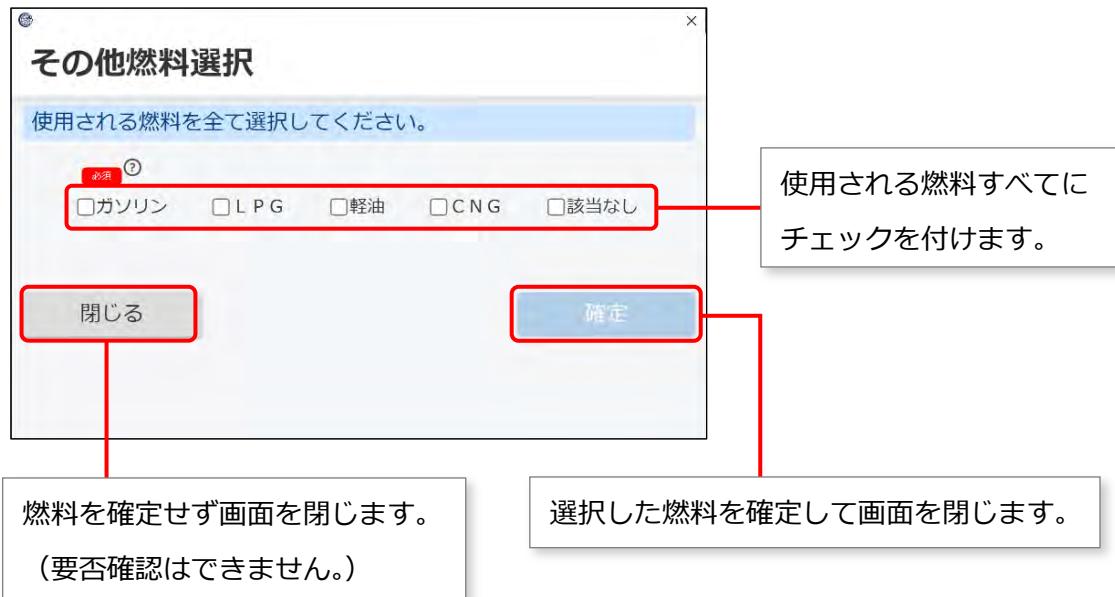
車両 ID は、電子車検証の左下（欄外）に記載されています。



《その他燃料選択》画面が表示された場合

その他燃料の情報追加が必要な場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証または車検証等の「燃料の種類」や「備考」欄に記載されている燃料をすべてチェックして、「確定」を押してください。



2. 結果を確認する

検査要否確認の結果は、以下のいずれかが表示されます。

結果	説明
OBD 検査要	OBD 検査を実施する必要があります。
OBD 検査不要	OBD 検査を実施する必要がなく、検査はできません。
OBD 検査不可	OBD 検査に必要な車両情報が存在しない場合に表示されます。OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

OBD 検査要否の結果に応じて、以下の操作を行ってください。

「OBD 検査要」の表示がある場合

「5 OBD 検査を行う」に進んでください。

「OBD 検査不要」の表示がある場合

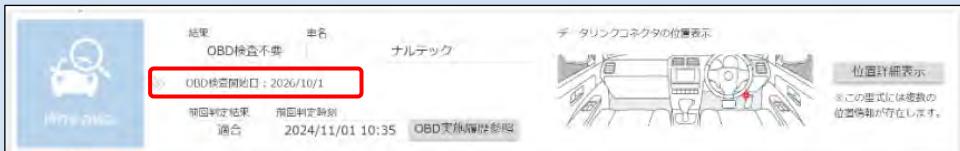
これ以上の操作は必要なく、OBD 検査は終了です。ただし、以下の操作は実施できます。

- OBD 検査要否確認結果の帳票 (PDF ファイル) や CSV ファイルのダウンロード
 「6.2 OBD 検査結果を保存する」を参照
- 関連情報や過去の OBD 検査実施履歴情報の閲覧
 「4.2 関連情報を確認する」を参照

なお、OBD 確認モードの場合は、そのまま OBD 確認に進める場合があります。

詳細については、 「■OBD 検査モードと OBD 確認モード」(P. 10) を参照してください。

メモ



OBD 検査不要となった場合、結果欄の下に OBD 検査開始日が表示されます。

「OBD 検査不可」の表示がある場合

OBD 検査モードの場合は、これ以上の操作はできません。OBD 検査対象車であって、初度登録年月または初度検査年月から 10 か月経過していて、かつ車検証に記載（電子車検証の場合は IC タグ情報に格納）されている OBD 検査開始年月日が過ぎているにもかかわらず「OBD 検査不可」と表示される場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

なお、OBD 確認モードの場合は、そのまま OBD 確認に進める場合があります。ただし、画面の上部にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。

また、OBD 検査を終了しても、関連情報や過去の OBD 検査実施履歴情報の閲覧は可能です。

詳細については、 「4.2 関連情報を確認する」を参照してください。



ご注意

エラーの詳細については、 「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

4.2 関連情報を確認する

車両について、以下の関連情報を確認できます。



メモ

関連情報の確認は、OBD 検査に必須ではありません。必要に応じて確認してください。

- データリンクコネクタの位置

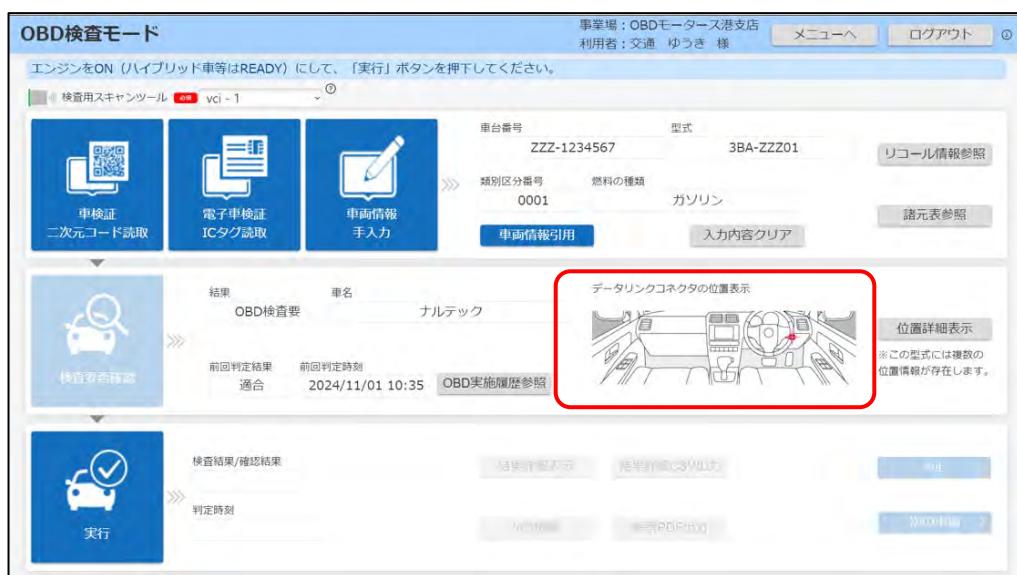
「■データリンクコネクタの位置を確認する」(P. 52) を参照
- 過去の OBD 検査実施履歴

「■過去の OBD 検査実施履歴を確認する」(P. 54) を参照

■データリンクコネクタの位置を確認する

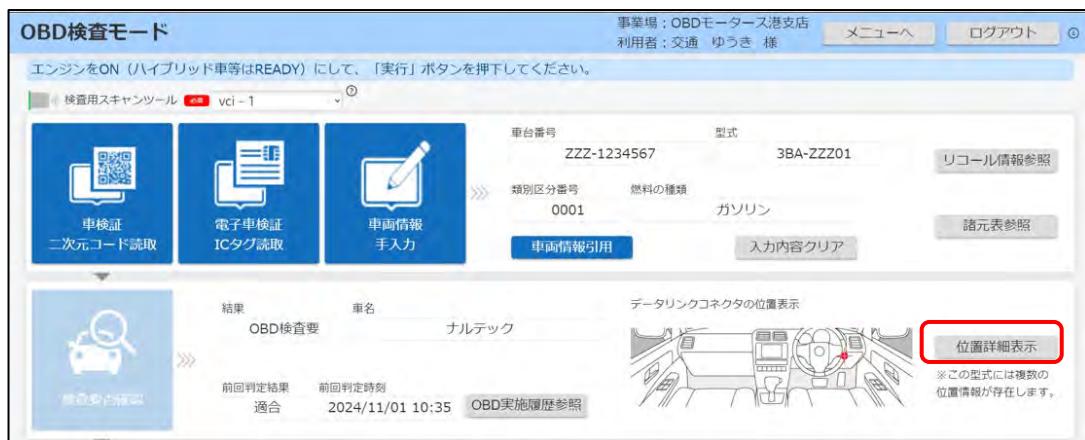
1. 「データリンクコネクタの位置表示」を確認する

データリンクコネクタの位置のイラストを確認します。



2. 「位置詳細表示」を押す

データリンクコネクタの詳細な位置情報を確認できます。



《データリンクコネクタ位置表示》画面が表示されます。

3. 詳細を確認する

接続端子を挿入する角度・向きなどを確認できます。

この画面を閉じます。

情報が複数ページある場合、
[< >] を押して、ページを切り替えます。

データリンクコネクタの位置が、赤色
のマーカーで表示されます。

この画面を閉じます。

データリンクコネクタ位置表示

詳細内容を確認してください。画像をクリックすると拡大表示されます。

左ハンドル 右ハンドル

角度・向き

(カバー有り)

参考画像

説明

補足文 左 × (G4WAP011) ××××××××××

閉じる

1 2 3 4 5 >

左右ハンドルの情報がある場合、タブを押して切り替えられます。

データリンクコネクタの角度・向きがイラストで表示され、カバーの有無が表示されます。

データリンクコネクタの参考画像と説明文が表示されます。

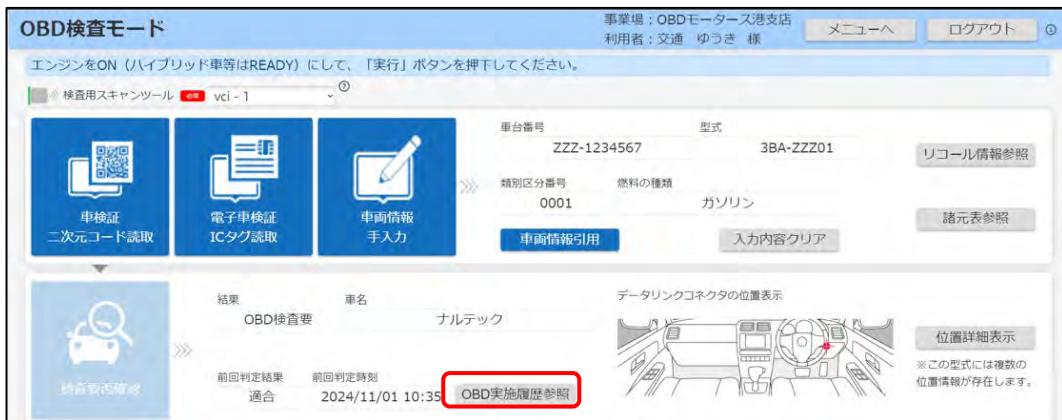
[+] を押すと、画像やイラストが拡大表示されます。

確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《OBD 検査モード》画面に戻ります。

■過去のOBD検査実施履歴を確認する

検査要否確認が完了すると、自らの事業場での実施にかかわらず過去にOBD検査またはOBD確認を実施した履歴がある車両については、「OBD実施履歴参照」が押せるようになります。

1. 「OBD実施履歴参照」を押す



《OBD実施履歴一覧》画面が表示されます。

2. 内容を確認する

項目番号	判定日時	検査/確認	判定結果
1	2024/12/01 18:37	検査	適合
2	2024/11/15 15:00	検査	不適合
3	2024/10/01 15:39	確認	適合
4	2024/09/29 15:05	確認	不適合
5	2024/08/20 16:41	確認	適合
6	2024/07/15 15:42	確認	適合
7	2024/06/08 17:03	確認	適合
8	2024/05/01 15:44	確認	適合
9	2024/04/22 10:45	確認	適合
10	2024/03/31 15:10	確認	適合
11	2024/02/01 15:10	確認	適合
12	2024/01/21 15:48	確認	適合
13	2023/12/19 10:30	確認	適合
14	2023/12/19 10:25	確認	適合
15	2023/12/19 10:22	確認	適合
16	2023/12/19 10:20	確認	適合
17	2023/11/16 17:00	確認	適合
18	2023/09/11 14:35	確認	適合
19	2023/08/04 11:21	確認	適合
20	2023/07/05 16:12	確認	適合
21	2023/06/09 17:03	確認	適合

この画面を閉じます。

過去5年分、最大30件が表示されます。

判定結果が「適合」「不適合」で表示されます。

確認が終了したのち、「戻る」を押して画面を閉じます。《OBD検査モード》画面に戻ります。

4.3 その他参考情報を確認する

受付した車両の参考情報を確認することができます。



メモ

その他参考情報の確認は、OBD 検査に必須ではありません。必要に応じて確認してください。

- 諸元表



「■諸元表を確認する」(P. 55) を参照

- リコール情報



「■リコール情報を確認する」(P. 57) を参照

■諸元表を確認する

検査要否確認が完了すると、「諸元表参照」が押せるようになります。

1. 「諸元表参照」を押す

The screenshot shows the 'OBD検査モード' (OBD Inspection Mode) screen. At the top, it says '事業場: OBDモータース港支店' (Business location: OBD Motors Kōchibashi Branch) and '利用者: 交通 ゆうき 様' (User: Kōtsū Yūki様). Below that, there's a message: 'エンジンをON (ハイブリッド車等はREADY)にして、「実行」ボタンを押下してください。' (Please turn on the engine (hybrid vehicles etc. are READY) and press the 'Execute' button.) There are three scanning methods listed: '車検証 二次元コード読み取り' (Inspection certificate, Read QR code), '電子車検証 ICタグ読み取り' (Electronic inspection certificate, Read IC tag), and '車両情報 手入力' (Vehicle information input). To the right, vehicle details are shown: '車台番号: ZZZ-1234567', '型式: 3BA-ZZZ01', '類別区分番号: 0001', '燃料の種類: ガソリン'. A red box highlights the '諸元表参照' (Specifications Reference) button. Below this, there's a summary section with a car icon, '結果: OBD検査要合', '車名: ナルテック', '前回判定結果: 通過', '前回判定時刻: 2024/11/01 10:35', and a link to 'OBD実施履歴参照'. Further down, there's another section with a car icon, '検査結果/確認結果: 判定時刻', and buttons for '結果詳細表示', '結果詳細CSV出力', 'VTD情報', '結果PDF出力', and '車の画像'.

《諸元表参照》画面が表示されます。

2. 内容を確認する

入力した型式の諸元情報が表示されます。「内容」欄に届出年月日のリンクがある場合は、該当する諸元表の PDF ファイルをダウンロードできます。

項目番	諸元項目／諸元表名	内容
1	諸元表その1	20061207 20070329 20071207 20091021 20110606 20120620 20180406 20061207 20070329 20070517 20070910 20071207 20080117 20080526 20091021 20100519 20111031 20120313 20120620 20150423 20151221 20170331 20181116 20061207 20070329 20070910 20071207 20080526 20091021 20100519 20120620 20121206 20151110 20180406 20061207 20070329 20070517 20070910 20071207 20080117 20080306 20080526 20080912 20090526 20091021 20100118 20100519 20100901 20101206 20110606 20111031 20111125 20120313 20120620 20120824 20121206 20140218 20140715 20150224 20150423 20151110 20151221 20160318 20160809 20161223 20170331 20170630 20171006 20180406 20181116
2	諸元表その2	
3	外観図	
4	構造・装置の概要説明書	

→ 各項目の右端には「[PDF]」アイコンがあります。

1/2

閉じる

確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《OBD 検査モード》画面に戻ります。



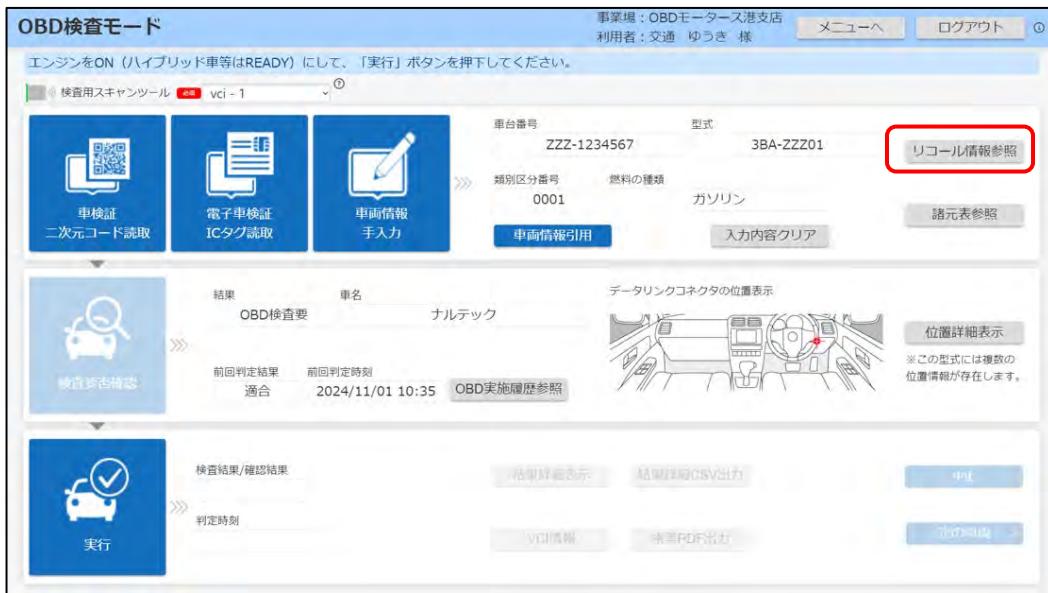
メモ

平成 14 年以降の型式指定自動車であり、かつ自動車製作者等により諸元表情報が登録されている車両について、諸元表を閲覧することが可能です。ただし、すべての情報を網羅しているわけではないため、参考情報としてご利用ください。

■リコール情報を確認する

検査要否確認が完了し、車名コードが特定できる場合に、「リコール情報参照」のボタンが押せるようになります。

1. 「リコール情報参照」を押す



対象車両のリコール届出をした自動車製作者等のホームページが、別ウィンドウ（Web ブラウザ）で表示されます。

2. リコール情報を確認する

確認が終了したのち、別ウィンドウを閉じて、《OBD 検査モード》画面に戻ります。

5 OBD 検査を行う



ご注意

- OBD 検査と OBD 確認で基本的な操作手順は同じです。必要に応じて、「OBD 検査」と記載している箇所を「OBD 確認」に読み替えてください。
- OBD 検査要否確認で、OBD 検査不要と表示された場合に OBD 確認を行いたい場合は OBD 確認モードを使用してください。モード選択で「OBD 確認」を選択して、車両受付から行ってください。詳細については、「3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する」を参照してください。
- ネットワークエラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って接続環境を確認し、初めから操作を行ってください。
エラーの詳細については、「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

OBD 検査を実施する

適合

不適合

検査不可

アプリで検査結果を確認する

故障箇所の特定・整備

アプリのエラーメッセージを確認する

その他車検業務を実施する

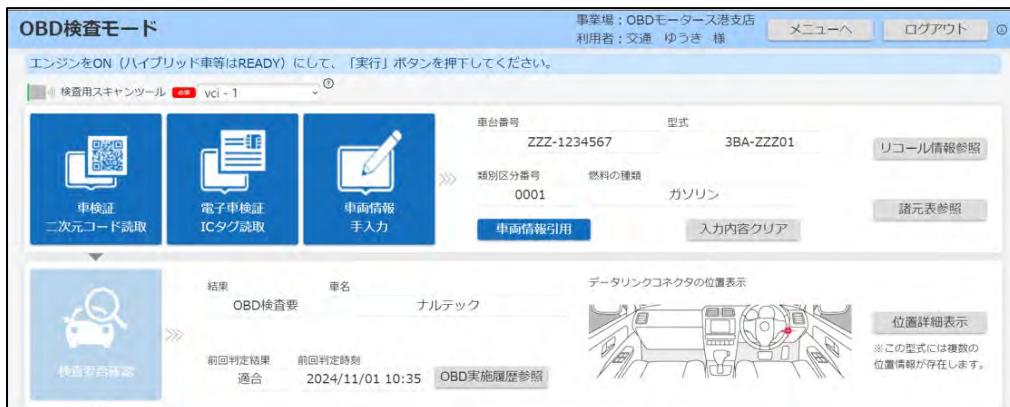
OBD 検査を再度実施する

5.1 OBD 検査を実施する

! ご注意

検査用スキャナツールを接続する前に、車両の電源が OFF であることを確認してください。

検査要否確認の結果が「OBD 検査要」の場合は、以下の画面が表示されます



1. 車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャナツールの接続端子を接続する



メモ

データリンクコネクタの位置や向きなどが分からぬときは、「■データリンクコネクタの位置を確認する」(P. 52) を参照してください。



ご注意

検査用スキャナツールの接続端子は、車両のデータリンクコネクタに奥までしっかりと挿入してください。

2. 車両の原動機を始動する（ハイブリッド車、電気自動車は READY にする）



ご注意

原動機を始動していない状態（キースイッチが ON または OFF など）で OBD 検査を実施した場合は、検査の結果にかかわらず、原動機を始動した状態で再度検査を行う必要があります。

3. 《OBD 検査モード》画面で、「実行」を押す

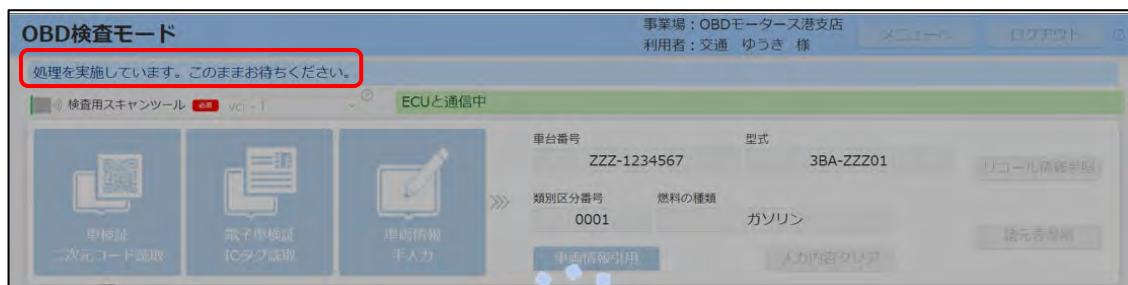


ご注意

OBD 検査実施中は検査用スキャンツールの接続端子が抜けないように注意してください。途中で抜けてしまった場合は、再度「1. 車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャンツールの接続端子を接続する」からやり直してください。



「処理を実施しています。このままお待ちください。」というメッセージが表示されます。



メモ

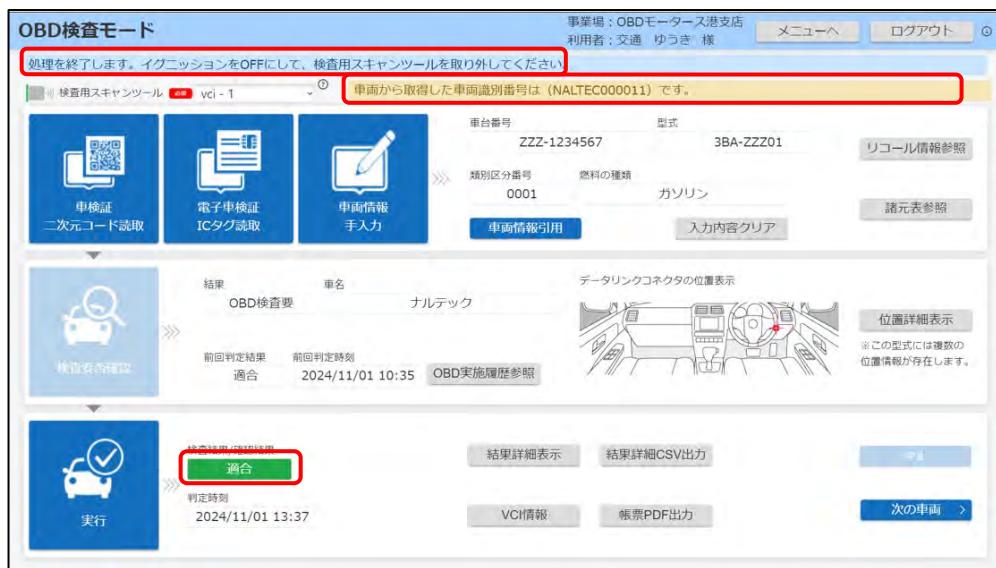
- OBD 検査の完了に要する時間は、ネットワーク回線や車種の違いなどの環境により異なります。
- 検査を中断する場合は、「中止」を押します。



検査が完了すると、検査結果が表示されます。

4. 検査結果を確認する

表示されたメッセージと検査結果（適合／不適合）を確認します。



メッセージに従って、操作を行ってください。

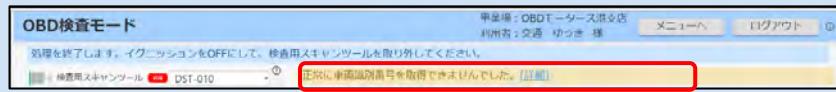
検査結果	説明	表示されるメッセージ
適合	OBD 検査に適合です。	<p>処理を終了します。イグニッションを OFF にして、検査用スキャンツールを取り外してください。</p> <p> メモ</p> <p>車両から取得した VIN (車両識別番号) が、表示されますので参考としてください。(「- (ハイフン)」は除いて表示)</p>
不適合	OBD 検査に不適合です。表示される不適合結果内容を参考に、必要な点検・整備を実施してください。	<p>処理を終了します。イグニッションを OFF にして、検査用スキャンツールを取り外してください。</p> <p>車両との通信ができませんでした。(詳細) エンジンの作動状況や検査用スキャンツールの差込状況を確認してください。</p> <p>このメッセージの詳細な操作は、  「7.14 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき」を参照してください。</p> <p> メモ</p> <p>車両から取得した VIN (車両識別番号) が、表示されますので参考としてください。(「- (ハイフン)」は除いて表示)</p>

空欄 (検査不可)	エラーが発生し、OBD 検査を正常に実施できていません。表示されるメッセージを確認し、再度 OBD 検査を実施する必要があります。	メッセージの例： 受検車両との通信でエラーが発生しました。検査用スキャンツールの接続を確認のうえ、再度、「実行」を押してください。
--------------	---	--



メモ

- 検査用スキャンツールを取り外すときは、イグニッションが OFF になっていることを確認してください。
- 現在故障のみを特定 DTC として検出するため、過去の故障履歴があっても OBD 検査結果に影響を与えることはありません。
- 以下のメッセージが表示された場合、データリンクコネクタとスキャンツールを接続し直して検査を再実施していただくことで車両識別番号を取得できることがあります。常にこのメッセージが表示される場合はコールセンターにお問合せください。
詳細は、「8.お問い合わせ」を参照してください。



判定結果および必要に応じて、以下の操作を行ってください。

検査中に別ウィンドウで警告灯判定画面が表示された場合



「5.2 警告灯判定画面が表示された場合」を参照してください。

OBD 検査結果の詳細を確認したい場合



「6 OBD 検査結果を確認する」を参照してください。

次の車両の OBD 検査を行う場合

「次の車両」を押して、OBD 検査の初期画面に戻ってください。引き続き次の車両の検査受付ができます。「3 車両受付をする」を参照してください。



同じ車両の OBD 検査を行う場合

同じ車両の OBD 検査を再度行う場合は、「実行」を押してください。



検査を終了する場合

画面右上の「ログアウト」を押して終了します。



「■アプリからログアウトして終了する」(P. 23) を参照してください。

5.2 警告灯判定画面が表示された場合

改造により排ガス規制の適用が変わった場合、または安全系のOBD検査対象装置との通信ができなかった場合は、警告灯判定画面が別ウィンドウで表示されることがあります。画面の表示に従って運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。

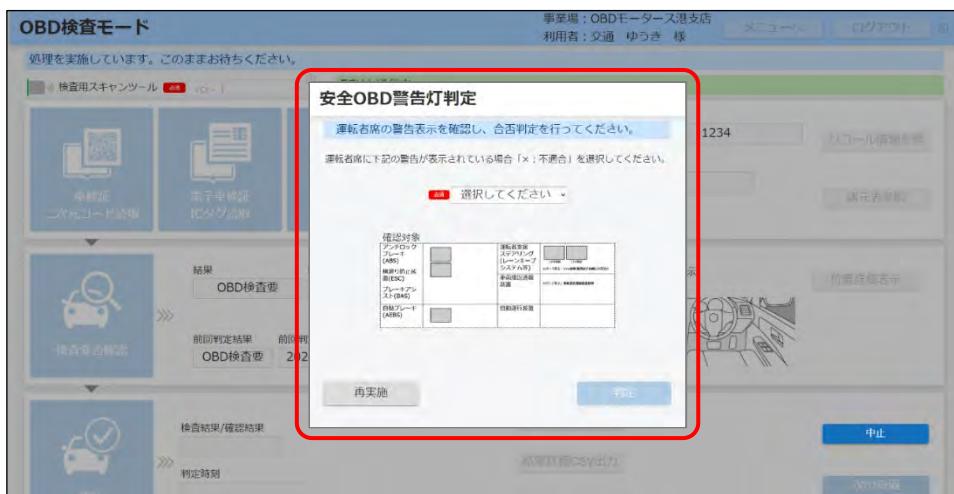
《排ガス OBD 警告灯判定》画面が表示された場合



※実際の画面とは異なる場合があります。

上記の画面が表示された場合、「■排ガス OBD 警告灯判定が表示された場合」(P. 64) を参照してください。

《安全 OBD 警告灯判定》画面が表示された場合



上記の画面が表示された場合、「■安全 OBD 警告灯判定が表示された場合」(P. 65) を参照してください。

■排ガス OBD 警告灯判定が表示された場合

運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。

- 排ガスに関連する警告表示がされている場合は、**不適合**と判定します。
- 排ガスに関連する警告表示がされていない場合は、**適合**と判定します。

排ガスOBD警告灯判定

運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。

運転者席に下記の警告が表示されている場合「×：不適合」を選択してください。

必須 選択してください ▾

確認対象	
排ガス等発散 防止装置	

閉じる
判定

警告表示を確認し、以下のどちらかを選択します。

: 適合

: 不適合

確認する警告表示の画面や説明が表示されます。

判定を行わずに画面を閉じます。
《OBD 検査モード》画面に戻ります。

！ご注意
OBD 検査はまだ終わっていません。

適合または不適合の判定を確定して画面を閉じます。

※実際の画面とは異なる場合があります。



「判定」は、「○：適合」または「×：不適合」を選択した後に押せるようになります。

■安全 OBD 警告灯判定が表示された場合

安全系の OBD 検査対象装置との通信ができなかった場合、《安全 OBD 警告灯判定》画面が表示されます。

運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。

- 安全系の OBD 検査対象装置に関連する警告表示がされている場合は、**不適合**と判定します。
- 安全系の OBD 検査対象装置に関連する警告表示がされていない場合は、**適合**と判定します。

安全OBD警告灯判定

運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。

運転者席に下記の警告が表示されている場合「×：不適合」を選択してください。

必須 選択してください ▾

確認対象		運転者支援 ステアリング (レーンキープ システム等)		車両接近通報 装置	
ブレーキ (ABS)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	メッセージ表示：XXX故障 動作確認お願いします
横滑り防止装 置(ESC)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	メッセージ表示：車両接近警報装置異常
ブレーキアシ スト(BAS)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
自動ブレーキ (AEBS)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		自動運行装置			

再実施
判定

判定を行わずに画面を閉じます。
《OBD 検査モード》画面に戻ります。

適合または不適合の判定を確定して
画面を閉じます。

！ご注意
OBD 検査はまだ終わっていません。

警告表示を確認し、以下の
どちらかを選択します。
：適合
：不適合

メモ

「判定」は、「○：適合」または「×：不適合」を選択した後に押せるようになります。

6 OBD 検査結果を確認する

OBD 検査結果が「適合」または「不適合」になった場合、検査結果の詳細を確認して、帳票や CSV ファイルに出力できます。

使用した検査用スキャンツールの詳細情報を確認したい場合は、[「7.13 使用した検査用スキャンツールの情報を確認したいとき」](#)を参照してください。



メモ

「結果詳細表示」により表示されている各項目の合否の条件につきましては、法令により規定されております。詳細な規定をご覧になりたい場合は以下によりご確認ください。

道路運送車両の保安基準の細目を定める告示（別添 124 「継続検査等に用いる車載式故障診断装置の技術基準」）

参照先（国土交通省）：https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr7_000007.html



ご注意

- 「OBD 検査」と「OBD 確認」の操作手順に大きな違いはありません。本マニュアルでは、OBD 検査の画面と操作手順を説明しています。必要に応じて「OBD 検査」と記載している箇所を「OBD 確認」に読み替えてご利用ください。
- OBD 検査結果には機密情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。

6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する

1. OBD 検査が終了した後、「結果詳細表示」を押す

この画面は、OBD 検査結果の詳細を表示するための操作を行った直後の状態です。主な要素は以下の通りです：

- 車台番号:** ZZ-1234567
- 型式:** 3BA-ZZZ01
- 燃料の種類:** ガソリン
- 車両情報引用:** リコード情報参照
- 車両検査結果:** OBD検査要
- 車名:** ナルテック
- 前回判定結果:** 適合
- 前回判定時刻:** 2024/11/01 10:35
- データリンクコネクタの位置表示:** データリンクコネクタの位置表示
- 実行:** 判定時刻 2024/11/01 13:37
- 結果詳細表示:** このボタンが赤枠で囲まれています。
- 結果詳細CSV出力:** ボタン
- VCI情報:** ボタン
- 帳票PDF出力:** ボタン
- 次の車両:** ボタン

《OBD 検査結果詳細》画面が表示されます。

2. 内容を確認する

OBD検査結果詳細

事業場: OBDモータース港支店
利用者: 交通 ゆうき 様 メニューへ ログアウト Ⓛ

検査/確認	車台番号	型式	種別区分番号	燃料の種類
検査	ZZZ-1234567	3BA-ZZ01	0001	ガソリン

不適合

② 排ガス (J-OBD II またはWLTP-OBD)	指定DTC 1000件	6件まで表示: 全ての特定DTCを見る場合は、右のボタンから 全ての特定DTCを見る	
電圧 ○ 12.3V	区分	ECU名称等	コード
MIL ○ OFF	排ガス	ecu001	xxx01 0001
レディネス ○ 適合	安全	ecu002	xxx02 0002
通信 ○ 成立	安全	ABSECU	C234567 ABS異常
特定DTC × 不適合	安全	AVASECU	C456789 スピーカー断線
	安全	AVASECU	C567890 エーミング未完了
	安全	AVASECU	C678901 カメラモジュール異常

③ 安全	④ レディネスコード 4個中2個完了	⑤ 触媒 エンジン失火検知システム 酸素又は空燃比センサ 排ガス再循環システム 燃料供給システム 排気二次空気システム
通信 ○ 成立	触媒	凡例: 完了 (青) 未完了 (黒) 未サポート (白)
特定DTC × 不適合	エンジン失火検知システム	
	酸素又は空燃比センサ	
	排ガス再循環システム	
	燃料供給システム	
	排気二次空気システム	

戻る 結果詳細CSV出力 帳票PDF出力

*上図は不適合の場合の画面例です。

No.	項目	説明						
①	判定結果	適合／不適合のいずれかが表示されます。						
②	排ガス	排ガス OBD の種別 (「J-OBD II または WLTP-OBD」、「ディーゼル重量車 J-OBD」、「J-OBD I または WLTP-OBD」、「適用なし」のいずれか) が表示されます。 <table border="1"> <tr> <td>排ガス (J-OBD II またはWLTP-OBD)</td> </tr> </table> 各項目の適否 (合否) と、状態の一覧が表示されます。合否は「○」「×」で表示され、基準が適用されない場合は「-」が表示されます。 <table border="1"> <tr> <td>電圧 ○ 12.3V</td> </tr> <tr> <td>MIL ○ OFF</td> </tr> <tr> <td>レディネス ○ 適合</td> </tr> <tr> <td>通信 ○ 成立</td> </tr> <tr> <td>特定DTC × 不適合</td> </tr> </table>	排ガス (J-OBD II またはWLTP-OBD)	電圧 ○ 12.3V	MIL ○ OFF	レディネス ○ 適合	通信 ○ 成立	特定DTC × 不適合
排ガス (J-OBD II またはWLTP-OBD)								
電圧 ○ 12.3V								
MIL ○ OFF								
レディネス ○ 適合								
通信 ○ 成立								
特定DTC × 不適合								
	電圧	電圧値の合否が表示され、車両から取得した電圧値が表示されます。						
	MIL	MIL の合否が表示され、状態が「ON」「OFF」「-」で表示されます。						
	レディネス	レディネスコードの合否が表示され、状態が「適合」「不適合」「-」で表示されます。						
	通信	通信 (排ガス関連装置) の合否が表示され、状態が「成立」「不成立」「-」で表示されます。						
	特定 DTC	特定 DTC (排ガス関連装置) の合否が表示され、状態が「適合」「不適合」「-」で表示されます。						

No.	項目	説明
(3)	安全	安全関連装置の基準への適合（合否）と、状態の一覧が表示されます。合否は「○」「×」で表示され、基準が適用されない場合は「－」が表示されます。 
	通信	通信（安全関連装置）の合否が表示され、状態が「成立」「不成立」「－」で表示されます。
	特定 DTC	特定 DTC（安全関連装置）の合否が表示され、状態が「適合」「不適合」「－」で表示されます。
(4)	特定 DTC（特定故障コード）	特定 DTC の件数と、一覧が表示されます。表示件数（6 件）を超える場合のみ「全ての特定 DTC を見る」を押すと、すべての特定 DTC が表示されます。  
(5)	レディネスコード	<ul style="list-style-type: none"> 取得したレディネスコードがパネルと色で表示されます。 (完了：青色、未完了：灰色、未サポート：白色)  <div style="background-color: #e0f2ff; padding: 10px; border-radius: 10px;"> ✎ メモ 車両に搭載されていないセンサ、システムは、「未サポート」と表示されます。 </div> <ul style="list-style-type: none"> レディネスコードのサポート数（○）と完了数（△）が、「○個中△個完了」と表示されます。なお、排ガス OBD 種別が J-OBD I で、かつ取得できるレディネスコードがない場合は、「取得できるレディネスコードはありません。」と表示されます。 
(6)	結果詳細 CSV 出力	検査結果を CSV ファイルに出力します。 
(7)	帳票 PDF 出力	検査結果を帳票（PDF）に出力します。 

**メモ**

警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に“※警告灯判定結果”と表示されます。

検査結果の内容を確認後、必要に応じて、「6.2 OBD 検査結果を保存する」に進みます。

■特定 DTC の一覧を確認する

OBD 検査結果詳細画面に表示しきれなかった特定 DTC を確認する場合は、一覧で確認できます。

1. 《OBD 検査結果詳細》画面で「全ての特定 DTC を見る」を押す

特定DTC 1000件			
区分	ECU名称等	コード	名称
排ガス	ecu001	xxx01	0001
排ガス	ecu002	xxx02	0002
安全	ABSECU	C234567	ABS異常
安全	AVASECU	C456789	スピーカー断線
安全	AVASECU	C567890	エーミング未完了
安全	AVASECU	C678901	カメラモジュール異常

《特定 DTC 一覧》画面が表示されます。特定 DTC のすべての一覧を確認できます。

2. 一覧を確認する

項目番号	区分	ECU名称等	コード	名称
1	排ガス	ecu001	XXX01	0 0 0 0 1
2	排ガス	ecu002	XXX02	0 0 0 0 2
3	安全	ABSECU	C234567	ABS異常
4	安全	AVASECU	C456789	スピーカー断線
5	安全	ADASECU	C567890	エーミング未完了
6	安全	ADASECU	C678901	カメラモジュール異常
7	安全	ADASECU	C789012	レーダーセンサ異常
8	安全	ADASECU	U890123	運転支援装置通信異常
9	安全	ADASECU	C901234	スピードセンサ通信異常
10	安全	ADASECU	C012345	ヨーレートセンサ通信異常
11	安全	BAECU	C123456	ブレーキブースター異常
12	安全	ecu001	XXX01	0 0 0 0 1
13	安全	ecu002	XXX02	0 0 0 0 2
14	安全	ecu003	XXX03	0 0 0 0 3
15	安全	ecu004	XXX04	0 0 0 0 4
16	安全	ecu005	XXX05	0 0 0 0 5
17	安全	ecu006	XXX06	0 0 0 0 6
18	安全	ecu007	XXX07	0 0 0 0 7
19	安全	ecu008	XXX08	0 0 0 0 8
20	安全	ecu009	XXX09	0 0 0 0 9

特定 DTC が複数ページにわたる場合、 を押してページを切り替えます。

を押すと最初のページに、 を押すと最後のページに移動します。

確認が終了したのち、「戻る」を押して、《OBD 検査結果詳細》画面に戻ります。

6.2 OBD 検査結果を保存する

OBD 検査の結果を PDF 形式または CSV 形式でダウンロードして保存することができます。

- PDF 形式で保存したファイルは、結果帳票として印刷して自動車使用者の方に渡す場合などに使用できます。
 「■帳票（PDF）に出力する」（P. 71）
- CSV 形式で保存したファイルは、外部システムに取り込むときなどに使用できます。詳細については、外部システムの問い合わせ先にご連絡ください。
 「■CSV 出力する」（P.73）



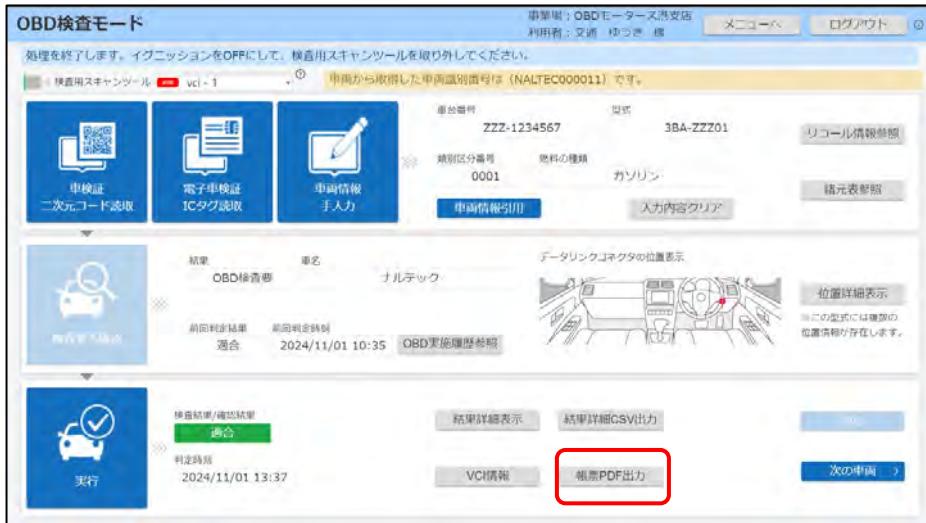
メモ

- OBD 検査を実施していない車両でも、検査要否確認を実施した場合は、OBD 検査結果ファイルを保存することができます。
- OBD 検査を実施した場合は OBD 検査結果参照システムでも、同じ OBD 検査結果ファイルを出力できます。

詳細は、『OBD 検査結果参照システム 操作マニュアル』を参照してください。

■ 帳票（PDF）に出力する

1. 《OBD 検査モード》画面で「帳票 PDF 出力」を押す



「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



2. 保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_ [車台番号] .pdf」という名前の PDF ファイルが保存されます。



帳票（PDF）のサンプルは以下です。

The screenshot shows a PDF document titled "自動車使用者の方へ OBD検査結果のお知らせ". The document contains several tables and sections:

- ① 受検車両・受検場所の情報:** Includes vehicle information (検査日: 2024年(令和6年)12月03日, 車台番号: ZZZ-1234567, 型式: 3BA-ZZZ01, 登録番号/車両番号: 1001/0300), inspection site information (事業場の名称: OBDモータース港支店), and a note about license plate numbers.
- ② メッセージ:** Displays a message related to the OBD inspection result.
- ③ OBD検査情報:** Shows the inspection result (適合 / Not Applicable).
- ④ OBD検査結果詳細:** Two tables showing inspection details for exhaust gas-related devices and safety-related devices. The first table includes rows for 電圧 (Voltage), MIL (Malfunction Indicator Lamp), レディネス (Readiness), 通信 (Communication), and 特定DTC (Specific DTC). The second table includes rows for 通信 (Communication) and 特定DTC (Specific DTC).
- ⑤ タイトル:** The title of the document is "自動車使用者の方へ OBD検査結果のお知らせ".
- ⑥ 検査種別:** The inspection mode is listed as "(検査)" (Inspection).

No.	項目	説明
①	受検車両・受検場所の情報	受検日や受検車両、受検場所などの、受検時の情報が出力されます。
②	メッセージ	自動車検査に関するメッセージが出力されます。
③	OBD 検査情報	OBD 検査または確認の結果が出力されます。 適合の場合：適合 不適合の場合：不適合 OBD 検査不要で終了した場合：OBD 検査対象外
④	OBD 検査結果詳細	OBD 検査または確認結果の詳細が出力されます。 特定 DTC は最大 7 件が表示されます。7 件以上ある場合は、OBD 検査結果参照システムにて検査結果を確認してください。
⑤	タイトル	OBD 確認を実施した際も「OBD 検査結果のお知らせ」と表示されます。
⑥	検査種別	実施したモードが表示されます。 検査モードの場合：(検査) 確認モードの場合：(確認)



メモ

警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に「※警告灯判定結果」と表示されます。



ご注意

OBD 検査対象外車両であった場合は、後日 OBD 検査結果参照システムで帳票 PDF は出力できません。

■ CSV 出力する

1. 《OBD 検査モード》画面で「結果詳細 CSV 出力」を押す



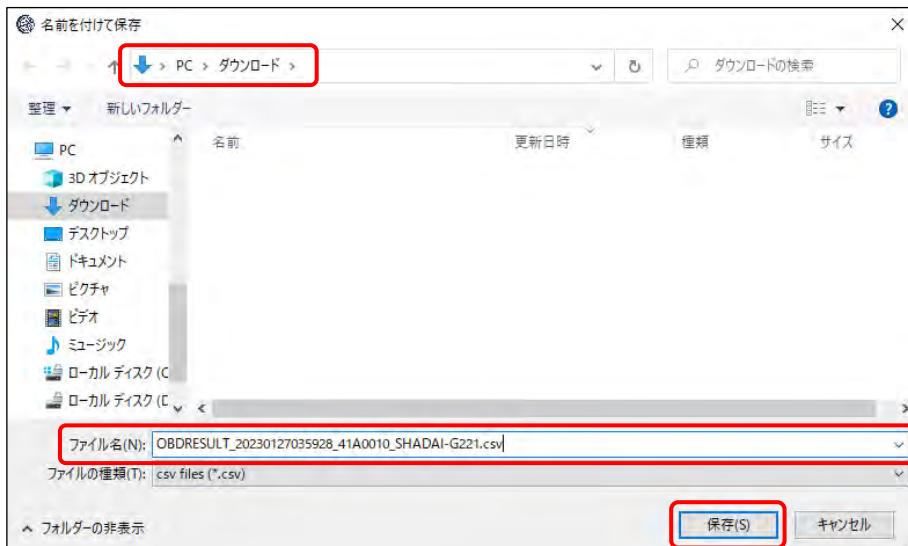
「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



ご注意

出力に数秒時間を要します。連続で「結果詳細 CSV 出力」を押さないでください

2. 保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID]_[車台番号].csv」というファイル名で、OBD 検査結果の CSV ファイルが保存されます。



メモ

ファイル名の「yyyymmdd」は年月日、「hhmmss」は時間を示しています。

例) 事業場 ID 「1234567」 車台番号 「ZZZ-1234567」 の車両で、

2024 年 12 月 03 日 14 時 01 分 12 秒に OBD 検査を実施した場合の
ファイル名は、以下となります。

OBDRESULT_20241203140112_[1234567]_[ZZZ-1234567].csv

7 こんなときは

7.1 ユーザーIDまたはパスワードを忘れたとき

ユーザーIDまたはパスワードを忘れたときは、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。初回ログイン済み（パスワード変更済み）の場合は、管理責任者または統括管理責任者によりパスワードのリセットを行う必要があります。



ご注意

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。

7.2 パスワードを変更したいとき

事前に登録された利用者のパスワードを変更します。



ご注意

アプリとOBD検査結果参照システムのパスワードは共通です。そのため、アプリでパスワードを変更すると、OBD検査結果参照システムにログインする際は変更後のパスワードを入力する必要があります。

1. 《メニュー》画面で「パスワード変更」を押す



《パスワード変更》画面が表示されます。

2. パスワードを入力する

- ① 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力します。
- ② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。
- ③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

事業場：OBDモータース港支店
利用者：交通 ゆうき 様 メニューへ ログアウト

ログインパスワードを変更します。現在のパスワードと新しいパスワードを入力してください。

現在のパスワード: ①

新しいパスワード: ②

新しいパスワード（確認）: ③

*パスワード設定ポリシー

- 利用できる文字は半角英字、半角数字、半角記号(「-」、「_」、「.」、「@」)で、これら3種類が含まれていること
- 8文字以上20文字以下であること
- ユーザIDと同じではないこと

戻る 変更



ご注意

パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 以下の3種類を、それぞれ1文字以上使用すること
 - 半角英字：A～Z、a～z
 - 半角数字：0～9
 - 半角記号：「-」「_」「.」「@」
例) Abc@92_i
- 8文字以上20文字以下で、ユーザーIDと異なる文字列であること
- 現在使用中のパスワードと異なる文字列であること

3. 「変更」を押す

The screenshot shows a password change confirmation page titled "パスワード変更". It displays the current password as "*****", the new password as "Abc@92_i", and the confirmation of the new password. A note at the bottom specifies password rules: half-width English letters, half-width numbers, and half-width symbols like hyphens, underscores, and '@'. A red box highlights the "変更" (Change) button.

《パスワード変更完了》画面が表示されます。

4. 変更完了メッセージを確認し、「メニューへ戻る」を押す

The screenshot shows a confirmation message "パスワードの変更が完了しました。" (Password change completed). A red box highlights the "メニューへ戻る" (Return to menu) button.

以上で、パスワードの変更の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

7.3 車検証二次元コード読取を「読み取りモード2」で行うとき

「読み取りモード2」に対応する二次元コードリーダを使用して、車両情報を入力する方法を説明します。



ご注意

「読み取りモード1」、「読み取りモード2」に対応する二次元コードリーダについては、OBD検査ポータルの、OBD検査で使用する機器を確認してください。

使用する機器によって、使用方法や動作が異なります。詳細は、OBDポータルサイトの以下のページより、「■二次元コードリーダ」をご確認ください。

《OBD検査ポータル》

検査の実施準備 / OBD検査で使用する機器

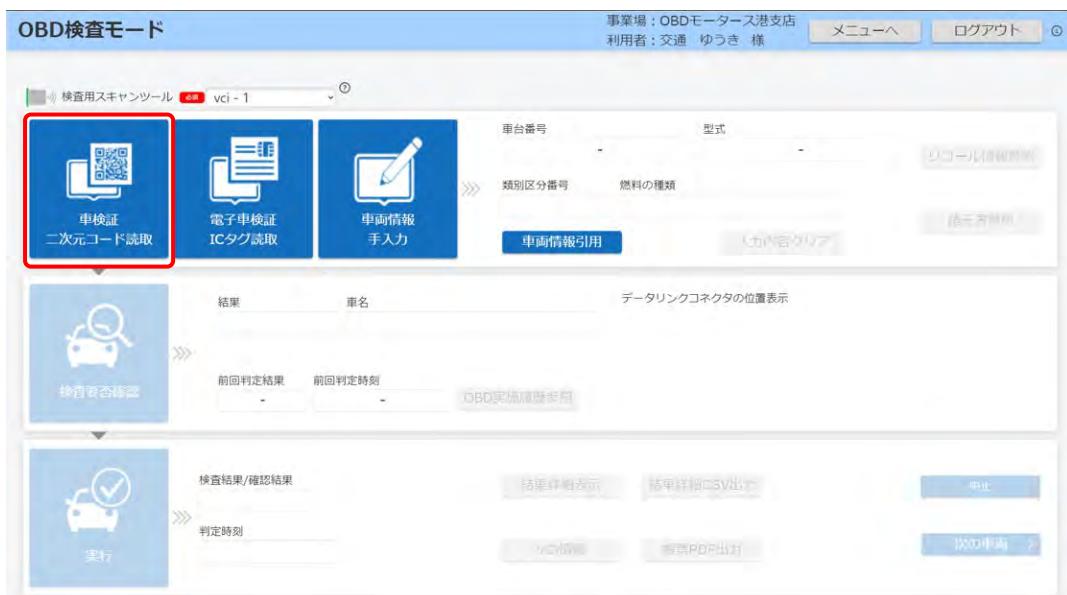
<https://www.obd.naltec.go.jp/preparation/device/#other-device>



メモ

「読み取りモード1」に対応する二次元コードリーダを使用するときは、[「3.3 車両情報を入力する」](#)を参照してください。

1. 《OBD検査モード》画面で「車検証二次元コード読取」を選ぶ



《車検証二次元コード読取》画面が表示されます。

2. 読取モードの選択で、「読み取りモード2」を選ぶ

車検証二次元コード読取

事業場：OBDモータース港支店
利用者：交通 ゆうき 様 メニューへ ログアウト ①

車検証二次元コードのテキストにカーソルがある状態で、二次元コードを読み取ってください。

読み取りモードを選択してください。
読み取りモード2 ①

(1)車検証二次元コード（二次元コード2）のテキストにカーソルがある状態で二次元コード2を読み込んでください。
注：登録車の場合は右図を参照し、①②の順番で読み込んでください。

車検証二次元コード（二次元コード2）

クリア

(2)車検証二次元コード（二次元コード3）のテキストにカーソルがある状態で二次元コード3を読み込んでください。
注：登録車の場合は右図を参照し、③④⑤の順番で読み込んでください。

車検証二次元コード（二次元コード3）

クリア

電子車検証
登録車 軽自動車

電子車検証
※点線部の二次元コードは印字されていない場合があります

紙の車検証/限定自動車検査証

戻る 確定



ご注意

電子車検証または車検証等の二次元コードには、2個または3個の連結（分割）二次元コードが印刷されています。お手持ちの二次元コードリーダが連結（分割）二次元コードの読み取りに対応しているかどうかについては、二次元コードリーダの取扱説明書を参照してください。



メモ

- 「読み取りモード1」では、二次元コード2、3 (QR2、QR3) を連続で読み取り、自動で画面を閉じて読み取り内容を登録します。
- 「読み取りモード2」では、リーダで読み取った内容を入力欄に反映し、「確定」を押すことで入力内容を登録します。
- 読み取りモードには以下のようない違があります
 - 読取モード1：特定DTC照会アプリで定義された読み取りモード。電子車検証または車検証等の二次元コードの連続的な読み取りが可能な二次元コードリーダを使用する場合に選択する。
 - 読取モード2：特定DTC照会アプリで定義された読み取りモード。電子車検証または車検証等の二次元コードの連続的な読み取りに対応できない二次元コードリーダを使用する場合に選択する。

3. 車検証に記載された「二次元コード2」(QR2)、「二次元コード3」(QR3)の順に読み取る

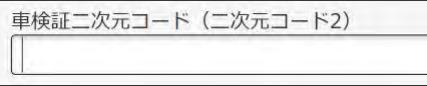
The screenshot shows the application interface with two main sections:

- Left Section (Main View):**
 - Text input field: "車検証二次元コード (二次元コード2)"
 - Text input field: "車検証二次元コード (二次元コード3)"
 - Buttons: "クリア" (Clear), "戻る" (Back), and "確定" (Confirm)
- Right Section (Reference Images):**
 - Top:** 登録車 (Registered Vehicle) - Shows a QR code grid with numbered boxes (3, 4, 5, 1, 2). A red arrow points to the bottom row.
 - Middle:** 電子車検証 (Electronic Vehicle Inspection Certificate) - Shows a QR code grid with numbered boxes (3, 4, 5, 1, 2). A red arrow points to the bottom row.
 - Bottom:** 紙の車検証/認定自動車検査証 (Paper Vehicle Inspection Certificate/Approved Motor Vehicle Inspection Certificate) - Shows a QR code grid with numbered boxes (3, 4, 5, 1, 2). A red arrow points to the bottom row.

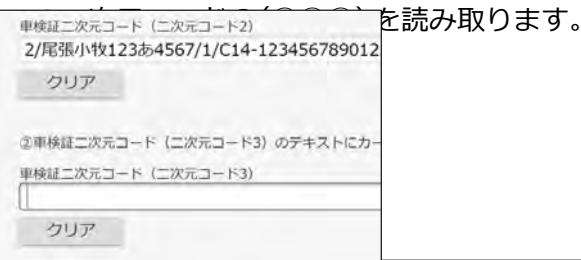
Callout Boxes:

- ①** Points to the first text input field ("車検証二次元コード (二次元コード2)").
- ②** Points to the second text input field ("車検証二次元コード (二次元コード3)").
- ③** Points to the QR code grid in the top reference image.
- ④** Points to the QR code grid in the middle reference image.
- ⑤** Points to the QR code grid in the bottom reference image.
- ⑥** Points to the "確定" (Confirm) button.

① の二次元コード2のテキスト欄を押して、入力できる状態にしたうえで、電子車検証または車検証等の二次元コード2(①②)を読み取ります。



② 次元コード2を読み取った後、同様に



電子車検証または車検証等に記載された「二次元コード2」(QR2)、「二次元コード3」(QR3)の位置を確認できます。

①②(QR2)、③④⑤(QR3)の順に、二次元コードを読み取ります。

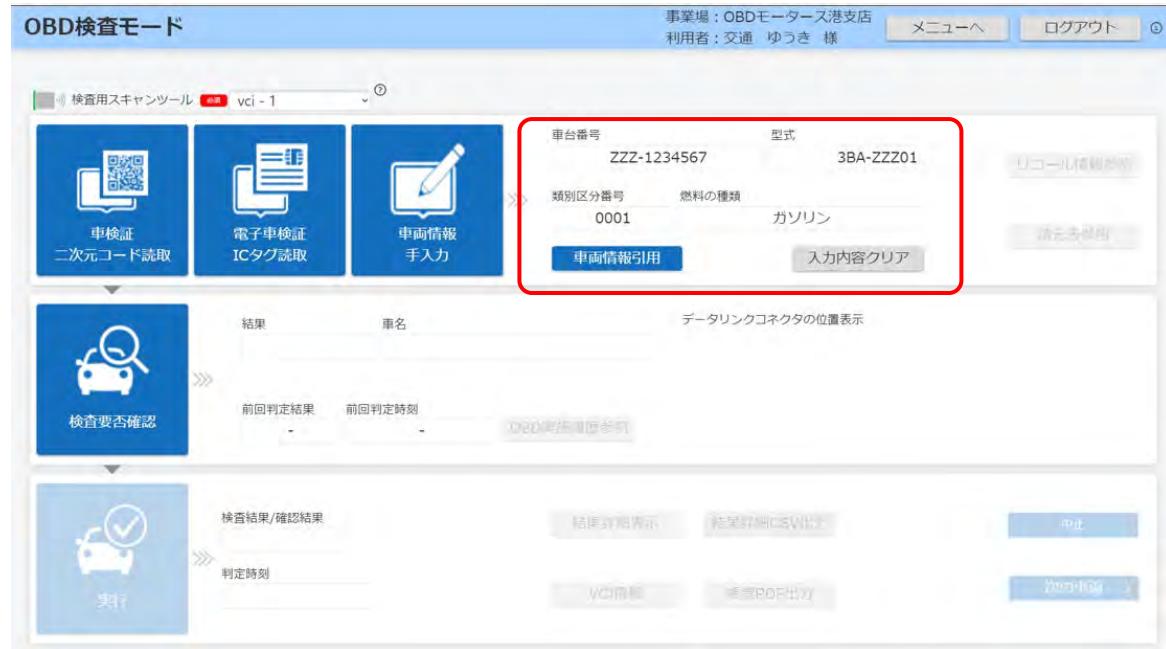
①、**②**の二次元コードを読み取った後、「確定」を押すと、読み取ったコードがアプリに登録されます。



ご注意

- 読み取りに失敗した場合、「確定」を押した後にエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って、操作をやり直してください。エラーの詳細については、「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。
- 読み取モード2を利用する際は、半角入力の設定にしてください。
- 読み取った情報が文字化けしてしまう場合は、「7.11 読み取モード2で車検証二次元コードの情報が文字化けするとき」を参照してください。

読み取った車両情報が登録されると《OBD 検査モード》画面に戻り、以下のように、入力した情報が反映されます。



以上で、「読み取りモード2」に対応する二次元コードリーダを使用した「車検証二次元コード読取」の操作は完了です。

7.4 車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）

電子車検証または車検証等の車台番号に漢字が使用されているときは、アプリの「職権打刻」を選択して車台番号を入力します



職権打刻とは、車台番号が消失した車両等に対して運輸支局の職権で車台番号を打刻することです。

職権打刻により付けられた車台番号は、電子車検証または車検証等に以下のように表示されます。

例：国 [01] xxxx、東 [41] xxxx 東、大 [61] xxxx 大
(xxxx は数字で、桁数は車両により異なります。)

1. 《車両情報手入力》画面で「職権打刻」を押す



《職権打刻入力》画面が表示されます。



2. 車台番号を入力して確定する



No.	項目	説明
①	車台番号	各ボタンで入力した情報が表示されます。この欄の内容が、電子車検証または車検証等の車台番号の記載と同じ状態になるように入力します。
②	国	車台番号に「国」が記載されている場合、このボタンを押します。
③	運輸局	車台番号に「国」が記載されていない場合は、職権打刻の文字に応じた運輸局を選択します。 運輸局と運輸支局の略字（漢字）対応については、 「9.3 運輸局・運輸支局一覧」 を参照してください。
④	運輸支局	③で運輸局を選択した後、運輸支局を選択します。運輸支局を選択すると、漢字と[数字]のセットが表示されます。 例）「関東」を押して、「神」を押した場合 車台番号 神[42]神
		運輸局と運輸支局の略字（漢字）対応については、 「9.3 運輸局・運輸支局一覧」 を参照してください。
⑤	数字	車台番号の一連番号部分を入力するときに押します。数字は、自動的に運輸支局の最後の漢字の前に挿入されます。（「国」の場合は末尾に挿入） 例）「1」「2」「3」「4」「5」を続けて押した場合 車台番号 神[42]12345神
⑥	一文字削除	⑤で挿入した数字を1文字削除します。

No.	項目	説明
⑦	閉じる	入力した車台番号を確定せず、この画面を閉じます。
⑧	クリア	車台番号（①）の内容をすべて削除します。
⑨	確定	入力した車台番号を確定して、この画面を閉じます。

「確定」を押すと、入力した車台番号を反映して《車両情報手入力》画面に戻ります。



メモ

車台番号は、全角 1 文字 + [半角数字 2 衔] + 半角数字 + 全角 1 文字（「運輸局」で「国」を選択した場合、末尾の全角 1 文字はなし）の形式で入力してください。

以上で、職権打刻による車台番号の入力の操作は完了です。

7.5 「セッションタイムアウト」が表示されたとき

アプリにログインしたまま一定時間操作しないと、以下の《セッションタイムアウト》画面が表示されます。

「ログイン画面へ」を押して再度ログインを行うか、「ログアウト」を押してアプリを終了させてください。



7.6 アプリをインストールしたいとき

検査用スキャンツールを新規導入または買い替えをしたときには、クライアント証明書およびアプリをインストールする必要があります。これらは、管理責任者または統括管理責任者が使用できる利用者管理システムを経由して行う必要があります。これらの実施方法については、『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照してください。

7.7 アプリが起動できないとき

インストール済みのアプリが起動できないときは、以下を確認してください。

- 必要なソフトウェア (.NET Framework と Microsoft Visual C++) がインストールされているか
詳細については、「■アプリの動作環境」(P. 12) を参照してください。

7.8 アプリにログインできないとき

アプリにログインできない（ログイン画面でエラーが発生する）ときは、以下を確認してください。

- 端末のインターネット接続が切断されていないか
詳細については、「■アプリで OBD 検査を行うための条件」(P. 12) を参照してください。
- クライアント証明書がインストールされているか
クライアント証明書のインストールについては、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。
- クライアント証明書の有効期限が過ぎていないか
詳細については、「7.10 クライアント証明書の有効期限が切れたとき」を参照してください。

7.9 誤って OBD 確認で検査をしてしまったとき

指定工場の完成検査において、OBD 検査モードで検査すべきところを OBD 確認モードで検査してしまったときは、メニュー画面に戻り、OBD 検査モードを選択したうえで検査をやり直してください。

7.10 クライアント証明書の有効期限が切れたとき

クライアント証明書には有効期限があります。クライアント証明書の有効期限が近付くと、「お知らせ」で通知されます。有効期限のお知らせが通知された場合、クライアント証明書を更新してください。クライアント証明書の更新は、有効期限内、有効期限切れ後のどちらでも可能です。



ご注意

お使いの Soliton KeyManager のバージョンにより、手順が異なります。

インストールしているバージョンをご確認のうえ、以下の手順を実施してください。

- Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合 (p.86)
- Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合 (p.90)

Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合

1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する



Soliton KeyManager が起動します。



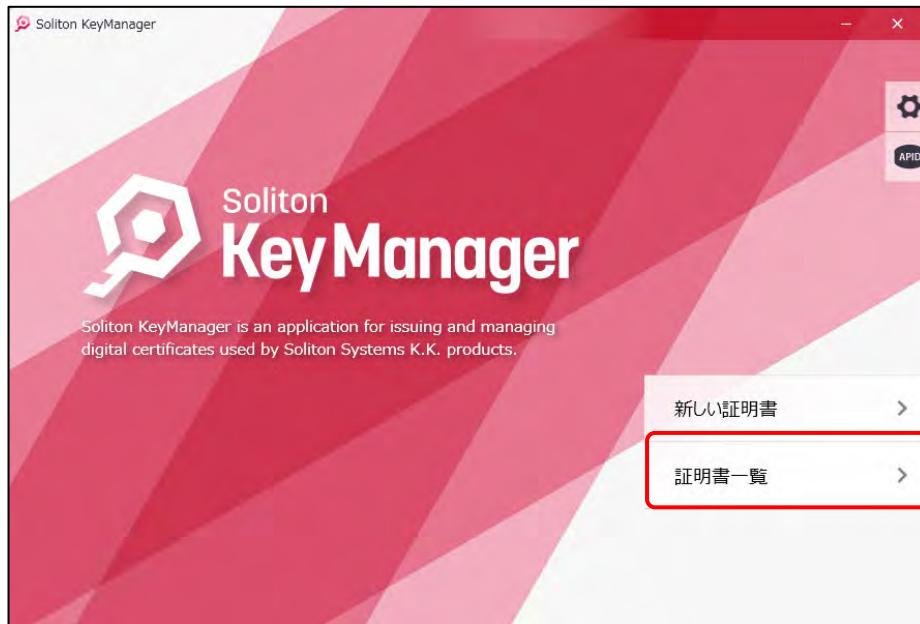
メモ

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
例) PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

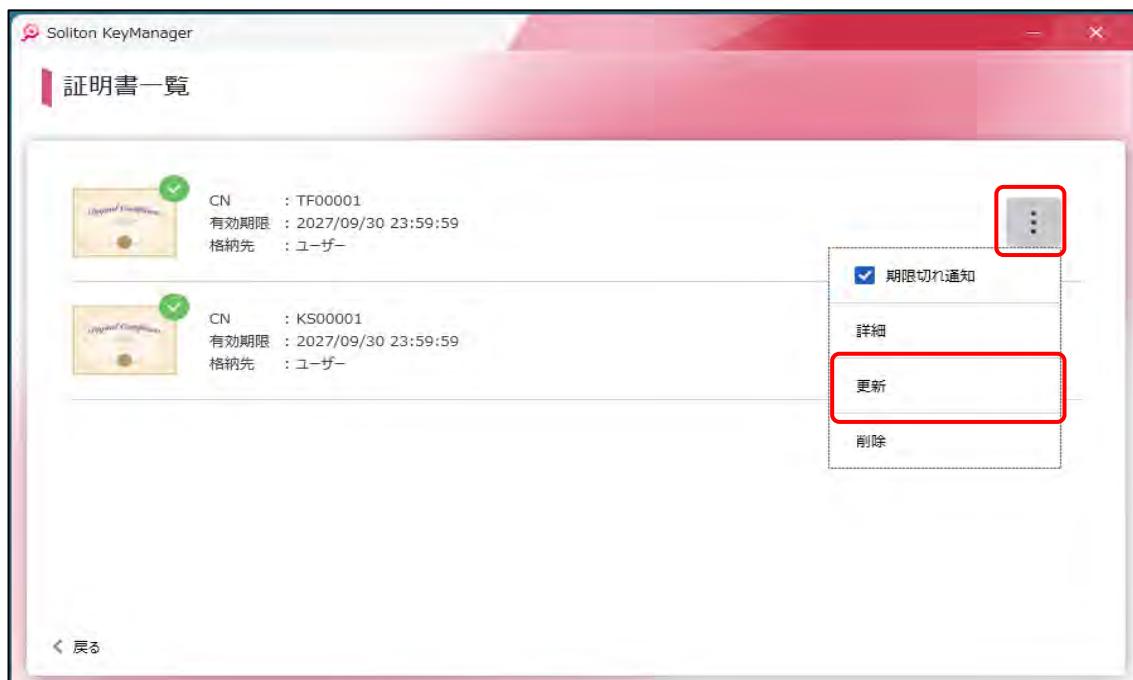


- Soliton KeyManager が見つからない場合は、端末から削除されているおそれがあります。再インストールが必要なため、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。管理責任者または統括管理責任者は、『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照して、Soliton KeyManager のインストールを行ってください。

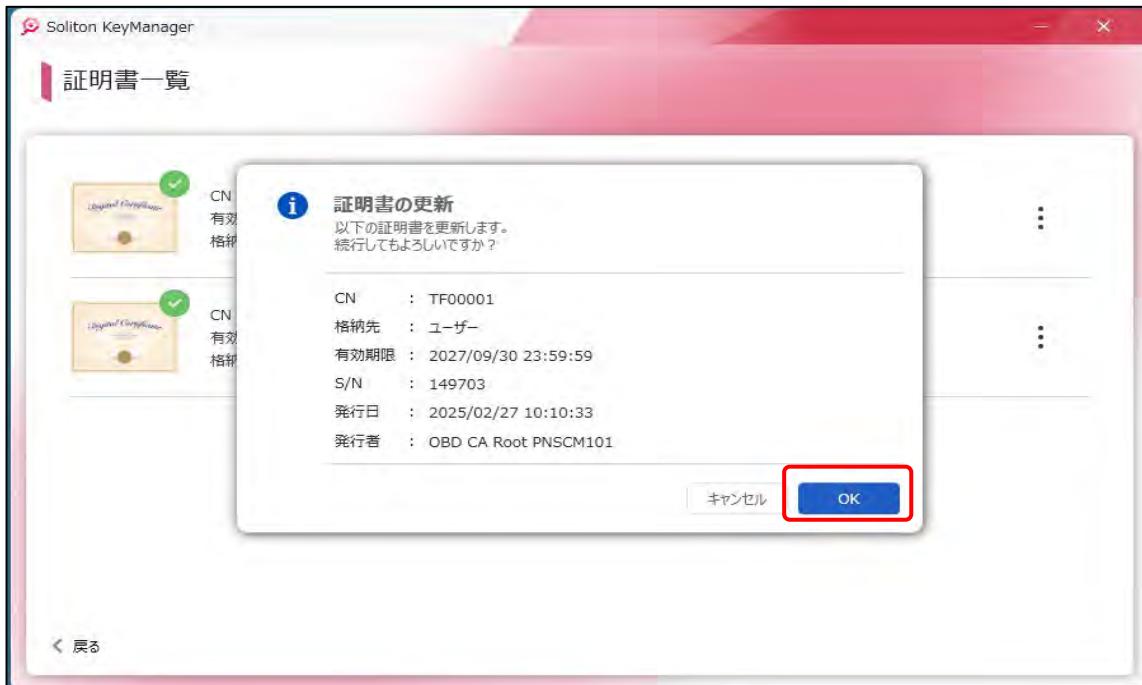
2. 「証明書一覧」を押す



3. 更新する証明書の「…」を押し「更新」を選択する



4. 確認画面で「OK」を押す



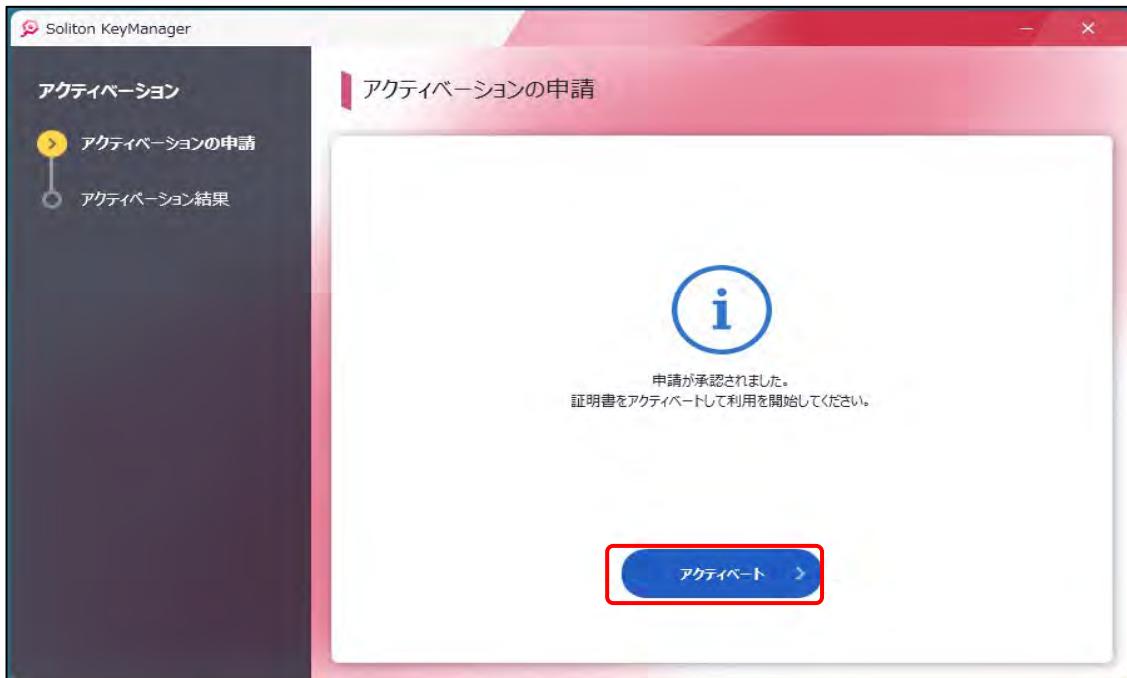
5. パスワードを入力し、「次へ」を押す



項目	内容
パスワード	パスワードはユーザーIDと同じです。

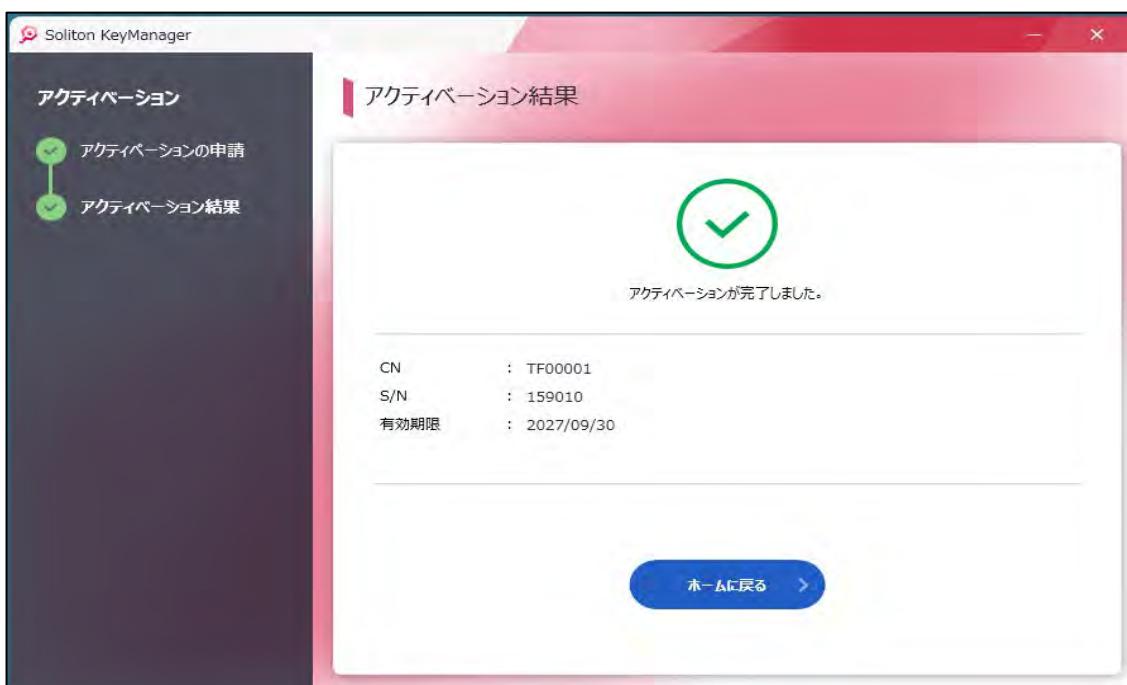
処理が完了し、画面が切り替わるまで少し待ちます。

6. 「アクティベート」を押す



処理が完了し、画面が切り替わるまで少し待ちます。

7. アクティベーション完了の画面が表示されることを確認する



「ホームに戻る」を押すと、ホーム画面に戻ります。

以上で、クライアント証明書の更新の操作は完了です。

Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合

1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する



メモ

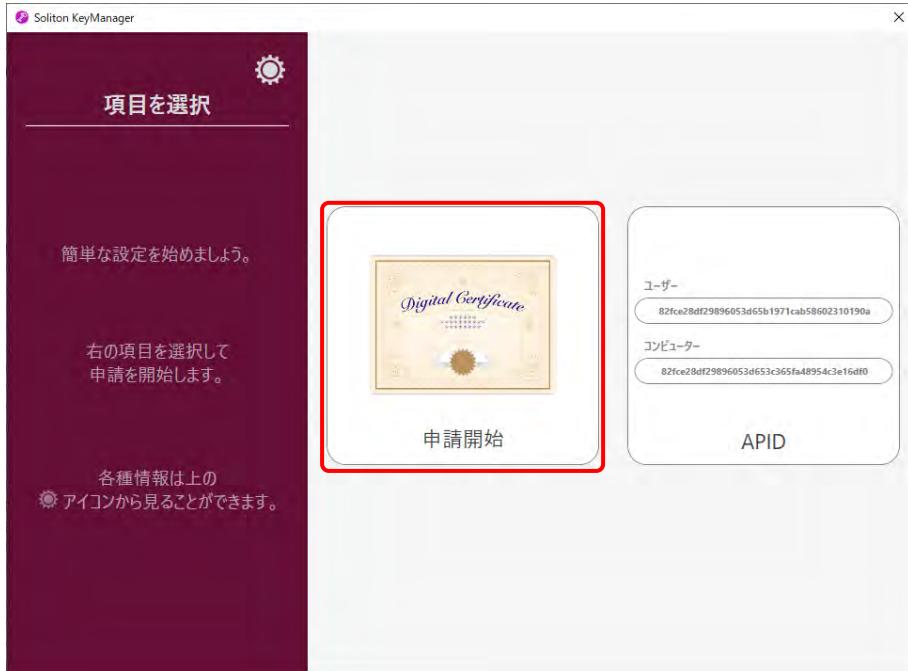
- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
例) PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。



- Soliton KeyManager が見つからない場合は、端末から削除されているおそれがあります。再インストールが必要なため、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。管理責任者または統括管理責任者は、『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照して、Soliton KeyManager のインストールを行ってください。

Soliton KeyManager が起動します。

2. 「申請開始」を押す

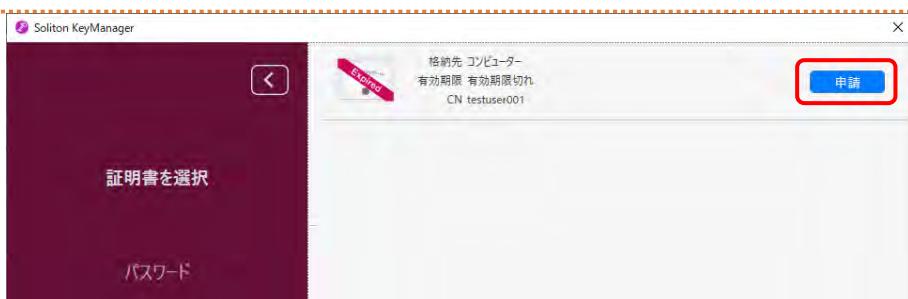


3. 更新する証明書の「申請」を押す

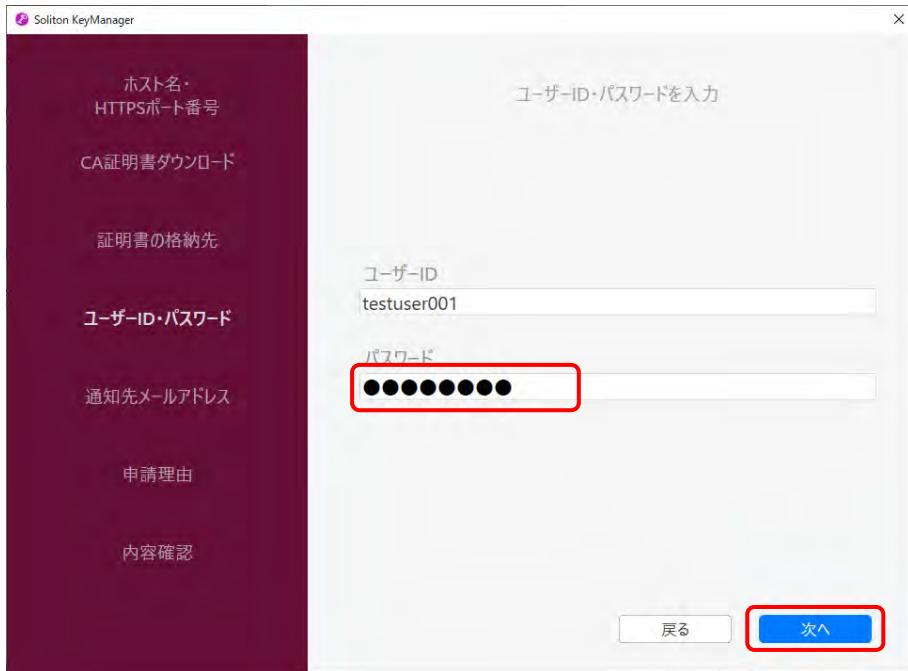
【有効期限内の場合】



【有効期限切れの場合】

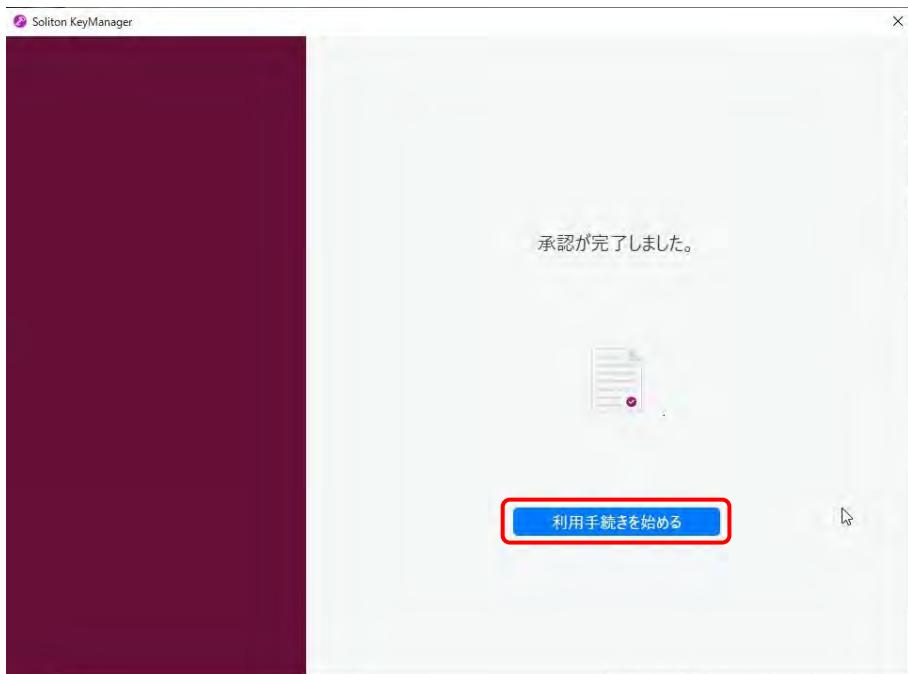


4. パスワードを入力し、「次へ」を押す



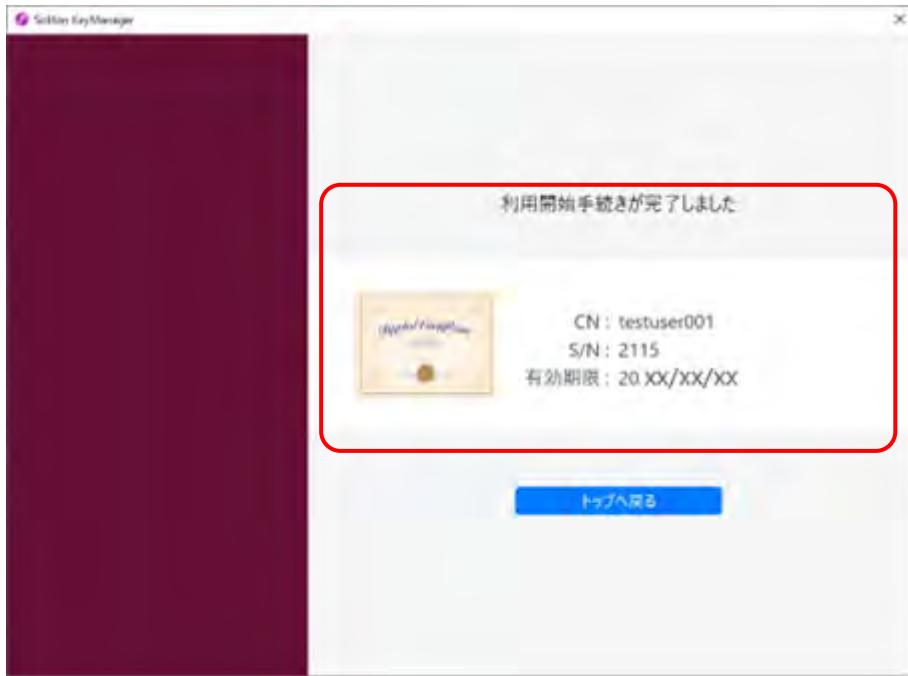
項目	内容
パスワード	パスワードはユーザーIDと同じです。

5. 「利用手続きを始める」を押す



6. ユーザーアカウント制御ダイアログが表示され、アプリ「NetAttest RA Client Admin Module(x86)」による変更の許可を求められた場合「はい」を押す

7. 手続き完了画面が表示されることを確認する



以上で、クライアント証明書の更新の操作は完了です。

7.11 読取モード 2 で車検証二次元コードの情報が文字化けするとき

特定 DTC 照会アプリで読み取った際に、情報が文字化けするときは、以下を確認してください。

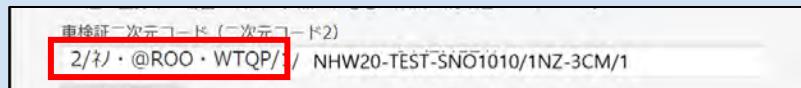
※本説明で使用している画面例は Windows 11 です。



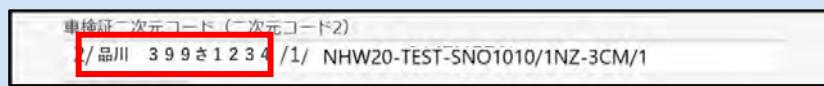
メモ

文字化けしているかどうかは、以下の図をもとに確認してください。

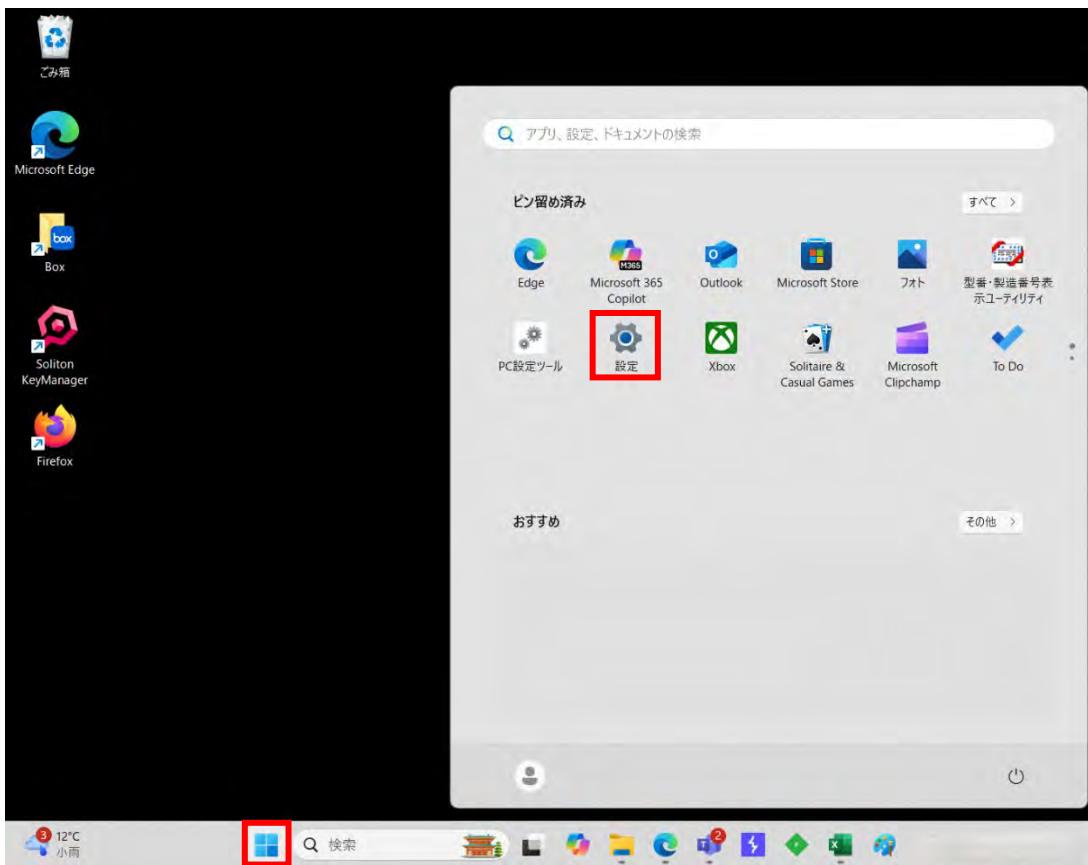
- 文字化けしている場合



- 正常に読み取れている場合



1. 「Windows」ボタンを押し、「設定」を押す



2. Windows の設定画面の検索ボックスに「IME」と入力し、表示された「日本語 IME 設定」を押す



3. Microsoft IME の「全般」を押す

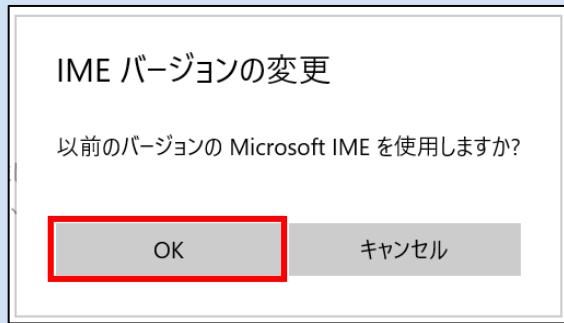


4. 画面の最下部までスクロールし、「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」を押して「オン」の状態にする



メモ

変更時に以下のポップアップが表示された場合、「OK」を押してください。



5. 特定 DTC 照会アプリで読み取りモード 2 を使用して車検証二次元コード読み取り時に読み取った情報を文字化けしないことを確認する

7.12 アプリをアップデートしたいとき

インストールしているアプリのバージョンによって、アップデート方法が異なります。以下を確認してください。

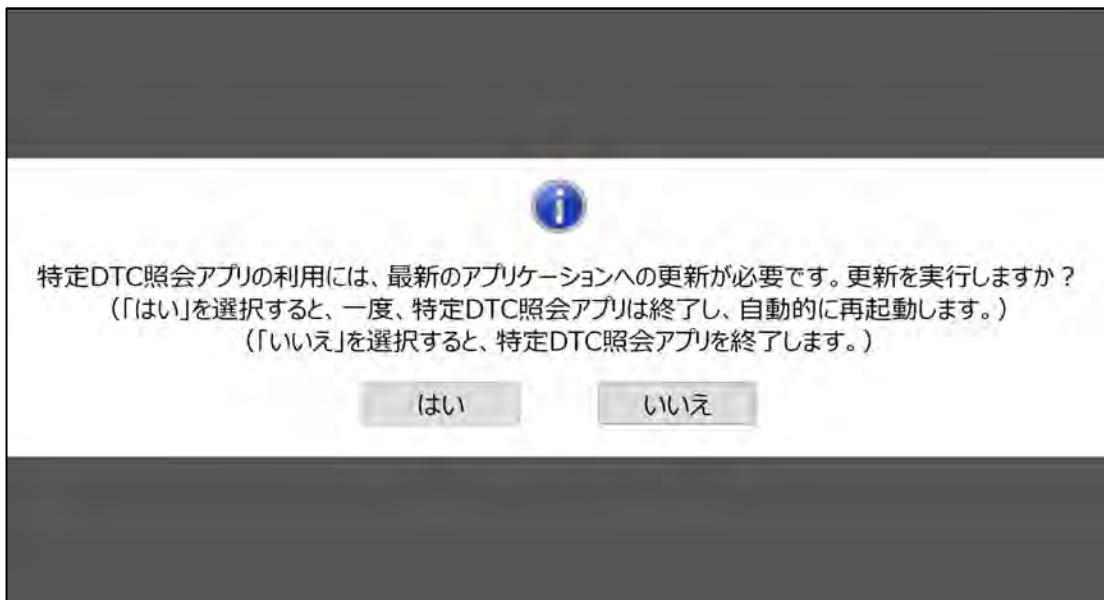
■インストール済みのアプリが 64bit 版の場合

バージョンアップが必須の場合

画面の表示に従ってアップデートを行ってください。

「はい」を選択すると、特定 DTC 照会アプリは終了し、自動的に再起動します。

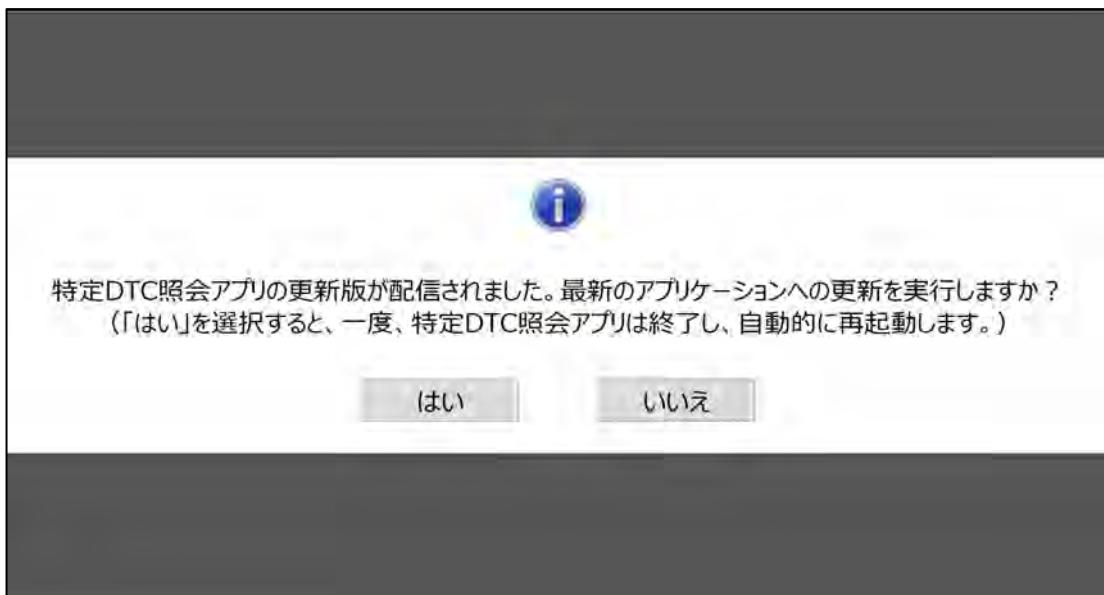
「いいえ」（アップデートしない）を選択すると、アプリは起動できません。



バージョンアップが任意の場合

画面の表示に従ってアップデートを行ってください。

「はい」を選択すると、特定 DTC 照会アプリは終了し、自動的に再起動します。



■インストール済みのアプリが 32bit 版の場合

バージョンアップが必須の場合

1. 画面の表示に従って、「ダウンロード」を押す

「閉じる」（アップデートしない）を選択すると、アプリは起動できません。



お使いの端末で設定しているブラウザが起動し、特定 DTC 照会アプリは終了します。

2. クライアント証明書を選択し、「OK」を押す



3. 「名前を付けて保存」を押し、保存先フォルダーを選択する



4. 保存先フォルダーを選択し、特定DTC照会アプリのインストール用ファイル「OBD_KENSA_●.●.●.●_x86_32.msix」を実行する



メモ

- ファイルを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
例) PCの場合、ファイル名をダブルクリックします。
- 「●.●.●.●」の部分は、バージョンによって変わります。

「特定DTC照会アプリを更新しますか？」というダイアログが表示されます。

5. 「更新」を押す



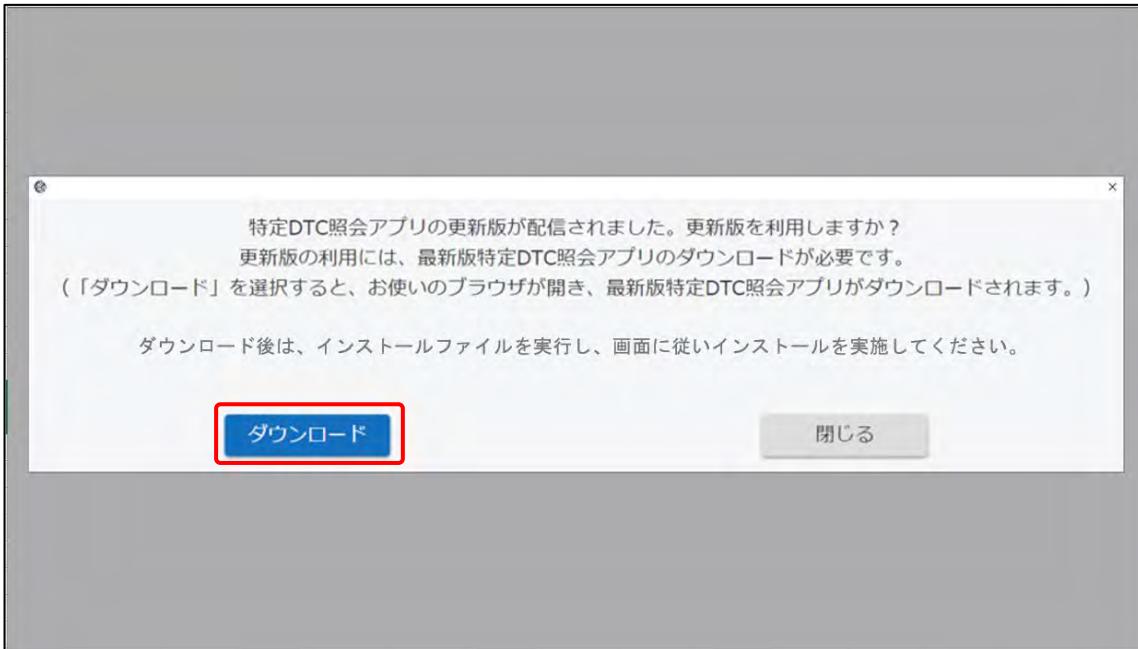
更新が開始されます。



更新が完了すると、ログイン画面が表示されます。

バージョンアップが任意の場合

画面の表示に従って、「ダウンロード」を押してください。



お使いの端末で設定しているブラウザが起動し、特定 DTC 照会アプリは終了します。

以降の操作については、「■インストール済みのアプリが 32bit 版の場合」(P.94) の「バージョンアップが必須の場合」の手順 2.を参照してください。

7.13 使用した検査用スキャンツールの情報を確認したいとき

OBD 検査で使用した検査用スキャンツールの型式等、詳細な情報を確認することができます。

確認したい場合は、「VCI 情報」を押してください。



検査用スキャンツールの情報が表示されます。



メモ

検査用スキャンツールが認定されているかの確認方法については OBD 検査ポータル の、「OBD 検査で使用する機器」に掲載しています。

《OBD 検査ポータル》

検査の実施準備 / OBD 検査で使用する機器

<https://www.obd.naltec.go.jp/preparation/device/#other-device>

7.14 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき

OBD 検査実施後、「車両との通信ができませんでした。」とメッセージが表示された場合は、「詳細」リンクを押して、表示される案内に沿って以下の操作を行ってください。



- 車両の原動機を始動している（ハイブリッド車、電気自動車は READY にしている）ことを確認してください。
- 検査用スキャンツールの接続端子とデータリンクコネクタとの隙間に異物が混入していないか確認してください。
- データリンクコネクタに検査用スキャンツールの接続端子が確実に差し込まれているか確認してください。

7.15 検査用スキャンツールに関するメッセージが表示されたとき

OBD 検査実施後、「お使いの検査用スキャンツールは認定されていない可能性があります。」とメッセージが表示された場合は、「詳細」リンクを押して、内容を確認してください。



このメッセージが出たら、一般社団法人日本自動車機械工具協会の HP にて、お使いの検査用スキャンツールが認定されているかどうかをご確認ください。

認定されていない（認定されているものと、型式、ドライバ・バージョン、ファームウェア・バージョンのいずれかが異なる）

お使いの検査用スキャンツールは、ご利用できません。

認定されている場合（OBD 検査システムに型式またはバージョンの情報がまだ登録されていない）

認定されてから間もないため、OBD 検査システムに型式またはバージョンの情報がまだ登録されていない状態です。

そのまま OBD 検査および OBD 確認にご利用いただけます。

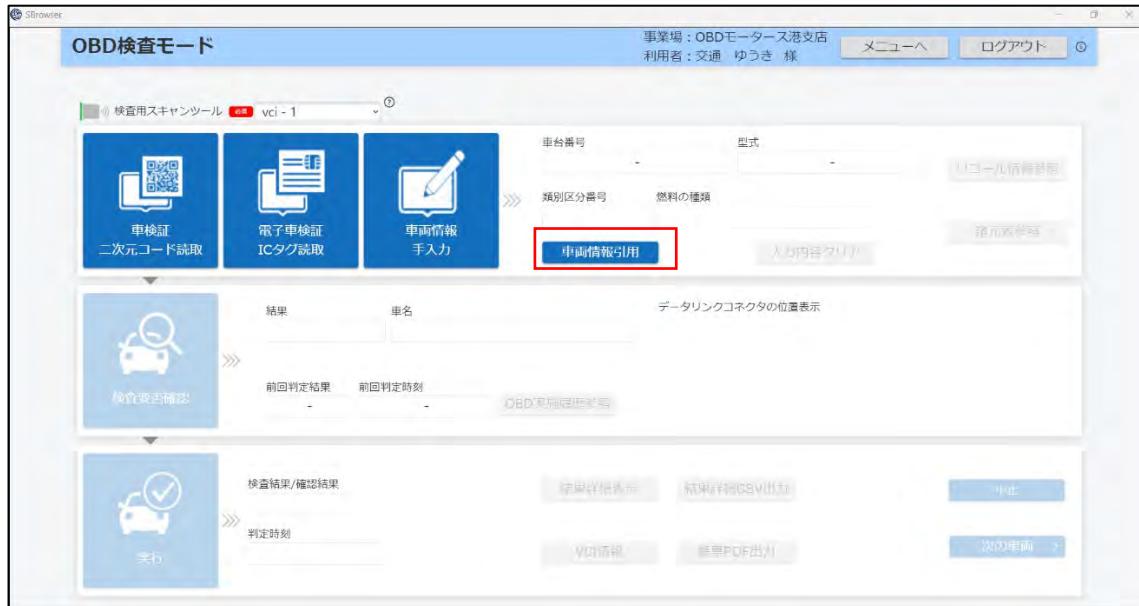
なお、OBD 検査システムに登録されるまでの間は、検査場への持込検査の際の OBD 検査省略はされませんのでご了承願います。（およそ 3 週間程度で登録されます）

7.16 車両情報を引用する

車両情報をアプリに入力することで、車両受付を行います。電子車検証または車検証等の情報をキーボードなどで入力する場合は、過去に OBD 検査要否確認まで行っている車両の情報を引用することができます。以下にあてはまる車両については、引用する情報として選択することができます。

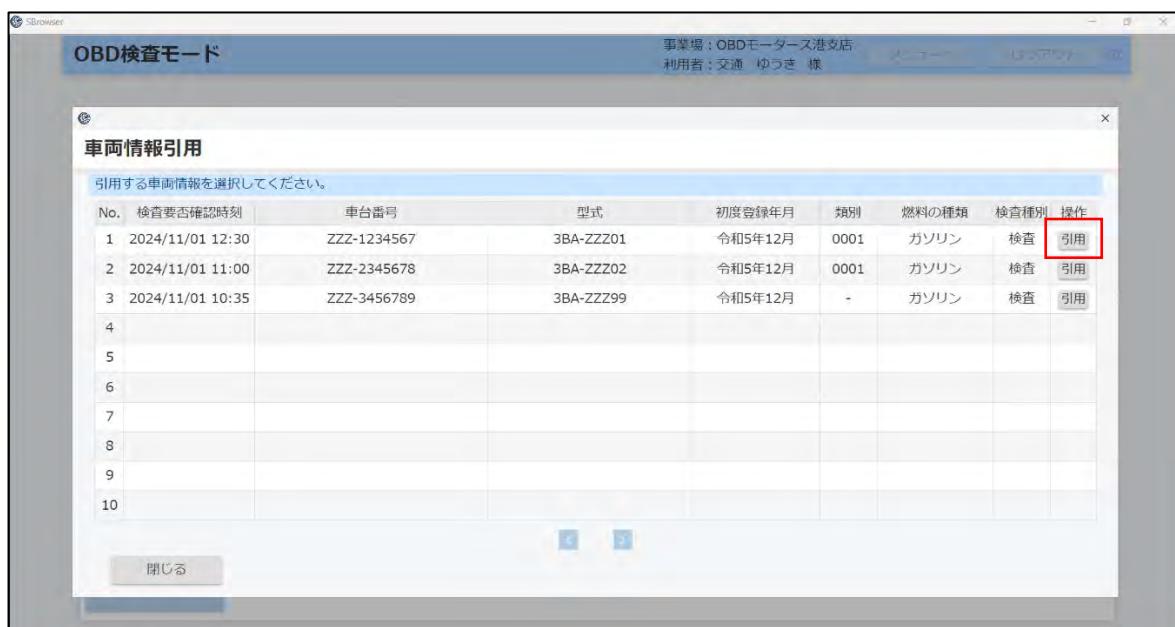
- 過去 7 日間に OBD 検査要否確認を実施している車両
- OBD 検査要否確認を実施した場所が自分の事業場である場合

1. 「車両情報引用」を押す



《車両情報引用》画面が表示されます。

2. 《車両情報引用》画面で、引用したい車両情報の「引用」を押す



《車両情報手入力》画面が表示されます。

3. 《車両情報手入力》画面にて、修正が必要な項目を入力する

車両情報手入力

車検証を確認のうえ、受検車両の情報を入力してください。

車台番号? 必填
ZZZ-1234567

初度登録年月または初度検査年月? 必填
○なし ○あり 令和 5 年 12 月

型式? 必填
3BA-ZZ01

改造車等?

類別区分番号? 必填
○なし ○あり 0001

燃料の種類? 必填
ガソリン

閉じる 確定

以降は、「■電子車検証または車検証等の情報をキーボードなどにより入力する場合」の手順 2. (P.45) を参照してください。

7.17 セッションタイムアウトのメッセージが表示された場合

セッションタイムアウトまでの残り時間の通知として、以下のようなメッセージが表示される場合があります。

セッションタイムアウトとなった場合は、再度ログインをする必要があります。車両情報を再度入力いただく場合があるため、メッセージに沿って対応をしてください。

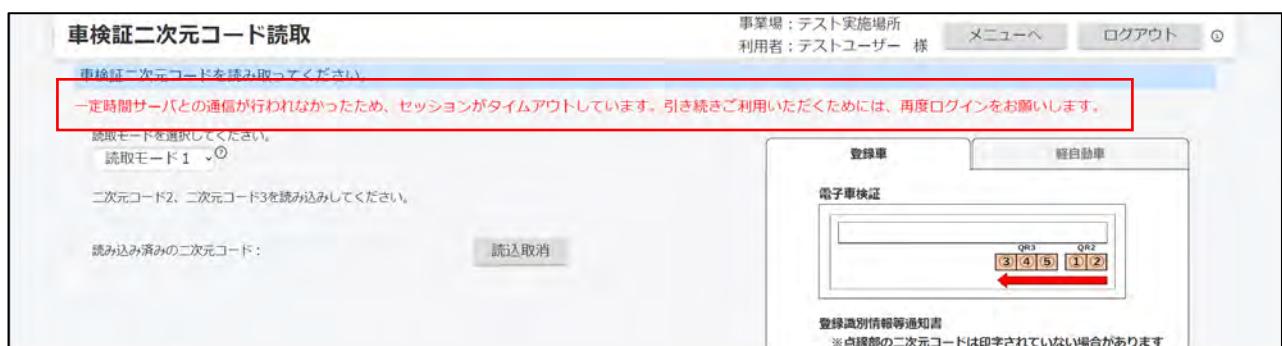
セッションタイムアウトまでの残り時間が 5 分未満であった場合

一定時間サーバとの通信が行われないと、操作途中であってもセッションタイムアウトになります。



セッションタイムアウトまでの残り時間が 0 分であった場合

既にセッションタイムアウトとなっていますので、再度ログインしてください。



8 お問い合わせ

8.1 お問い合わせ先

アプリについてのお問い合わせ先は以下になります。

問い合わせ先名称：OBD 検査コールセンター

電話番号：0570-022-574

対応時間：9時 00分～ 17時 00分（12月 29日から 1月 3日を除き、 年中無休）

お問い合わせ先は、 アプリの《よくあるご質問》画面からも確認できます。



お問い合わせ先電話番号

9 付録

9.1 アプリが起動できない場合の対処方法

特定 DTC 照会アプリを起動する際に、エラーメッセージが表示される場合があります。

対処方法に沿って、対応を行ってください。

エラー コード	メッセージ	対処方法
e101000001	多重起動はできません。 アプリケーションを終了します。 (e10100001)	特定 DTC 照会アプリを終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。  メモ 複数の Windows ユーザーで同時に特定 DTC 照会アプリを起動しているおそれがございます。 他の Windows ユーザーで特定 DTC 照会アプリを起動されていないか、ご確認ください。
e101999009	システムエラーが発生しました。 (e101999009)	①端末を再起動してから特定 DTC 照会アプリを起動してください。 ②特定 DTC 照会アプリを再インストールしてください。
e101999010	システムエラーが発生しました。 (e101999010)	OBD 検査ポータルにて特定 DTC 照会アプリの動作環境を満たしているかご確認ください。 https://www.obd.naltec.go.jp/mainte/device/#scan-tool

9.2 エラーメッセージと対処方法

アプリの操作でエラーが発生したときは、エラーメッセージが表示されます。本項目では、主なエラーメッセージを掲載しています。

対処方法に手順がある場合、エラーコードの末尾に（詳細）が表示されます。

（詳細）を押すと、対処方法が別ウィンドウで表示されます。

The screenshot shows the 'OBD検査' (OBD Inspection) application interface. At the top, a red box highlights the error message: 「【エラー】00020005(詳細) 特定DTC照会アプリ内でエラーが発生しました。」 Below this, another red box encloses a list of four troubleshooting steps:

- (1) 特定DTC照会アプリを再起動してください。
- (2) PCを再起動してください。
- (3) 特定DTC照会アプリを再インストールしてください。
- (4) コールセンターにお問い合わせしてください。

To the right of the steps, a button labeled '対処方法' (Troubleshooting) is shown. A red line points from the '対処方法' button to a callout box containing the troubleshooting steps.

エラーコード凡例

- EF〇、EG〇 : OBD 検査システム関連のエラー
- xxxx xxxx : 検査用スキャントール関連のエラー

エラー コード	メッセージ	対処方法
EF013	【エラー：EF013】車検証二次元コード（二次元コード3）を読み取ってください。	メッセージに従って対処してください。
EF014	【エラー：EF014】読み取られた二次元コードは二次元コード2に対応していません。車検証二次元コード（二次元コード2）を読み取ってください。	メッセージに従って対処してください。
EF015	【エラー：EF015】読み取られた二次元コードは二次元コード3に対応していません。車検証二次元コード（二次元コード3）を読み取ってください。	メッセージに従って対処してください。
EF017	【エラー：EF017】セキュリティコードが不正です。車検証に記載されている4桁の数字を入力してください。	メッセージに従って対処してください。

エラー コード	メッセージ	対処方法
EF018	<p>【エラー：EF018】 IC カードリーダの接続に失敗しました。マニュアルを参照のうえ、対処を行ってください。</p> <p>(詳細) IC カードリーダとの接続に失敗しました。(XXXXXXXXXX) 以下のいずれかの対処をしたうえで、「戻る」ボタンを押下後、再度「電子車検証 IC タグ読取」ボタンにより、電子車検証 IC タグを読み取ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 端末と IC カードリーダが正しく接続しているかを確認してください。 (2) 接続された IC カードリーダを一度取り外し、再度接続してください。 (3) 特定 DTC 照会アプリ設定画面で現在使用している IC カードリーダの機器を選択してください。 (4) 端末を再起動し、特定 DTC 照会アプリを起動させてください。 (5) IC カードリーダのマニュアルを参照して、IC カードリーダのドライバの再インストールを行ってください。 <p>解決しない場合は「戻る」ボタンを押下後、「車両情報手入力」ボタンにより、車両情報を入力してください。</p>	表示される以下の対処方法に従つて対処してください。
EF019	<p>【エラー：EF019】 正常に読み込むことができません。再度、電子車検証を読み取ってください。</p> <p>(詳細) 電子車検証 IC タグの読取に失敗しました。(XXXXXXXXXX) 以下のいずれかの対処をしたうえで、「読取開始」ボタンを押下してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) セキュリティコードが間違っている可能性があります。電子車検証の券面を確認し、再度セキュリティコードを入力してください。 (2) 読取した IC タグが電子車検証ではない可能性があります。確認してください。 <p>解決しない場合は「戻る」ボタンを押下後、「車両情報手入力」ボタンにより、車両情報を入力してください。</p>	表示される以下の対処方法に従つて対処してください。
EF035	【エラー：EF035】 車台番号と型式が正しいか確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> • 車検証情報が正しく入力されているか確認してください。 • 車両受付可能な車両か確認してください。
EF036	【エラー：EF036】 車台番号が正しいか確認してください。	<p> 「3 車両受付をする」</p>
EF039	【エラー：EF039】 車台番号（職権打刻除く）は半角英数字および記号で入力してください。	メッセージに従つて対処してください。

エラー コード	メッセージ	対処方法
EF041	<p>【エラー：EF041】車検証二次元コード（○）を正常に読み取ることができませんでした。（詳細）をクリックして対処方法を確認してください。</p> <p> メモ</p> <p>○には、「二次元コード2」「二次元コード3」のいずれかが表示されます。</p> <p>(詳細)</p> <p>以下のいずれかの対処をしたうえで、「戻る」ボタンを押下後、再度「車検証二次元コード読み取」ボタンにより、車検証二次元コードを読み取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 端末の文字入力設定が、半角入力となっているか確認してください。 (2) 以下の手順を実施してIMEの設定にて、「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」が「オン」となっているか確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「Windows スタート」ボタンを押し、「設定」を選択する。 2) Windows の設定画面の検索ボックスに「IME」と入力し、表示された「日本語IME設定」を押す。 3) Microsoft IME の「全般」を押す。 4) 画面の最下部までスクロールし、「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」を押して「オン」の状態にする。 変更時に「IME バージョンの変更」とポップアップが表示された場合、「OK」を押す。 (3) 接続された二次元コードリーダのマニュアルを参照して、二次元コードリーダのキーボード設定(言語設定)が「日本語」になっていることを確認してください。 解決しない場合は、二次元コードリーダが車検証 QR コードの読み取りに対応していない可能性があるので、「戻る」ボタンを押下後、「車両情報手入力」ボタンにより、車両情報を入力してください。 	表示される以下の対処方法に従つて対処してください。

エラー コード	メッセージ	対処方法
EF902	<p>【エラー：EF902】通信エラーが発生しました。同じ操作を実行するか、(詳細)をクリックして対処方法を確認してください。</p> <p>(詳細) 通信エラーが発生しました。 以下のいずれかの対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 端末のインターネット接続環境を確認してください。 (2) 特定 DTC 照会アプリ以外のすべてのソフトウェアを終了し、初めから操作してください。 (3) 特定 DTC 照会アプリを再起動し、初めから操作してください。 (4) 端末を再起動し、初めから操作してください。 <p>解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。</p>	表示される以下の対処方法に従って対処してください。
	<p>! ご注意</p> <p>クライアント証明書が選択されていない場合もこのエラーが発生します。クライアント証明書を選択（①「認証用の証明書」を選択して②「OK」を押下）したか確認してください。</p>	
EF909	<p>【エラー：EF909】アプリの更新に失敗しました。アプリを終了します。</p> <p>繰り返し更新に失敗する場合は OBD 検査コールセンターにお問い合わせいただきか OBD 検査ポータルのよくある質問（FAQ）をご確認ください。</p> <p>TEL : 0570-022-574 (9時00分～17時00分)</p>	特定 DTC 照会アプリが終了したら再度、起動してください。
EG001	【エラー：EG001】エラーが発生しました。アプリケーションを再起動してください。問題が解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。

エラー コード	メッセージ	対処方法
EG002	<p>【エラー：EG002】パラメータ○は△文字以上、△文字以内で入力してください。</p> <p> メモ</p> <p>○には、項目名が表示されます。</p> <p>△には、数字が表示されます。</p> <p> ご注意</p> <p>二次元コードリーダ（読み取った際にこのエラーが表示された場合は、車検証 QR コードを読み取った際にこのエラーが表示された場合は、文字化けしているおそれがありますので、二次元コードリーダの設定を確認ください。</p>	メッセージに従って対処してください。
EG006	【エラー：EG006】システムエラーが発生しました。サーバー側で予期せぬエラーが発生しました。しばらく待ってから再度試してください。時間が経っても解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。
EG007	【エラー：EG007】エラーが発生しました。アプリケーションを再起動してください。問題が解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。
EG062	【エラー：EG062】エラーが発生しました。アプリケーションを再起動してください。問題が解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。
EG063	【エラー：EG063】ユーザーIDまたはパスワードが正しくありません。	メッセージに従って対処してください。
EG065	<p>【エラー：EG065】新しいパスワードは○文字以上、△文字以内で入力してください。</p> <p> メモ</p> <p>○、△には、数字が表示されます。</p>	メッセージに従って対処してください。
EG066	【エラー：EG066】パスワードの有効期限が切れています。所属する組織の管理者もしくは責任者にパスワードの再発行を依頼してください。	メッセージに従って対処してください。

エラー コード	メッセージ	対処方法
0000 0002	【エラー : 0000 0002】検査用スキャンツールとの接続に失敗しました。	<p>検査用スキャンツールが認定されていないことや、OBD 検査の設定になつてないことなどが考えられます。</p> <p>詳細な対処方法は OBD 検査ポータルのよくある質問（FAQ）を参照してください。</p>
0000 0003	【エラー : 0000 0003】検査用スキャンツールとの通信が途絶しました。	<p>操作端末と検査用スキャンツール間の通信が断絶してしまったものと考えられるため、以下をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作端末と検査用スキャンツール間に、障害物などがある場合は除去する ・操作端末と検査用スキャンツールの距離が離れている場合は近づける ・その他の Bluetooth 接続機器がある場合は、検査用スキャンツールからできるだけ離す
0002 0002	【エラー : 0002 0002】検査用スキャンツールのセットアップが正しく行われていません。	検査用スキャンツールの設定を確認してください。
0002 0005	【エラー : 0002 0005】検査用スキャンツールのセットアップが正しく行われていません。	検査用スキャンツールの設定を確認してください。
1000 0001	【エラー : 1000 0001】検査用スキャンツールとの通信でエラーが発生しました。	<p>検査用スキャンツールが認定されていないことや、OBD 検査の設定になつてないことなどが考えられます。</p> <p>詳細な対処方法は OBD 検査ポータルのよくある質問（FAQ）を参照してください。</p>

9.3 運輸局・運輸支局一覧

《職権打刻入力》画面で使用する運輸局・運輸支局のボタン名と一覧表を下表に示します。



運輸局 (ボタン)	運輸局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名
北海道	北海道運輸局	札	札幌運輸支局	函	函館運輸支局
		旭	旭川運輸支局	室	室蘭運輸支局
		釧	釧路運輸支局	帶	帶広運輸支局
		北	北見運輸支局		
東北	東北運輸局	青	青森運輸支局	手	岩手運輸支局
		宮	宮城運輸支局	秋	秋田運輸支局
		形	山形運輸支局	島	福島運輸支局
関東	関東運輸局	茨	茨城運輸支局	栃	栃木運輸支局
		群	群馬運輸支局	玉	埼玉運輸支局
		千	千葉運輸支局	東	東京運輸支局
		神	神奈川運輸支局	山	山梨運輸支局
北信	北陸信越運輸局	新	新潟運輸支局	富	富山運輸支局
		石	石川運輸支局	野	長野運輸支局
中部	中部運輸局	井	福井運輸支局	岐	岐阜運輸支局
		静	静岡運輸支局	愛	愛知運輸支局
		三	三重運輸支局		

運輸局 (ボタン)	運輸局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名
近畿	近畿運輸局	賀	滋賀運輸支局	京	京都運輸支局
		大	大阪運輸支局	奈	奈良運輸支局
		歌	和歌山運輸支局	兵	兵庫陸運部
中国	中国運輸局	取	鳥取運輸支局	根	島根運輸支局
		岡	岡山運輸支局	広	広島運輸支局
		口	山口運輸支局		
四国	四国運輸局	徳	徳島運輸支局	香	香川運輸支局
		媛	愛媛運輸支局	知	高知運輸支局
九州	九州運輸局	福	福岡運輸支局	佐	佐賀運輸支局
		長	長崎運輸支局	本	熊本運輸支局
		分	大分運輸支局	崎	宮崎運輸支局
		児	鹿児島運輸支局		
沖縄	沖縄総合事務局 運輸部	沖	沖縄総合事務局 運輸部		

9.4 OBD 検査ポータル

OBD 検査ポータルの URL は以下になります。

URL : <https://www.obd.naltec.go.jp>

9.5 改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2023.04.14	第 1 版	新規作成
2023.06.02	第 1.1 版	<ul style="list-style-type: none"> • 「2.1 ログインとログアウト」(P.16) に記載のご注意にて、OBD 検査結果参照システムにおいて初回ログインを実施していた場合、特定 DTC 照会アプリでの初回ログインが不要である旨追加。 • 「2.4 設定を確認する」(P.30) の項目「車検証二次元コード読取モード」について、説明文を見直し改善。 • 二次元コードリーダの使用方法について、以下に案内を追記。 「3.3 車両情報を入力する」(P.38) 「7.3 車検証二次元コードリーダ読取を『読み取りモード 2』で行うとき」(P.77) • 二次元コード読取を行う順番について、吹き出し内の説明文を見直し改善。 「3.3 車両情報を入力する」(P.39) 「7.3 車検証二次元コードリーダ読取を『読み取りモード 2』で行うとき」(P.79) • 「5.1 OBD 検査を実施する」(P.61) の検査結果「空欄」について、表示されるメッセージの説明文を見直し改善。 • 以下について、最新の画像に修正。 「■電子車検証の IC タグを読み取る場合」(P.41、42) 「■過去の OBD 検査実施履歴を確認する」(P.54) 「6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する」(P.67、68、69)
2023.09.19	第 1.2 版	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 <ul style="list-style-type: none"> - P.5、18、22、29、34、39、42、47、48、51、53、57、58、63、70、75、86、88 • 以下の記載について、補足説明の追加。 <ul style="list-style-type: none"> - 「■OBD 検査とは」(P.9) に記載のメモにて、OBD 検査対象車であっても OBD 検査不要となる条件を追加。 - 「■アプリにログインする（初回）」(P.16)、「■アプリにログインする（2 回目以降）」(P.22) に記載のメモにて、証明書を選択する手順を追加。 - 「2.4 設定を確認する」(P.30) の手順 3 にて、検査用スキャンツールに関するご注意を追加。 - 「2.4 設定を確認する」(P.31) の手順 3 にて、車検証二次元コード読取モードに関するメモを追加。

		<ul style="list-style-type: none"> - 「3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する」(P.35、36) の手順 3 にて、検査用スキャンツールのドライバ選択に関する説明を追加。 - 「3.3 車両情報を入力する」(P.37、38) にて、読み取りモードに関する説明を追加。 - 「4.2 関連情報を確認する」(P.54) にて、過去の OBD 検査実施履歴の表示条件を追加。 - 「4.3 その他参考情報を確認する」(P.56) に記載のメモにて、諸元表情報に関する説明を追加。 - 「5.1 OBD 検査を実施する」(P.59) の手順 2 にて、検査実施に関するご注意を追加。 - 「5.1 OBD 検査を実施する」(P.61) に記載のメモにて、検査結果に関する説明を追加。 - 「6 OBD 検査結果を確認する」(P.66) に記載のメモにて、OBD 検査の合否に関する法令の案内を追加。 - 「6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する」(P.68)、「6.2 OBD 検査結果を保存する」(P.72) に記載のメモにて、警告灯判定を行った場合の表示の説明を追加。 - 「6.2 OBD 検査結果を保存する」(P.72) にて、OBD 検査結果詳細の表示条件を追加。 - 「7.2 パスワードを変更したいとき」(P.74) に、パスワードに関するご注意を追加。 - 「7.3 車検証二次元コード読み取りを『読み取りモード 2』で行うとき」(P.74) の手順 2 にて、車検証二次元コード読み取りモードに関するメモを追加。 - 「7.3 車検証二次元コード読み取りを『読み取りモード 2』で行うとき」(P.79) の手順 3 にて、車検証二次元コードの情報が文字化けする際の案内を追加。 • 以下について、新規項目として追加。 <ul style="list-style-type: none"> - 「7.11 読み取りモード 2 で車検証二次元コードの情報が文字化けするとき」(P.90) - 「9.1 アプリが起動できない場合の対処方法」(P.94) • 「9.2 エラーメッセージと対処方法」(P.100) に記載のエラーコード (EF041) を追加。
2023.12.04	第 1.3 版	<ul style="list-style-type: none"> • システム改修に伴い、新規項目として追加。 <ul style="list-style-type: none"> - 「7.12 アプリをアップデートしたいとき」(P.93) - 「■ アプリの動作環境」(P.12) にて、OS の条件の記載について見直し。 - 「3 車両受付をする」(P.32) にて、車両受付が可能な車両の説明を追加。 • OBD 検査ポータルの記載変更に伴い、以下に記載のご注意を修正。 <ul style="list-style-type: none"> - 「3.3 車両情報を入力する」(P.38) - 「7.3 車検証二次元コード読み取りを「読み取りモード 2」で行うとき」(P.77)
2024.03.25	第 1.4 版	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 <ul style="list-style-type: none"> - P.6、10、12、15、24、29、32、35、90、104

		<ul style="list-style-type: none"> • クライアント証明書の選択について、説明の記載を見直し。 <ul style="list-style-type: none"> - 「2.1 ログインとログアウト」(P.16) - 「■アプリにログインする（2回目以降）」(P.20) - 「9.2 エラーメッセージと対処方法」(P.106) のエラーコード EF902 • システム改修に伴い、エラーコード一覧の記載を修正。 <ul style="list-style-type: none"> - 「9.2 エラーメッセージと対処方法」(P.103) のエラーコード (EF018、EF019) について、エラーコードが新たに表示される旨、説明を追加。 - 「9.2 エラーメッセージと対処方法」(P.104) のエラーコード (EF906、EF907) について、削除。 - 「9.2 エラーメッセージと対処方法」(P.106) のエラーコード (EF908、EF909、EF910) について、追加。 • 「VCI 情報」ボタンが増えるシステム改修に伴い、以下の記載について変更。 <ul style="list-style-type: none"> - 画面を差し替え (P.36、37、40、41、43、44、47、48、52、55、57、60、61、62、66、71、73、77、80) - 「V C I 情報」ボタンの説明を追加。(P.97) • コールセンターの対応時間が 2024 年 4 月から変更になる旨、記載。(P.98)
2024.09.17	第 1.5 版	<ul style="list-style-type: none"> • システム改修に伴い、以下の説明を修正。 <ul style="list-style-type: none"> - 「5.2 警告灯判定画面が表示された場合」(P.63、64)に補足コメントを追加。 - 「7.14 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき」(P.98)に説明を追加。 - 「9.2 エラーメッセージと対処方法」(P.106、107、108)にエラーメッセージを追加。 • 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 <ul style="list-style-type: none"> - P.15、27、30、33、45、51、56、59、61、72、99、100、101
2024.12.09	第 1.6 版	<ul style="list-style-type: none"> • システム改修に伴い、以下の説明を修正。 <ul style="list-style-type: none"> - P.12、39、67、69、97、99、106
2025.04.13	第 1.7 版	<ul style="list-style-type: none"> • システム改修に伴い、以下の説明を修正。 <ul style="list-style-type: none"> - 「2.2 画面の見かたと操作方法」(P.24) にヘッダーの説明を追加。 - 「3.3 車両情報を入力する」(P.38、39) と「7.3 車検証二次元コード読取を「読み取りモード 2」で行うとき」(P.78、79) の画面を差し替え。 - 「5.1 OBD 検査を実施する」(P.62) に表示されるエラーメッセージの説明を追加。 • 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 <ul style="list-style-type: none"> - P.31、34、42、45、68、94、106
2025.08.03	第 1.8 版	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 <ul style="list-style-type: none"> - P.3、12、14、35、37、59、62、72、98、100 • システム改修に伴い、以下の説明を追加。 <ul style="list-style-type: none"> - 「7.16 車両情報を引用する」 - 「7.17 セッションタイムアウトのメッセージが表示された場合」

		<ul style="list-style-type: none">• 以下の記載について、説明を最新化。<ul style="list-style-type: none">- 「7.10 クライアント証明書の有効期限が切れたとき」
2026.01.12	第 1.9 版	<ul style="list-style-type: none">• 以下の記載について、説明文を修正<ul style="list-style-type: none">- p.2、4、5、6、8、9、11、12、13、16、20、21、22、26、34、37、39、40、43、48、51、52、55、56、58、59、61、81、94、95、96、101、102• システム改修に伴い、以下の説明を修正。<ul style="list-style-type: none">- P.72